

平成27年度

佐倉市立公民館のまとめ

佐倉市立公民館

目次

1. 佐倉市の公民館	1	佐倉市民カレッジ	22
2. 平成27年度教育目標	2	5. コミュニティ事業	48
3. 第2次・佐倉市立公民館活動計画	5	さくら学び塾「かんたんらくらく元気 体操」	48
4. 公民館運営審議会	7	6. 団体育成事業	48
		佐倉学体験講座「佐倉民話を語るボラ ンティア派遣事業」	48
		佐倉学体験講座「佐倉こどもかるた普 及派遣事業」	48
		調理室利用グループによる調理室点検 グループ懇談会	52
		7. 広報・展示事業	53
		広報事業	53
		8. 視聴覚ライブラリー事業	54
		親子映画会	54
		16ミリ映写機操作講習会	54
中央公民館		和田公民館	
佐倉地区の概要	1	和田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2	1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3	2. 公民館利用状況	3
事業報告	4	事業報告	4
1. 家庭教育事業	8	1. 家庭教育事業	6
3歳児親子あそびうた教室	8	子育て教室	6
春の食材を使って親子de料理講座	9	楽しく家庭教育講座	7
2. 青少年教育事業	10	2. 青少年教育事業	8
夏休みこどもゼミナール	10	和田剣道教室	8
子どもの居場所作り	10	軽スポーツ大会	8
通学合宿	12	夏休みおもしろ体験教室	9
佐倉っ子塾共通講座 夏休みこども水辺 検ツアー	13	佐倉っ子塾料理教室	9
JOSHIBIワークショップ「わくわくワッシ ョイ～オリジナルちょうちんで佐倉を灯 そう」	14	佐倉っ子塾伝統文化体験教室	10
3. 成人教育事業	15	3. 成人教育事業	11
地域づくり講座「地元野菜と麴を使った 発酵食料理」	15	佐倉・城下町400年記念事業 ミニぞうりづくり	11
パソコンイベント2015		佐倉学体験講座・ふるさと味工房	11
～Wordで年賀状を作ろう！～	15	終戦70年平和祈念特別展「忘れ得ぬ記 憶～戦争と和田村～」	11
「健康増進教室」	16	佐倉学入門講座 ・楽しく学べる 和田地域塾	12
佐倉学専門講座「印旛沼とその流域の虫 たち」	17		
佐倉学講座「佐倉・城下町400年新町 周辺歴史散策」	18		
佐倉学講座「佐倉・城下町400年佐倉 殿様物語」	18		
佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」	19		
佐倉学講座 佐倉市平和条例施行20周 年・終戦70年祈念「佐倉連隊の記憶」	19		
いんば沼公開講座「温故知新」	20		
4. 高齢者教育事業	22		

和田地区防災訓練	13
長命大学手芸教室	13
長命大学交流会	13
4. コミュニティ事業	14
さくら学び塾「知的頭の体操十七音字の ドラマ『川柳』を楽しもう」	14
5. 団体育成事業	15
和田地区青少年育成住民会議	15
和田小PTA民俗資料収集委員会	15
和田はたおり保存会	15
6. 広報・展示事業	15
公民館だより	15
歴史民俗資料室展示	16
7. 図書事業	16

弥富公民館

弥富地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3

事業報告

1. 家庭教育事業	6
親子遊びのつどい	6
家族で遊ぼう	7
2. 青少年教育事業	7
弥富剣道教室	7
星空観察会	7
なんでも体験弥富塾（佐倉っ子塾）	8
3. 成人教育事業	9
ふるさと弥富散策会	9
グラウンドゴルフ大会	9
竹炭づくり体験	9
健康づくり講座「楽しく養生体操」	9
佐倉学入門講座「弥富で楽しむ野鳥の話」	10
佐倉学体験講座「くらしの講座」	10
アイシングクッキーづくり	10
そば打ち体験	10
太巻き祭り寿司講座	11
布ぞうりづくり講座	11
佐倉・城下町400年記念事業佐倉学専門 講座「塩古ざるづくり」	11

4. コミュニティ事業	11
さくら学び塾 自然治癒予防整体 「和みのヨーガ」	11
5. 団体育成事業	12
地域まちづくり協議会	12
弥富地区青少年育成住民会議	12
弥富民俗資料展示室	12
6. 広報・展示事業	12
公民館だより	13

根郷公民館

根郷地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3

事業報告

1. 家庭教育事業	9
ぽっぽちゃんくらぶ	9
親子体験教室	11
親子ふれあい教室（幼児）	12
ぽっぽちゃんくらぶ番外編 親子で自 由表現ダンサーに変身	12
食育実践講座	12
子育てママのためのヨガ・ストレッチ 講座	13
2. 青少年教育事業	13
通学合宿	13
おもしろ科学実験隊	14
勾玉作りに挑戦！	15
夏休みこども水彩画教室	15
子ども鑑賞教室	16
クリスマスコンサート	16
佐倉っ子塾 環境政策課共通講座 水辺観察会	17
佐倉っ子塾 工場見学に行こう	17
佐倉っ子塾佐倉子どもかるた教室	18
3. 成人教育事業	18
根郷寿大学	18
生活習慣予防講座	19
ポスター・チラシなどから見る佐倉市 の歩み	20

人権講座	20	「井野長割遺跡」を学ぶ	20
わくわく元気塾	20	佐倉・城下町400年記念事業	
パソコン広場	21	「佐倉道を歩く」	21
ハンギングバスケット講座	21	佐倉学入門講座 「地産地消 佐倉コ	
珈琲学入門講座	22	ミュニティカフェを学ぼう」	21
地域防災向上講座	22	4. コミュニティ事業	23
佐倉学入門講座	23	さくら学び塾「公民館活動に参加して	
根郷ふるさと探訪	24	生きがいを見つけよう」	23
伝統の根郷産こんにやく作り体験	24	5. 開館記念事業	24
4. コミュニティ事業	25	志津市民プラザ開館記念事業	24
さくら学び塾「エンディングノートの		6. 団体育成事業	25
書き方」講座	25	第42回 志津公民館祭	25
5. 団体育成事業	25	定期利用サークル運営研修会	25
根郷地区青少年育成住民会議	25	調理室利用サークル懇談会	26
南部地区子ども会育成会連絡協議会	26	志津地区の子ども会育成活動	26
6. 広報・展示事業	26	志津ジュニア・リーダース・クラブ	
公民館だより	26	(志津JLC)	26
7. 図書事業	26	7. 広報・展示事業	26
		志津公民館だより	26
		8. 図書事業	27
志津公民館			
志津地区の概要	1		
1. 公民館運営計画	2	白井公民館	
2. 公民館利用状況	3	白井・千代田地区の概要	1
事業報告	4	1. 公民館運営計画	2
1. 家庭教育事業	7	2. 公民館利用状況	3
お母さんと遊ぼう「ぽっぽちゃんのお		事業報告	4
家へいこう」	7	1. 家庭教育事業	6
笑顔で子育て応援講座	8	おはなし会	6
(1)「親子で房総祭り寿司づくり体験」	8	0歳児半～3歳児親子遊び「絵本のおは	
(2)「桜のモチーフを探そう！」	8	なし会 ちびちびクラブ」	7
2. 青少年教育事業	9	2. 青少年教育事業	8
佐倉っ子塾「子どもクッキング教室」	9	皆既月食と春の星空	8
佐倉っ子塾「子ども手づくり工房」	10	佐倉っ子塾共通講座「自然講座」	
佐倉っ子塾「子ども自然教室」	10	(夏休み こども水辺探検ツアー)	8
佐倉っ子塾「子ども理科実験教室」	11	佐倉っ子塾共通講座(三角ヘリコプタ	
佐倉っ子塾「中高ちょこボラ」中学生		ーをとばそう)	9
・高校生のための公民館職場体験学習	12	バック・ステージ・ツアー	9
3. 成人教育事業	14	3. 成人教育事業	10
しづ市民大学(第26期)	14	佐倉学入門講座「雷電為右衛門～その	
佐倉学入門講座		伝説と錦絵～」	10

佐倉学体験講座「ちょっといいとこ見て 歩き」（徳川光圈が歩いた道）……………	10
4. コミュニティ事業 ……………	11
さくら学び塾（誤解の多い健康管理法・ その考え方）……………	11
5. 団体育成事業 ……………	12
臼井地区子ども会育成会連絡協議会 （臼井地区子連）……………	12
かたりべの会……………	12
6. 広報・展示事業 ……………	13
公民館だより……………	13
まちづくり資料室の展示……………	13
展示室の貸し出し……………	13
7. 図書事業 ……………	15

1. 佐倉市の公民館

佐倉市立臼井公民館

TEL 043(461)6221(代表)
 設置年月 昭和59年11月
 建築年月 昭和59年9月佐倉市民音楽ホールとして新築
 規模 鉄筋地下1階・地上2階
 敷地面積 1,078.66㎡(臼井公民館部分)
 敷地面積 4,106.33㎡

佐倉市立志津公民館

TEL 043(487)5064
 設置年月 昭和29年4月
 建築年月 平成27年11月新築
 規模 鉄筋4階3,275.61㎡
 敷地面積 3,598.25㎡

佐倉市立中央公民館

TEL 043(485)1801
 設置年月 昭和22年4月
 建築年月 昭和51年3月新築
 平成4年3月増改築
 規模 鉄筋3階2,898.96㎡
 敷地面積 12,500.66㎡

臼井公民館

中央公民館

根郷公民館

和田公民館

佐倉市立根郷公民館

TEL 043(486)3147
 設置年月 昭和29年4月
 建築年月 平成5年3月
 規模 鉄筋地下1階地上3階
 敷地面積 1,591.85㎡(公民館部分)
 敷地面積 1,994.53㎡

佐倉市立和田公民館

TEL 043(498)0417
 設置年月 昭和29年4月
 建築年月 昭和50年3月新築
 規模 鉄筋2階565.02㎡
 敷地面積 759.65㎡

弥富公民館

佐倉市立弥富公民館

TEL 043(498)0860
 設置年月 昭和29年4月
 建築年月 平成21年3月新築
 規模 鉄筋2階235.48㎡(公民館部分)
 敷地面積 1,367.83㎡

2. 平成27年度 教育目標

〔基本理念〕

よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、
心豊かな市民をめざす“佐倉の教育”の実現

〔平成27年度施策の特徴及び重点項目〕

平成27年度施策の主な特徴として、「①インクルーシブ教育、少人数指導支援、いじめ防止対策など、より充実した学校教育の推進」、「②各市民大学等の事業運営や、志津公民館の整備などによる生涯学習・社会教育の振興」、「③歴史文化的資産と魅力を活かした文化振興」、「④安心・安全な教育環境を確保するための学校施設耐震化の完了」、の4点が挙げられます。

この4点を含め、「佐倉教育ビジョン推進計画」及び以下の重点項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、施策を推進します。

（1）地域の教育力の向上をはかります

- ・地域との連携を深め児童生徒の安全確保に努めるとともに、地域づくりの拠点として学校の活用を進めます。また、地域の声や評価を反映できる学校運営を目指します。
- ・幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援します。
- ・学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取り組みを推進します。
- ・青少年の健全育成を目的とした地域の活動を充実させます。
- ・学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。
- ・人づくり、地域づくりを目指した公民館活動を充実させます。
- ・地域活動の担い手育成を目的としたコミュニティカレッジさくらを運営します。

（2）“佐倉の教育”への市民参加の促進をはかります

- ・佐倉の教育への関心を高めるため、「教育懇話会」や「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。

（3）確かな学力の向上をはかります

- ・学習状況調査（国語、算数・数学、理科、英語）を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます。（英語は中学校のみ実施。）
- ・夏季休業中に全小中学校で「好学チャレンジ教室」を開催します。教員や学生・地域ボランティアが好学チャレンジプリント等の教材を活用しながら指導し、基礎・基本の定着を図ります。
- ・外国語指導助手14名を全小中学校に派遣し、英語・外国語活動の授業や国際理解教育の一層の充実を図ります。
- ・経済的支援が必要な高校生を対象とした奨学金を支給します。
- ・経済的な理由により就学が困難な小中学生の教育に係る費用を援助します。
- ・理科教育支援員1名を小学校2校に派遣し、理科学習指導や環境整備を支援します。
- ・弥富小学校の複式学級の解消と少人数によるきめ細かな指導を行うため、学校支援補助教員を1名配置します。

- ・少人数指導支援のため、学校支援補助教員を3名任用し、ティームティーチングなど、児童生徒個々への学習支援を充実させます。
- ・教育課題等の調査・研究や指導方法の改善に取り組み、児童生徒の学習意欲を高め、確かな学力の向上や体力を身につけるような取り組みを推進します。
- ・学習指導要領の趣旨を徹底させ、思考力・判断力・表現力を育み、探究・協同型の授業改善のため教職員の研修を充実させます。
- ・教育委員会訪問として、教育委員会が、校（園）長の求めに応じ学校（園）を訪問し、教育委員会のあらゆる機能を活用してもらうことにより、学校経営の改善に取り組みます。

（４）豊かな心と丈夫な体の育成をはかります

- ・佐倉の伝統や文化を生かした道徳の授業の充実と体験活動やボランティア活動等とおし、道徳的実践力を高める教育を推進します。
- ・学校生活や学習活動を行う上で、児童生徒の必要に応じた支援を充実させます。
- ・特別支援教育支援員38名を特別な支援を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に派遣し、学校生活や学習活動を行う上で、一人ひとりのニーズに応じた支援を充実させます。
- ・インクルーシブ教育システム構築モデル事業を推進し、言語通級指導教室設置校を中心に支援が必要な児童への効果的な支援体制等について研究を進めます。
- ・【拡充】児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員10名、心の教育相談員6名（8校）、スクールカウンセラー12名（小学校1名増）や、各関係機関等と連携し、各種教育相談体制を充実させます。
- ・【拡充】学校におけるいじめ防止体制の整備を図り、いじめの防止、早期発見・早期対応に努めるなど、いじめの防止のための対策を推進します。
- ・児童生徒の情操を高め豊かな心を育むため、学校図書館司書11名を全小中学校に派遣し、読書活動の推進や読書環境の充実に努めます。
- ・児童生徒の体力の現状を分析し体力向上推進計画を作成することにより、体力の向上に努めます。
- ・学校プール施設がない学校における水泳指導を、民間との連携により授業に取り組み、小学校学習指導要領での水泳学習のねらいを達成させます。
- ・児童生徒の生活習慣病予防検診事業の継続と、健康教育を充実させます。
- ・学校給食を通じて児童生徒への食育を推進します。
- ・給食室の老朽化に伴う改修工事を実施します。

（５）「佐倉学」の推進をはかります

- ・佐倉学リーフレットを配付し、佐倉学の周知を図ります。
- ・佐倉学副読本や資料の活用により、「佐倉学」を一層充実させます。
- ・佐倉学事業の充実を図ります。

（６）新たな佐倉の魅力の発見と、芸術文化の普及をはかります

- ・市の歴史や文化を表象する資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやチラシ等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的魅力について市内外に周知します。
- ・芸術文化に関する様々な展覧会や演奏会等の実施をとおして、市民が芸術文化に親しむ機会を充実させます。また各種芸術文化団体の主体的な活動を支援し、その育成を行います。
- ・大学機関等との連携により、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施します。また地域の中で芸術文化の役割を探り、連携事業の展開を支援します。
- ・【新規】日本100名城に選定されている佐倉城跡の大手門周辺について、発掘

調査に向けた取り組みを進めます。

(7) 安心して学べる教育環境の整備をはかります

- ・東日本大震災を教訓として、防災体制を充実させます。
- ・小中学校の耐震化を完了させるとともに、施設の維持管理に努めます。
- ・小中学校の教材備品を計画的に購入し、教育環境を整備します。
- ・児童生徒が安心して通学ができるように、安全の確保に努めます。
- ・【新規】小中学校のパソコン教室における機器をタブレット端末としても使用できる機種に更新（～28年度）し、コンピュータを活用した情報教育を充実させます。【平成26年度から新規】

(8) 様々な場面で市民が学ぶことのできる機会の提供をはかります

- ・各公民館、図書館の事業を充実させます。
- ・コミュニティカレッジさくらの整備、活動事業を推進します。
- ・【新設】老朽化の進む志津公民館について、建替え整備を完了させ、複合施設として新規に開館します。

3. 第2次・佐倉市立公民館活動計画

～ 魅力ある佐倉の人づくり、地域づくりをめざして ～

近年、少子高齢化の進行、科学技術の進歩、高度情報化の進展等に伴い、価値観が多様化し大きな社会変化をもたらしています。また、地縁関係の希薄化、コミュニティの人間関係の希薄化、核家族化の進行など地域をとりまく環境は大変厳しい状況になっております。

これからの公民館は、地域課題を的確にとらえ、地域教育力の向上・地域コミュニティの再生に向けた社会教育事業が求められています。

平成17年の「佐倉市公民館活動計画」策定から5年が経過しました。この間、平成18年に半世紀以上の時を経て教育基本法が改正され、「教育の目標」「生涯学習の理念」「家庭教育」「社会教育」「学校・家庭・地域の連携」が規定されました。この改正に伴い、平成20年には、社会教育行政の体制の整備等を図るため、社会教育法も大きく改正されました。

社会教育に関する教育基本法の主な改正点としては、「個人の要望や社会の要請にこたえる国及び地方公共団体による社会教育の奨励」が規定。さらに、教育の目標の一つに「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ことが掲げられました。この点は、今後の社会教育行政の在り方を考える上で重要となります。

社会教育法の主な改正点としては、教育委員会の事務に「地域住民等による学習成果を活用した学校等における教育活動の機会の提供」「児童生徒に対し、放課後・休日に学習等の機会の提供」「家庭教育に関する情報の提供」「情報化の進展に対応し、必要な知識・技能に関する学習機会の提供」などが追加されました。また、運営の状況に関する評価等が新設され、「公民館は、運営状況に関する評価及び改善並びに地域住民等に対する情報提供に努めること」が新たに設けられました。また、改正社会教育法の施行に当たって、衆参両院の委員会から特段の配慮をすべき事項についての附帯決議もなされています。このような状況を踏まえ、「第2次・佐倉市公民館活動計画」では、前計画の「公民館事業の展開」「職員の資質向上」の章に加え、「地域の人材育成」「公民館事業の評価」の二つの章を新設し、まったく新しい仕組みづくりに取り組みます。佐倉市教育ビジョン（23年度から32年度まで）の改定に伴って定められた、基本理念とめざすべき佐倉市民像の具現化をめざした事業展開をしていきます。

【教育ビジョンの基本理念】

よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、心豊かな市民をめざす“佐倉の教育”の実現

【教育ビジョンのめざすべき佐倉市民像】

- (1) 佐倉に誇りと愛着を持つ人
- (2) よく学び、自ら考え進んで行動する人
- (3) 豊かな心と創造力に富む人

また、平成23年度から第4次佐倉市総合計画による施策が展開されることから、総合計画と整合性を図り、社会の変化に対応しながら事業を展開していきます。

第1章 公民館事業の展開

1. 前計画での課題等

2. 今後の事業展開

第2章 地域人材の育成

1. 敗戦後の地域人材育成
2. 生涯学習時代の地域人材育成
3. バブル崩壊後の地域人材育成
4. 社会教育法改正と地域人材育成
5. 地域人材育成の仕組みを構築

・既存の「市民カレッジ」「しづ市民大学」「寿大学」等と、新たに事業展開する「地域コミュニティ事業」との連携を図り、「興味・関心で集う活動」の担い手と、「居住地域の活動」の担い手を相乗的に生み出していく仕組みを構築していきます。

・社会教育課と全公民館が共同して「地域コミュニティ事業」の展開を図ります。

地域コミュニティ事業の構想

・地域の教育力の低下、地域コミュニティの希薄化が進む中、自ら居住する地域に目を向け、生活課題に対して感心を高めるための学習機会を提供し、自ら地域を形成していこうとする気概と行動をおこす、新しい時代の「地域活動の担い手づくり」を図ります。また、地域のたまり場作りのきっかけづくりを支援して、地域の人間関係を醸成します。

- ① コミュニティカレッジ（2年制）
- ② 地域学びあい講座（市民企画講座）
- ③ 地域出前講座

第3章 公民館事業の評価

1. 行政評価導入の背景
2. 行政評価とは
3. 公民館と行政評価の現状
4. 社会教育法改正と外部評価導入
5. 佐倉市公民館事業評価の視点と取り組み
6. 佐倉市公民館事業評価の概要図

・佐倉市行政評価を活かして、目的に対する効率性の測定に努めます。
・共通アンケートや外部評価を活かして、事業成果を中心とした測定に努めます。
・公民館事業評価をとおして、事業の改善と職員の資質向上に努めます。

第4章 職員の資質向上

1. 館長・主事合同の初任者研修
2. 社会教育主事資格の取得
3. 公民館運営審議会委員への事業報告

4. 公民館運営審議会

佐倉市公民館運営審議会委員（平成26年7月1日～平成28年6月30日）

氏名	所属等	備考
中原 章子*1	千葉県立佐倉南高等学校長	
天本 憲亮	佐倉市立志津中学校長	
沼田 正信*1	佐倉市立西志津小学校長	
鷹野 千恵子	佐倉市子ども会育成連盟	
酒井 孝子	人権擁護委員	
大野 直道	学識経験者	
高梨 直子	学識経験者	
浅井 俊彦	学識経験者	
奥津 友子	学識経験者	
慶田 康郎	学識経験者	
坪井 浩	学識経験者	
松井 強	公募	
村上 勲	公募	
日向 和夫	公募	
松野 勝	公募	

*1については、前任者の残任期間である平成27年5月19日から平成28年6月30日まで。

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とJR総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城址、武家屋敷、順天堂記念館、平成18年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成27年3月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成11年3月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。JR佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩15～20分、最寄りバス停から5分の場所に位置する。

佐倉地区の人口は平成28年3月末日で、29,202人で昨年に比べ308人の減となっている。

佐倉地区のデータ

【平成28年3月末現在】

○佐倉地区：面積 約20.6 km² (佐倉市：面積 103.69 km²)

○佐倉地区：住基人口 29,202人 (佐倉市：住基人口 176,976人)

○佐倉地区：人口密度 1,393人/km² (佐倉市：人口密度 1,710人/km²)

1. 公民館運営計画

運営方針

「佐倉教育ビジョン」及び「第2次・佐倉市立公民館活動計画」の基本理念を踏まえ、歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。

努力目標

- 利用者に対して、適切な対応をするように努める。
- より多くの人に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 各種の事業内容の充実に努める。

事業内容

1. 施設・備品の提供

地域住民各層の利用に応えるため、サービス業務の向上を図る。

(1) 施設の提供（団体、グループ単位）

- ① 利用時間 午前9時から午後9時まで。

ただし、月曜日と祝日は、午後5時まで。

- ② 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。

(2) 備品の提供（団体、グループ単位）

館外貸与できるもの

机、椅子、拡声装置

2. 学級講座

学習機会の拡充と学習内容の充実に努めるため、学級講座の質的向上に努める。

家庭教育講座、青少年教育講座、成人教育講座、佐倉市民カレッジ等の実施。

3. 団体育成事業

公民館利用グループ・サークル活動の育成と支援や、子ども会活動への支援、高齢者ボランティアグループの支援を行う。

4. 広報事業

公民館の役割や各種文化行事等の情報提供。

中央公民館だよりの発行、各種館外催物、各種ポスター等の掲示及びパンフレットの配布、公民館の役割や利用の仕方のパンフレット配布。

5. 展示事業

ロビー等の効果的活用を図る。

利用者作品展、各種展示会の開催。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
利用件数 (件)	6,554	6,780	6,463	6,611	6,546
利用人数 (人)	98,335	112,787	101,664	115,841	112,173
開館日数 (日)	333	333	333	333	335

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容	
家庭教育	3歳児あそびうた教室	3歳児と保護者 20組	6/ 9 22組44人 6/16 20組40人 6/23 19組38人 6/30 19組38人 7/ 7 17組34人	手遊び、運動、音楽を中央公民館大ホールで行い、幼児もおもいっきり体を動かして喜んでいるようだった。保護者との触れ合いもあり、最後は進んで片づけをするなどして、幼児の成長が見られた。	
	お父さん歓迎！春の食材を使って親子de料理体験	小学生と親 12組 ※多数時父親優先	2/20 7組14人	親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学んだ。また、父親の家事・育児参加を促すことにより、男女平等参画の推進と家庭教育の充実を図るため、父親優先とした。	
青少年教育	夏休み子どもゼミナール	小学5・6年生 15人	7/25 2人 8/ 1 2人 8/22 2人 8/28 2人	中国のことわざと格言などを入口にして中国について身近に感じてもらえるよう講義を行った。また、フランスについてスライドで主に小学生の生活などを概観する講義を行い、フランスの歌・クイズなどを行って理解を深めた。	
		公民館を利用しているサークル・団体が小学生を対象に指導し、日頃の学習の成果を披露した。			
		花とあそぼう・いけばな教室	小学生 15人	7/24 12人 7/29 10人 7/30 8人	佐倉市華道連盟が指導。3回実施したが、異なる指導者、花材で実施。3回とも参加した児童、昨年に引き続き参加した児童もいた。
		「佐倉こどもかるた」で佐倉を知ろう！	小学生 30人	7/22 5人 8/ 5 8人 8/26 3人	佐倉こどもかるた子都手留会（しつてるかい）が指導。参加者数、学年構成に合わせてグループ分けし、絵札を取るだけでなく、頭文字を読んで読み札を取り、取った子どもが読み札を読むなどの工夫が見られた。
		子どもそば打ち体験教室	小学5・6年生 10人	8/3 10人	そば打ち愛好会が指導。粉をこねるところからそばを切るところまで子ども達に体験させ、手作りのつゆで試食した。
		さむらいの日常生活と住んでいた住居	小学4～6年生とその保護者 15人	8/22 中止	まちづくり支援初ワーク佐倉の指導により実施予定だったが、応募者が1組だったため中止とした。
		楽しいフラダンス	小学生 15人	7/23 10人 8/ 6 7人 8/20 8人	ケイ・ナ・フラダンスが指導。サークルに所属する子ども達が、準備・受付等を手伝い、参加者と一緒に3回で一曲の踊りを仕上げた。
		ペットボトルでロケットを作るとばそう	小学生 20人	7/30 29人	お〜いあそぼうかいが指導。1年生でも無理なく作れるように材料を用意する一方、個々に工夫する部分もあり、完成後は公園で実際に飛ばしてみた。
		わりばしヒョキを作ろう	小学生 20人	8/8 16人	飛ばそう会が指導。どうすればうまく飛ぶのか子ども達に工夫を促しながら指導した。
		絵手紙を描こう	小学生 10人	7/29 12人 7/31 18人	城の辺地区社会福祉協議会が絵手紙の指導者を招いて実施。各々が持参した題材を絵手紙に書くだけでなく、子ども達が書いた感想を述べ、指導者がそれぞれの良い所を評価した。
		夏休み学習ルーム	小・中・高校生 及び保護者	計14回 延べ156人 7/25～8/31 利用者 78人	夏休み期間中、学習室1を自主学習の場として提供した。
	通学合宿	小学4～6年生 21人	9/27～30 3泊4日 (佐倉東小) 21人	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活体験をすることにより、自主性・協調性を高める。また、地域の住人との交流も図り、明るい地域づくりの一助となった。 6/30 募集チラシ配布 7/10 カウンセラー説明会 7/15 募集締切り（定員 21人/応募 28人） 8/27 検討会会議 9/ 2 参加抽選会 9/10 参加者及び保護者説明会 ボランティア協力 千葉県立佐倉高等学校、千葉敬愛短期大学、佐倉市民カレッジ佐倉地区同窓会、公民館利用サークル「ふきのとう」	

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
青少年教育	親子映画会	小学生・幼児とその保護者	8/20 400人	「メアリーと秘密の王国」を上映 会場：佐倉市民音楽ホール
			1/6 402人	「ミニオンズ」を上映 会場：佐倉市民音楽ホール
			3/25 100人	「プーさんと虎」・「ジャングル大帝」を上映 会場：中央公民館大ホール
	佐倉っ子塾共通講座「夏休み子ども水辺探検ツアー」	小学生 20人	7/22 19人	環境政策課と共催。谷津の生きものや、水質についての講義と野外観察を通じて佐倉の自然環境を学んだ。
佐倉市・女子美術大学連携協働事業「JOSHIBIワークショップ」	小学生 20人	8/19 20人	「わくわくワッショイ！！～オリジナルちょうちんで佐倉を灯そう」と題し、女子美術大学教員・学生の指導を受けながら佐倉のイメージを色や形で表現した自分だけのオリジナルちょうちんを制作した。	
成人教育	健康増進教育講座（佐倉ホワイエ共催事業）	成人 30人	9/26 39人	第3回豊かに生きようかい 食生活と健康～豊食と飽食～ 普段食べている食事を振り返って、食の意味について考え、意見の交換をした。
			3/17 41人	第4回豊かに生きようかい 細胞は聴いている～気の元から健康になろう～ 参加者から健康について活発に意見が出て、意義ある講座となった。
			2/2 23人	地域づくり講座「地元野菜と麴を使った料理」
	地域づくり講座「地元野菜と麴を使った料理」	成人 20人	2/2 23人	地域人材による講習会を行ない、地域へのつながりと興味を深めた。
	パソコンイベント2015「Wordで年賀状を作ろう」	成人 30人	11/7 午後7人 11/8 午前10人 午後10人	年賀状作成を題材として、パソコンに実際に触れ、操作することによって、どのようなものであるかを体験した。
	佐倉学講座「印旛沼とその流域の虫たち」	成人 50人	8/11 31人	佐倉の象徴として「印旛沼」を学び、かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に伝えていくことの重要性を認識した。
			8/11 31人	「印旛沼の水と生き物の関係」 西印旛沼周辺の湧水とそこに生息する虫について学んだ。昆虫の模写標本製作含む。
			8/29 39人	「印旛沼周辺に棲む虫」 印旛沼と手賀沼の関係と周辺の虫について学んだ。昆虫模写標本製作含む。
	佐倉学講座「佐倉・城下町400年」	成人 講座 90人 散策 各20人	講座3/23 90人 散策 10/22 17人 11/7 13人	「佐倉の殿様物語」と題した講座と佐倉地区の史跡散策を行い、土井利勝が佐倉城とその城下町を整備してから約400年の歴史を学んだ。
	佐倉学講座「佐倉連隊の記憶」	成人 90人	3/18 62人 3/25 53人	現地の写真や資料を豊富に準備した講座であり、大変好評であった。
佐倉学	印旛沼公開講座「温故知新」（印旛沼環境基金・環境政策課共催事業）	成人 90人	7/25 25人	印旛沼環境基金が主催、環境政策課との共催事業。佐倉市のシンボルでもある印旛沼の状況と自然環境と水の浄化について学んだ。
			7/25 25人	「いんば沼をきれいに」 千葉県での取り組みと成果ー 印旛沼の利活用を海外や国内及び県内における水辺利用の事例をとおして考えた。
			9/ 5 27人	「いんば沼・流域発の文化」 人々の生活の中に育まれてきた印旛沼及び流域の文化を学んだ。
			9/26 22人	「いんば沼の自然環境の変移と誘因」 印旛沼は、地勢はもとより、環境も生態系も歴史の中で変移してきたが、その誘因の歴史的、社会的背景を学んだ。
			10/31 31人	「空から眺めたいんば沼・流域の貌」 印旛沼及び流域の全体の貌の詳細を人口衛星からの写真を通して学んだ。
佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」	成人 20人	3/26 19人	古今佐倉真佐子に記された場所を散策し、古くて新しい佐倉についての身近な発見をする機会となった。	

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年 第2学年 2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年 第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第1学年		高齢化社会のなかで、市民が健康で生きがいをもち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をととした生涯学習の場とする。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。 「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。 公開講座、ミニセミナー等を拡充し、一般への学習機会の提供を図る。 ※平成27年5月16日現在：366人
		1年1組 50人 1年2組 50人	5月～2月 65回	
		第2学年		
		2年1組 44人 2年2組 50人	5月～2月 67回	
		第3学年		
		福祉 22人 歴史 24人 情報 20人 元気 22人	5月～2月 41回	
		第4学年		
福祉 15人 歴史 25人 情報 20人 元気 24人	5月～2月 43回			
コミュニティ事業	さくら学び塾 「かんたんらくらく元気体操」	成人 40人	10/24 25人 11/7 31人 11/18 30人 12/12 24人 12/19 30人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設した。 道具を使わない健康体操・ストレス解消運動・脳トレ健康体操を実践した。
団体育成	佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	加盟子ども会 2団体	11/22 中央交流フェスティバル 370人 1/6 映画上映会 60人	佐倉市子ども会育成連盟主催の中央交流フェスティバルに参加するなどして、子ども会同士の交流を図り、子ども会の育成者の養成につなげた。また、1月6日に佐倉地区子ども会育成連絡協議会の主催事業として映画上映会「長ぐつをはいたネコ」を行った。
	中央公民館 利用グループ懇談会	利用団体代表者 約200団体	4/24 220団体	利用者団体の交流を図り、公民館活動のあり方について懇談した。
	調理室利用者懇談会	定期利用団体	6/29 14団体 12/24 15団体	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用サークル間の交流を図る。併せて調理室の清掃を実施した。
	「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」、「佐倉こどもかるた普及派遣事業」	幼児・児童・成人	随時	佐倉に伝わる民話を題材とした語りを行うグループ「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育んだ。
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出を行った。 映像ソフト123本を貸し出し、延べ5,844人が観覧した。また、プロジェクター、スクリーン、音響セット等の機器を延べ289点貸し出した。
	16ミリ映写機点検事業	16ミリ映写機 保有施設	3/8 6台	各施設所有の16ミリ映写機を、老朽化に伴う上映使用時のトラブル防止のため、一括して点検を行った。
	16ミリ映写機操作講習会	社会教育団体 ・一般 20人	6/27 4人	視聴覚機器の操作を習得する機会を提供し、映像教材の活用を図った。

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
広報活動	中央公民館だより	佐倉地区	6/10 1,100部 3/1 500部	6/10 「中央公民館だよりじゅにあ」に、夏休み中の子ども向け教育事業を掲載し、佐倉地区の小学校4校等で配布した。 3/1 「中央公民館だより」に、市民カレッジの受講生募集のほか、公民館の事業紹介や募集記事を掲載し、市内各公民館、図書館、ミレニアムセンター佐倉・志津コミュニティセンターで配布した。
	「なかま」	成人	毎月1回 1,500部	一般市民から広く原稿を募集し、市民による編集委員会により編集・校正を行った上で、印刷、発行した。
	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供した。

1. 家庭教育事業

3歳児親子あそびうた教室

① 開設趣旨

幼児にとって遊びは、生活上なくてはならない重要な体験の一つである。手遊びと音楽（リトミック）を通して健やかな体と豊かな感受性、好奇心を育むことを目的とする。また同年齢の子と保護者相互の触れ合いや交流する場として学習講座を開設する。

② 募集対象、募集人員 幼児とその親 20組

③学習目標 1. 身体で手本を示す親になろう。

2. 学んだことを生活の中で活かす努力をしよう。

3. 子どもの豊かな創造性を大切に、友だちづくりや他の親子との交流に努力しよう

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月9日(火) 10:00~11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。(リトミック) 歌と手遊び。絵本読みきかせ。ピアノ演奏でうたと手遊び。	伊藤 佳子 加藤 未来 美谷島 克子 東 由美子
2	6月16日(火) 10:00~11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。(リトミック) 絵本読みきかせ。てるてるぼうず作り。ピアノ演奏で歌、手遊び。	伊藤 佳子 加藤 未来 美谷島 克子 東 由美子
3	6月23日(火) 10:00~11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。(リトミック) 歌と手遊び。絵本読みきかせ。	伊藤 佳子 加藤 未来 美谷島 克子 東 由美子
4	6月30日(火) 10:00~11:00	音楽に合わせて準備体操。ピアノに合わせて遊具を使い運動をする。(リトミック) 歌と手遊び。絵本読みきかせ。	伊藤 佳子 加藤 未来 美谷島 克子 東 由美子
5	7月7日(火) 10:00~11:00	音楽に合わせて準備体操。音楽に合わせて遊具で体を動かす。(リトミック) 絵本の読みきかせ。七夕にちなんだ読み聞かせ。七夕飾りづくり。ピアノコンサート。表彰式。	伊藤 佳子 加藤 未来 美谷島 克子 東 由美子

⑤講座を終えて

今回は初めて3歳児を集めての講座を行う講師だったため、慎重に検討を重ねながら講座が始まった。

より良い講座にするため何度も講師との打ち合わせを行った。また1つの講座が終わるたびに復習と反省、次回の講座の打ち合わせを行った。その甲斐があり回数を重ねるたびに内容の充実した講座となった。

子ども達は当初、なかなか保護者から離れられない子もいた。しかし回数を重ねるごとに保護者から離れてのびのびとホールを走り回るようになった。特に3回目のリトミックについては子どもたちの笑い声が絶えず聞こえ、とても楽しい回になった。最終回の子ども達は、人見知りなく初めての子同士でも仲良くホール内を走り回っており、子ども達の適応能力には大変驚かされた。保護者と一緒に参加する場面が少なかったため、来年度以降は保護者がもっと参加出来るような内容にしたいと考える。また、アンケートの結果には、「講座回数を増やした方が他の子ども同士、保護者同士の交流がしやすくなるため、回数を増やしてほしい」「講座回数を増やした方が他の子どもや保護者同士の交流がしやすくなるのではないか」という意見があった。今後回数を増やすよう検討したい。講師と子ども達、保護者が共に成長するとても良い講座だったと思う。これからも継続していきたい事業である。

春の食材を使って親子de料理講座

① 開設趣旨 欠食や偏食などライフスタイルの変化による食生活の乱れが子どもたちの健康に及ぼす害として懸念される中で、親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶ。また、父の育児・家事参加を促すことにより、男女平等参画の推進と、家庭教育の充実を図る。

② 募集対象、募集人数 小学生（小学3年生から小学6年生）とその保護者 10組

③ 学習目標 調理する食材について知り、食の機能と食文化について学ぶ。

講座を通して親子との触れ合い、交流を深める。

④ カリキュラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月20日(土) 10:00~13:00 中央公民館調理室	栄養士の説明「春の食材でお料理に挑戦！」 春の食材を使った調理を行おう。	健康増進課職員

⑤ 講座を終えて

今年度の参加申込は保護者と子どもとの7組となった。平成22年度より男女共同参画の観点を取り入れ、対象をお父さんと子どもを優先にして募集した食育講座であったが、参加したお父さんは1名にとどまった。中央公民館調理室において調理実習を行った。皆真面目に栄養士の説明に聞き入り、楽しんで料理を行い、無事に講座を終える事が出来た。

アンケートの結果からも、子どもたちは「色々分かって楽しかった。」「他家族とコミュニケーションがとれてよかった。」「料理を学べてよかった。」「いろいろなものをつくってほめてもらえて楽しかった。」という意見があり、保護者からは「苦手な食材も(子どもが)食べられるようになった。」「料理の段取りも学べたら良い」「栄養士の最初の話がよい。説明内容が分かり易かった」という意見が伺えたが、「座学がやや長い」という意見もあり、課題もある。

2. 青少年教育事業

夏休みこどもゼミナール

①開設趣旨 世界の歴史や文化等について、様々な講師による少人数制のゼミ形式の講座を開催する。佐倉市の将来を担う子ども達が興味や好奇心と国際感覚を持てるようなコミュニケーションづくりの場を提供する。前半2回の講座は、ことわざ・漢字などの身近なトピックから導入しつつ、アジアの大国となっている中国について、中国の専門家の講師から学ぶ。後半2回の講座は、ネイティブの講師の講義により、ヨーロッパにおける大国フランスについて学ぶ。

②対 象 小学生5年生～6年生 15人

③開催期間 平成27年7月25日（土）～8月28日（金）

午前10時から正午まで

④指 導 者 ①前半2回：平成27年7月25日（土）・8月1日（土）

山本郁夫（東金商業高等学校教諭）

②後半2回：8月22日（土）・8月28日（金）

Thomas Perrouy トマ・ペルイ（幕張総合高等学校外国語指導助手）

⑤学習プログラム

回	日時	テーマ	学習内容	指導者
1	7月25日（土）	中国のことわざ	簡単な漢字の成り立ちや中国のことわざなどから、中国を身近に感じて楽しく学ぶ。	山本郁夫（東金商業高等学校教諭）
2	8月1日（土）	中国の現在	中国はどんな歴史を持っているのか～過去から現在の中国までを学ぶ	〃
3	8月22日（土）	フランスの生活	着ているもの・食べ物・生活など。フランスの小学生の生活について～パワーポイントを使って視覚的に学ぶ	トマ・ペルイ（Thomas Perrouy）先生（幕張総合高等学校外国語指導助手）
4	8月28日（金）	フランスの歴史・文化	フランスの歴史・文化・伝統にはどのようなものがあるのか。EUについても学ぶ。	〃

⑥ 事業を終えて

参加人数は2名と少なかったがアンケート結果から生徒の満足度が高いことが伺える。2名とも、「楽しかった」「次回も参加したい」と答えている。フランス語の歌を学んだことを2名とも印象深く記憶しているが、座学だけではなく実際に歌を歌うなどの参加型があると満足度が高まるように感じた。次回は、事前のイメージをより具体化させてポスターなどのキャッチコピーを工夫し、参加人数を増やせるように努めたい。

子どもの居場所作り

① 開設趣旨

今日の少子化の流れの中で、子どもたちの社会性とコミュニケーション能力を育むため、地域の様々

な人たちとの関わりが大切と言われている。しかし現状は、安全に楽しく遊ぶ場所や機会が失われつつあり、子ども自身の手で「居場所」を作ることが難しい環境となってきた。そうした中で、夏休みの子どもたちの居場所を公民館が提供し、公民館利用グループの学習に子どもたちを参加させることで、各グループの学習の成果を発揮し、子どもたちと地域グループの交流を目指す。

② 募集対象、募集人員 小学生（主に佐倉地区4小学校） 定員延べ265人

③ 開催期間 小学生の夏休み期間 全15回

④ 学習プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月22日(水) 10:00~11:30	「佐倉こどもかるた」 で佐倉を知ろう!	佐倉こどもかるた子都手留会
2	7月23日(木) 15:15~17:00	楽しいフラダンス	ケイキ・ナミ・フラダンス
3	7月24日(金) 10:00~12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
4	7月29日(水) 10:00~12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
5	7月29日(木) 13:30~15:00	絵手紙を描こう	佐倉城の辺地区社会福祉協議会
6	7月30日(木) 10:00~12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
7	7月30日(木) 10:00~12:00	ペットボトルでロケットを作 ってとばそう	お〜いあそぼうかい
8	7月31日(金) 13:30~15:00	絵手紙を描こう	佐倉城の辺地区社会福祉協議会
9	8月3日(月) 9:30~12:30	子どもそば打ち体験教室	そば打ち愛好会
10	8月5日(水) 10:00~11:30	「佐倉こどもかるた」 で佐倉を知ろう!	佐倉こどもかるた子都手留会
11	8月6日(木) 15:15~17:00	楽しいフラダンス	ケイキ・ナミ・フラダンス
12	8月8日(土) 10:00~12:00	わりばしヒコーキを作ろう	飛ばそう会
13	8月20日(木) 15:15~17:00	楽しいフラダンス	ケイキ・ナミ・フラダンス
14	8月22日(土) 9:30~11:30	さむらいの日常生活と 住んでいた住居	まちづくり支援ネットワーク佐倉
15	8月27日(木) 10:00~11:30	「佐倉こどもかるた」 で佐倉を知ろう!	佐倉こどもかるた子都手留会

⑤講座を終えて

平成17年度から始めた事業である。公民館利用グループの協力を得て、8団体の公民館利用グループにより講座を実施した。今年度は全体で延べ156名の参加があった。1人で複数の教室に参加した児童もいた。

今日の少子化の流れの中で、地域の住民と関わることにより、子どもたちが地域社会に馴染む機会を作る「子どもの居場所作り」は、とても有意義な事業と言える。また、講師役を務める公民館利用グループにとっても、子どもたちとの交流は新鮮な気持ちで活動することのできる貴重な体験となっている。

6月初旬に夏休み中の中央公民館主催の子ども向け事業を一覧にした「中央公民館だより“じゅにあ”」を佐倉地区4小学校に配布した。応募多数で満員となる講座がある一方で、応募者の少ない講座もあり、「さむらいの日常生活と住んでいた住居」については、当初2組5名の応募があったが、1組3名がキャンセルしてしまい、指導を担当する団体は1組でも実施する意向だったが、残りの1組に状況を説明したところ、1組ではさびしいのでということで、今年度は中止とした。

世代間交流の場として、地域に開かれた公民館の中の子供の居場所として、長く続けていきたい事業のひとつである。

通学合宿

①開設趣旨 子どもたちが生活体験をすることにより、協調性、自主性を育むとともに両親の大切さを感じる機会を提供する。また、両親には、子ども離れることで日頃の親子関係を考える機会を提供する。そして、スタッフに地域の人材を入れることで、地域で子どもを育てる意識を啓発する。

②対象・人数 佐倉東小児童（4～6年生）21人

③期間・回数 平成27年9月27日（日）～平成27年9月30日（水） 3泊4日

④学習目的

1. お互いの立場や役割を理解し、協力し合う心を育む。
2. 日常生活に必要な生活技能を習得する。
3. 子どもの自律と自立による生きる力“社会性・責任感・協調性・他人を思いやるやさしさ・規律意識。忍耐力を育む。

⑤指導者 千葉敬愛短期大学生 佐倉市民カレッジ佐倉地区同窓会 県立佐倉高校 公民館職員

⑥プログラム

月日(曜日)	学習内容	会場	参加者数
9月27日(日) ～9月30日(水)	開校式・閉校式 献立決め・買物・朝食・夕食(調理、 後片付け)・洗濯・入浴・清掃	千葉県立佐倉 高等学校セミ ナーハウス	佐倉東小児童21人、敬愛短期大学学生カウンセラー6人、市民カレッジ同窓会7人、佐倉高校ボランティア10人、イベントボランティア8人、食事ボランティア3人、公民館職員4人

⑦講座を終えて

佐倉東小学校の通学合宿では、当初、児童21人募集のところ28人の応募があったため、抽選を実施し21人で実施した。当事業においては市民カレッジ佐倉地区同窓会をはじめ、34人のボランティアの方々に参加いただき、登下校の付き添い等をサポートしていただいている。

通学合宿期間中は、子ども達が班毎に、約35人分の朝食・夕食の献立決めから、買い物、調理、盛付け、片付けまでを行う。また掃除、洗濯、宿題をしながら普段どおり学校に通うため、4日間大変厳しい過密スケジュールで

はあったが、児童は「料理を最近手伝うようになりました・動きがノロノロしていたけど、通学合宿を通じて動きが早くなりました！今も生かしています・お母さんやお父さんにご飯を作ったり、おてつだいをしたりしています・学校などで、料理で学んだ協力をして、家ではお母さんが少しでも楽になるようお手伝いをしたい」と回答するなど、親元を離れ、自分達のことを自分達でやってみることで、家族の見えない大変さ・有難みを感じてくれたようである。「みんなに喜んでもらえるとうれしい」という意見もあった。

保護者のアンケートからは、「初めての通学合宿でしたが、参加させて良かったと思いました。終了後、少しではあるが、自分からお手伝いをしてくれた。短い期間でも成長がみられて感謝している・最後のお別れの時に、担当してくれた学生さんと泣きながらあいさつをしていたのを見て、本当に心に残る4日間だと感じた・自分達で食事メニューを考えて作るということはなかなか他では経験ができないので、本人の為にもとても良かったと感じている・帰宅したら、色々な事を楽しそうに教えてくれた。夕ご飯の仕たくも進んでお手伝いしてくれる様になった。・高校生・大学生・社会人として成長した時には、小学生時代にお世話になったことを返す側となってほしいなあとと思う。地域とともに成長していく、このような行事をいつまでも続けてほしいと思う」との内容の意見があった。今回、通学合宿では、体験活動ができたのではないかと思う。学生カウンセラー主体の通学合宿であったが、カウンセラーが通学合宿のねらいを十分に理解し、本当によく考え頑張ってくれたおかげで、子ども達はとても楽しく有意義な時間を過ごせたようである。カウンセラーが4日間を通して子ども達に寄り添うことで、子どもへの細やかな配慮が可能となっていた。

今回参加した児童は、事前に練習してきた子が多く、知っている知識についてはお互いに教えあい、知らないことは聞いており、すすんで色々な調理をし、次に何をするかを考えて行動していた。調理中の怪我もなく、調理についてはほぼ許容範囲内で出来上がっていた。最終日は全員がセミナーハウスの掃除を一生懸命にしていた。4日間特に大きな問題もなく通学合宿が終わったことは、参加した子ども達の意識の高さに関係していると思われる。通学合宿を効果的に行うためには、参加者説明会や通知等により、子ども達が何をしに通学合宿に来たのかを十分に理解してもらい、またそれを子ども達にうまく伝えることも大切であると感じた。会場のセミナーハウスを使用させていただいた佐倉高校にも大変御世話になった。

佐倉っ子塾共通講座 夏休み子ども水辺探検ツアー

- ①開設趣旨 自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに環境保全の重要性を認識する機会とする。
- ②対象・人数 小学4年生～6年生 19人
- ③学習目的 印旛沼や鹿島川の水などを使って環境意識を育む。
- ④指導者 千葉県環境財団 職員
- ⑤プログラム

月日（曜日）	学 習 内 容	会 場	参加者数
7月22日（水） 9：00～16：00	印旛沼や鹿島川に注ぐ水の流れや、生き物について学ぶ。	ふるさと広場 （印旛沼：屋形船） 手繰川・畔田沢	白銀小児童1人、臼井小2人、千代田小2人、志津小2人、西志津小7人、小竹小3人、根郷小2人

⑥講座を終えて

佐倉市の象徴でもある印旛沼の環境を子ども達に理解してもらおうと毎年企画・実施している講座。午前は室内（白

井公民館)で工作(ペットボトルで「透視度計」)や印旛沼の現状についての座学を行い、午後は印旛沼・手繰川・畔田沢に移動し3か所で気温・水温・透視度及び水質測定(パックテスト)をしてもらった。また、それぞれの場所では生き物(水生動物(魚類等))を採取し観察し、印旛沼では地上と水上(屋形船)で観察した。

アンケートからも現地での測定や印旛沼の歴史等良く解かった。楽しかった。色々知ることができて博士になった気分。今まで知らなかった事がたくさんわかった。友達との魚とりが一番楽しかった。など、参加者が楽しみながら学べる体験型の環境学習が提供でき事業目的は達成できたと感じている。

JOSHIBIワークショップ「わくわくワッショイ～オリジナルちょうちんで佐倉を灯そう～」

① 開設趣旨

本事業は平成24年4月2日付けで締結された「佐倉市と学校法人女子美術大学との連携協働に関する協定書」に基づき実施する。参加児童は芸術を手段として自分の「考えていること」「感じていること」「伝えたいこと」を表現することを体験し、学生は現場での実践をとおして芸術教育の意義を学ぶことをねらいとする。

② 募集対象、募集人数 小学3～6年生 20名

③ 開催期間 平成27年8月19日(水)13:30～16:00 1回

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月19日(水) 13:30～16:00	日本のお祭に欠かせないちょうちん。佐倉市でも毎年開催されるお祭の夜を鮮やかに灯している。このワークショップでは、女子美術大学の学生が指導し、佐倉のイメージを色や形で表現した自分だけのオリジナルちょうちん作りに挑戦する。	女子美術大学芸術学部アートプロデュース表現領域3年(監修:日沼禎子准教授)

⑤ 講座を終えて

募集定員20名を超える応募があったが、女子美術大学が受け入れ可能とのことだったので、25名まで受け付けた。うち当日は24名が出席、4名ずつ6グループに分かれて、女子美術大生のファシリテートのもと、割箸と和紙、セロファンなどを材料に、グルーガンを使って、ちょうちん作りを行った。

学生に対しては前提条件として夏休みの自由課題・宿題として提出できることを示したが、アンケートの結果、提出した児童は4人だけだった。

一方で、参加児童・保護者の満足度は高く、次回への期待が読み取れる。当日の様子からも見て取れたが、大学生による製作指導・支援は、参加児童・保護者からも好評であった。

3. 成人教育事業

地域づくり講座「地元野菜と麴を使った発酵食料理」

① 開設趣旨

現在、「食」と「農」の原点を見つめ直す地産地消の推進が全国各地で展開されている。本地域づくり講座では、地元野菜の新しい活用法を学び実践することにより、地産地消の推進を図り、食料自給率の向上や地域の活性化につなげることを目的とする。麴と地元野菜を使った調理方法について、デモンストラーションと試食を行う。

② 募集対象・募集人数 一般成人 20人

③ 開催期間 平成28年2月2日(火) 13:00～16:00

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月2日(火) 13:00～16:00	メニュー 卵焼き、炒り豆ご飯、塩麴鍋、しいたけステーキ、即席スープ、小松菜とふのりの和え物、切り干し大根のマリネ	佐倉自然に生きる会 若梅 裕子

⑤ 講座を終えて

デモンストラーションから始まり、講師から調理の流れやコツ等の説明があり、その後テイスティングがおこなわれた。講師の準備・シミュレーションが念入りに行われており、滞りなく進んだ。

参加者のアンケートでは、70%が「大変満足」6人が30%が「満足」との回答を得ている。また、「楽しかったです。」「また参加したいです。」「大変勉強になりました。」という意見があり、地域の講師による調理実習、特に地元野菜を使った料理作りを行なうことで、仲間づくり・地域づくりに繋げることができ、引き続き次年度以降も続けていきたい事業となった。

パソコンイベント2015～Wordで年賀状を作ろう！～

① 開設趣旨

初級者を対象にパソコンに興味を持ってもらう講座を開くとともに、情報分野の裾野を発展させるよう図る。

② 募集対象、募集人数 一般成人 30人(各10人×3回)

③ 開催期間 平成27年11月7日(土) 午後の部 13:00～14:50

11月8日(日) 午前の部 9:40～11:30

午後の部 13:00～14:50

(※各回同じ内容)

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	11月7日(土) 13:00～14:50	Wordで年賀状を作ろう!	市民カレッジ情報コース卒業生 19期・20期生 20人

2	11月8日(日) 9:40~11:30	Wordで年賀状を作ろう!	市民カレッジ情報コース卒業生 19期・20期生 20人
3	11月8日(日) 13:00~14:50	Wordで年賀状を作ろう!	市民カレッジ情報コース卒業生 19期・20期生 20人

⑤ 事業を終えて

講座の内容として「Wordで年賀状を作ろう!」を9年連続で実施した。昨年度同様、今年度も公民館所有のパソコン(Windows7、Word2010)10台のみを使用することとし、土曜日の午前を準備に充て、土曜日の午後、日曜日の午前・午後の3回で各回10名計30名の定員とした。土曜午後、日曜午前の部は「こうほう佐倉」の告知で早くから定員に達したが、日曜午後の部の申込みが少なかったため、市内各公民館、図書館、コミュニティセンターにポスター掲示、チラシ配布を依頼、結果として満員となり、キャンセル待ちを5人受けたが、開催日までにキャンセルが出たので、申込者全員が参加できることとなった。土曜午前の部は、3人が当日欠席したが、日曜は、午前・午後の部とも申込者全員が出席した。

企画・準備の段階から市民カレッジ情報コース卒業生の協力を得ながら進めたため、テキストの作成、当日の役割分担などは問題がなかった。受講者、スタッフにより技術の差があり、メイン講師の説明に進度が合わない場面もあったが、フリーのスタッフが適切に対応していた。公民館の事業用パソコンは、Windows7、office2010だが、参加者の多くがパソコンを購入したばかりの初心者だとすると、自宅のパソコンがWindows8、Windows10、Office2014で、公民館で教わったことが自宅で活かしきれない等の問題が考えられるが、市民カレッジ情報コース卒業生の社会貢献の場としては、有意義なイベントと言える。

「健康増進教室」

①開設趣旨 高齢者が、介護が必要な状態になることをできる限り予防し、自立した自分らしい生活を営むようにするため、地域の諸団体と連携をし、介護予防に関する心身の健康に必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを開設の趣旨とする。

②募集対象・募集人数 一般成人 30名(参加者 9/26…39人、3/17…41人)

③開設日時 平成27年9月26日(土)・平成28年3月17日(木)
13時30分~15時30分

④学習目標

1. 介護が必要にならないために自分にあった予防方法を学ぶ。
2. 受講者同士で健康について話し合いをし、お互いの健康方法等知識を共有する。

⑤学習プログラム

回数	月日(曜日)	学習内容	講師
1	9月26日(土)	講演:「食生活と健康~豊食と飽食~」 懇談会:「健康とは~食生活の観点から~」	公益財団法人日産厚生会 介護老人保健施設佐倉ホワイエ
2	3月17日(木)	講演:「細胞は聴いている~気の元から健康になろう~」 懇談会:「第1回~第3回までの振り返り」	公益財団法人日産厚生会 介護老人保健施設佐倉ホワイエ

⑥事業を終えて

昨年に引き続き、公益財団法人日産厚生会介護老人保健施設佐倉ホワイエとの共催で講座を開設し、昨年度実施した第1回、第2回に引き続き、9月26日を第3回、3月17日を第4回として講座を実施した。

9月26日及び3月17日ともに、募集人数を上回る応募があり、9月26日は39人で、3月17日は41人の参加者で講座を実施した。

内容についても、前半の講演から参加者に問いかけながら講演を進めたことで活発な意見交換の場となり、場の雰囲気も和み、多くの意見が出された。また後半の懇談会でも、活発に意見、質問が出て、演題に関する理解を深めるとともに、参加者の交流も深まった。参加者からは「とても面白かった」「とても勉強になった」「食の見直しにつながる」「とても良い会で時間が過ぎるのもわからないように短く思いました。」などの声がほとんどで概ね好評だった。

佐倉ホワイエの協力が得られれば、来年度も継続して行いたいと考えている。

佐倉学専門講座「印旛沼とその流域の虫たち」

○開設趣旨 かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくために、佐倉市の自然環境の象徴である「印旛沼」について学ぶ。印旛沼の文化・歴史・自然を学習し、郷土佐倉の地域文化の創生につなげる。

○対象 一般成人 50名

○開設日時 平成27年8月11日(火)・8月29日(土) 全2回
午前10時～12時

○学習目標

1. 佐倉市のシンボルでもある印旛沼について学習する。
2. 郷土愛を育み、ふるさと佐倉創生への意欲を養う。
3. 印旛沼周辺に生息する虫と水の関係を学習する

○学習プログラム

回数	月日(曜日)	学習内容	講師	参加者
1	8月11日(火)	印旛沼の水と生き物の関係	元千葉敬愛短期大学 学長 堀田 和弘	31人
2	8月29日(土)	印旛沼周辺に棲む虫		39人

○事業を終えて

本事業は、「佐倉学」の中の1講座とし、小学生から成人までが学べる講座として開講した。

第1回の「印旛沼の水と生き物の関係」では、西印旛沼周辺の湧水とそこに生息する虫について学習した。

第2回の「印旛沼周辺に棲む虫」では、印旛沼だけでなく手賀沼についても学習した。

講師の印旛沼だけを考えるのではなく、手賀沼も印旛沼と同様に考え、今の「綺麗とは言えない沼の状態」を作ったのは人であり、次の世代に印旛沼を引継いでいく為に印旛沼を再生するには一人一人が関心を持つべきであるという話を参加者は熱心に聞いていた。参加者からは、印旛沼の様子が分かったことで自分に何ができるか、子どもと一緒に考えます。という声や、環境だけでなく、身近に流れる川が印旛沼につながっていることを初めて知ったという声もあった。ある小学生からは「水がきれいになると虫はいなくならない？」という質問も出て印旛沼への興味・関心を持つきっかけとなったのではないかと思う。

また、講座の中で「紙の昆虫教材製作」は昆虫を細部まで観察する大切さを感じてくれて、子どもから大人まで「共に教え教えられ」という睦まじい光景もあった。

講座に先駆けて、7/19 から 8/29 迄公民館内で「印旛沼周辺の昆虫標本展」も開催し、印旛沼周辺の様々な昆虫標本と、紙で作成した国内および諸外国の実物模写標本を展示したところ大勢の方が関心を持ち観覧していた。印旛沼周辺にはまだ多くの昆虫が生息していることに驚き、「子ども達や孫に見せたい」、「毎年の展示を希望する」、「身近な自然を幅広い年齢層が学べて良かった」というアンケート回答もあった。

佐倉学講座「佐倉・城下町400年新町周辺歴史散策」「佐倉・城下町400年佐倉の殿様物語」

① 開設趣旨

現在の佐倉市の基礎につながり、佐倉初の都市計画ともいえる佐倉城築城・城下町整備について学習する。

佐倉・城下町400年記念事業として、1611年に始まったと記録されている佐倉城築城関係の歴史を学ぶことによって都市として佐倉市の起源を知り、「歴史のまち佐倉」の理解を深める。

② 募集対象、募集人員 一般・散策 各20人(参加 10/22 17人、 11/7 13人)
一般・講演 90人(参加 3/23 90人)

③学習目標 平成27年10月22日(木)～平成28年3月23日 3回

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	10月22日(木) 9:30～12:30	新町周辺散策 佐倉市立美術館—裏新町—共同井戸—獄舎跡—新町郵便局脇の坂—松林寺—数屋酒店—勝寿寺—教安寺—妙隆寺—肴町—甚大寺—堀田家墓所—おはやし館(指定文化財山車人形)—旧駿河屋(NPO法人佐倉一里塚)—木村屋—吉田家—旧平井家—裏新町—山口家(市登録)—佐倉市立美術館	NPO法人佐倉一里塚
2	11月 7日(土) 9:30～12:30	新町周辺散策 散策経路:10月22日(木)と同様	NPO法人佐倉一里塚
3	3月23日(水) 10:00～12:00	講演 佐倉市の基礎となった佐倉藩の歴史、特に歴代藩主の史実を中心に学習する。	酒々井町文化財審議会会長 高橋 健一

⑤講座を終えて

平成21年度から、現代の佐倉市の都市計画につながる佐倉城とその城下町が整備された時代をテーマとしている。

これまでこの講座は、佐倉城下町の礎となった「土井利勝」に焦点を絞っていたが、今年度は佐倉市の基礎となった佐倉藩の歴史、特に歴代藩主の史実を中心に学習した。

散策は両日ともに天気に恵まれたこと、講演も歴代藩主の細かな史実を学ぶことができたことから、アンケートの結果も好評であった。

特に講演については、200人程度の申込みがあり、大いに注目を集めたと言える。

しかしながら、講演の申込み方法について電話申込みによる先着順としたところ、上記のとおり200人程度の申込みがあり、日常業務の支障となったことから、来年度はハガキによる申込受付としたい。(当日

キャンセルがあることを見越して、110人に対して受講案内を郵送したが、実際の参加者は、90人であった。)

佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」

① 開設趣旨

江戸時代中期、佐倉の領主であった稲葉氏の家臣渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、当時の佐倉城とその城下町の様子が描かれている。「古今佐倉真佐子」に記述された場所を散策し、作者が歩いた佐倉城とその城下町を参加者も実際に歩き、体感する。佐倉・城下町400年記念事業として、1611年に始まったと記録されている佐倉城築城関係の歴史を学ぶことによって、都市としての佐倉市の起源を知り、「歴史のまち佐倉」の理解を深める。

② 募集対象、募集人数 一般 20人

③ 開催期間 平成28年3月26日(土) 1回

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	3月26日(土) 9:00~12:00	散策経路：広小路→三の門→二の門→一の門→本丸→台所門→二の丸→椎木門→椎木曲輪→愛宕神社跡→田町門→ゴケ曲輪→杉坂・七曲がり坂下→姥ヶ池(ため池)→暮らしの植物苑前	特定非営利活動法人 まちづくり支援 ネットワーク佐倉

⑤ 講座を終えて

平成25年度から実施している事業で、今年度で3回目となる。若い世代の参加を促すため、今年度は土曜日の午前中を開催日時とした。昨年度(平日実施)、一昨年度(土曜実施)とも定員を超える応募があったため、今年度はハガキでの申し込み受付としたところ、定員20人のところ19人の申し込みがあり、当日全員が参加した。土曜午前の開催としたことで、50代男女各1人の参加が得られた。参加者の最低年齢は50歳、最高年齢は73歳、平均年齢は61.9歳であり、一昨年度平均68.3歳、昨年度平均68.8歳と比べると、若干の低下が見られる。昨年度は60代以上の方のみであったことから、やはり土曜開催に一定の効果があることが推測される。内容的には、普段何気なく歩いている佐倉城址公園を、絵図を見ながら、当時の様子がまざまざと目に浮かぶような解説を聞きながら散策することで、「歴史のまち佐倉」の理解、関心が深まり、意義深い講座であったのではないと思われる。

佐倉学講座 佐倉市平和条例施行20周年・終戦70年祈念「佐倉連隊の記憶」

① 開設趣旨

本講座は、「佐倉学」を総合的に学べる場を提供し、「佐倉学」の普及を図りながら、「人材の育成」と「新しい地域文化の創造」を目指すとともに、郷土愛を育むこと、関心を高めることを目的として実施する。今年度は、「佐倉市平和条例施行20周年・終戦70年平和祈念」と冠し、「佐倉連隊の記憶」をテーマに佐倉の歴史への興味を深めることをねらいとする。

② 募集対象、募集人数 一般成人 90人

③ 開催期間 平成28年3月18日(金)・3月25日(金) 各午前10時~正午 2回

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	3月18日(金) 10:00~12:00	佐倉連隊の戦跡を訪ねて	郷土歴史研究家 内田 儀久 (佐倉市社会教育指導員)
2	3月25日(金) 10:00~12:00	佐倉連隊を描いた作家たち	郷土歴史研究家 内田 儀久 (佐倉市社会教育指導員)

⑤ 講座を終えて

今年度の佐倉学講座は、「佐倉市平和条例施行20周年・終戦70年祈念」と冠し、第1回は「佐倉連隊の戦跡を訪ねて」と題し、講師が平成25年8月に実際にレイテ島・セブ島巡拝団に同行した時の様子の写真を映写しながら、第2回は「佐倉連隊を描いた作家たち」と題し、豊富な資料を参照しながらの講義となった。平日午前の開催とし、昨年同様往復はがきでの申し込みとしたが、定員90人のところ、申込者数72人、第1回の出席者62人、第2回の出席者53人と、昨年度と同講師による「メディアに見る佐倉の現代史」(土曜日午前開催)と比べると若干多くなっており、市民の佐倉連隊への関心の高さが伺えた。出席者は熱心に講師の話に聞き入っていた。

アンケートの結果、58%(26人)が「今回の講座に参加して満足」、36%(16人)が「やや満足」との回答を得ており、「やや不満」「不満」と回答した人はいなかった。また、講座をとおして、郷土愛を育むこと、関心を高めるといった目的が達成されていると思うかという問いに対しては、49%(22人)が「とても達成されていると思う」、44%(20人)が「少し達成されていると思う」との回答を得ている。また、自由記載でも、「専門的に良く研究されていると思った。」「講義の内容・検証が実に細かく精密で、より、佐倉連隊への興味が深まった。」等の意見があり、次回を期待する声も上がっている。

いんば沼公開講座「温故知新」

①開設趣旨 この講座は、かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくために、佐倉市の自然環境の象徴である「印旛沼」について学ぶもの。「佐倉の自然と文化について学んでみたい」という方々を対象に、佐倉市の自然と文化を学習し、郷土佐倉の創生につなげることを目的とする。

② 募集対象、募集人数 一般成人 100人

③ 開催期間 平成27年7月25日(土)~10月31日(土)全4回

④ 会場 ミレニアムセンター佐倉 ホール

⑤ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	7月25日(土) 14:00~16:00	いんば沼をきれいにー千葉県取り組みと成果ー	千葉県県土整備部河川環境課職員
2	9月5日(土) 14:00~16:00	いんば沼・流域発の文化	郷土歴史研究家 内田儀久
3	9月26日(土) 14:00~16:00	いんば沼の自然環境の変移と誘因	(公財)印旛沼環境基金上席研究員 本橋敬之助
4	10月31日(土)	空から眺めたいんば沼・流域の貌	千葉大学リモートセンシング研究センター

	14:00～16:00	教授 近藤昭彦
--	-------------	---------

⑥ 講座を終えて

公益財団法人印旛沼環境基金が主催し、佐倉市環境政策課と中央公民館が共催する事業。佐倉市民カレッジふるさと歴史コースの前年度卒業生が受付、資料配布、案内等のボランティアとして協力している。平成17年度から継続して実施している。

印旛沼について、県、郷土歴史家、環境基金、千葉大学から講師を迎え、様々な角度から知識を深めるとともに、印旛沼の環境改善に対する意識向上に資することが出来たものと思われる。

4. 高齢者教育事業 四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。

短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。

また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会（現在は超高齢社会）の中で、市民が健康で生きがいをもち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ（以下、市民カレッジという。）では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

3. 入学対象・定員

(1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、4年間継続して通学できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

(2) 定員：100人（年齢別募集・定員を超えた場合は抽選）

※各学年の年齢構成は以下のとおり

60歳以上	80人
60歳以上で過去5年間に入学抽選に2回落選している方	10人
40歳から59歳まで	10人

なお、平成27年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募 集 定 員	応 募 数	入 学 者 数
第1学年	60歳以上	108人	95人
	60歳以上で過去5年間に入学抽選に2回落選している方	0人	0人
	40歳から59歳まで	5人	5人
	計	計 113人	計 100人

※平成27年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	50	100	50	97
	2 組	50		47	
第2学年	1 組	44	94	44	93
	2 組	50		49	
第3学年	福 祉	22	88	21	86
	歴 史	24		23	
	情 報	20		20	
	元 気	22		22	
第4学年	福 祉	15	84	14	83
	歴 史	25		25	
	情 報	20		20	
	元 気	24		24	
計			366		359

4. 佐倉市民カレッジの学習内容

(1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」という。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済、等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。

また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」2年間の学習日数は70日程度で、約132単位に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の、「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

なお、具体的には、千葉大学大学院准教授による「住民参加のまちづくり」では、付せんを利用して意見集約する手法の体験、千葉地方検察庁事務官による「裁判員制度について」では模擬裁判、佐倉市八街市酒々井町消防組合による「佐倉市の震災対策」では避難訓練等参加型の講義も実施している。

(2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、他コース、他学年の講義を聴く聴講制度、さらに地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度、約80単位に及ぶ。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

① 「あったか福祉コース」

社会福祉一般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では一歩専門的な理論・技術を習得し、現場への実践を交えながら制度への理解を深め、介護を生活に身近な面からとらえ総合的視点で学習する。

4年生では3年時の学習に加え「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び経験することは、人が生活し地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を考え学んでいくことにつながり、市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考え、「傾聴」をテーマとした学習にも取り組んでいる。

② 「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育てていく。

その内容は講義形式の授業を受けるだけではなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③ 「さわやか情報コース」

デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

佐倉市の情報施策や、情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコン実習、「市民カレッジ情報紙」の作成。4年生ではパソコンの学習成果を活かしたイベントの企画・実施や、デジカメ撮影実習を行っている。また、地域活動における名簿作り。会計資料作成に役立つように、表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学习も盛んである。

そのほか、佐倉市の情報ネットワークの拠点である広域高速ネット296スタジオを見学し、高度情報化しつつある地域の現状についての理解を深める学習も行う。

平成24年度から卒業生のボランティアによってウイルスチェック等のパソコンメンテナンスが行われている。

④ 「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。

3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースを作成し、作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。そのほか、生活習慣病（成人病）に対する理解と予防、地域ぐるみの健康づくりなどについて学ぶ。さらに、リズム体

操や太極拳、ヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動を通して、今までの主体的な学習の過程や成果を健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

5. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、農林水産省、千葉地方検察庁、千葉県警察、千葉県立中央博物館、佐倉市八街市酒々井町消防組合、広域高速ネット296、順天堂大学、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣・実習・見学の協力をいただいている。また、これらを含めた平成27年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

① 1年 市内めぐり

6月10日、6月17日にクラス別にそれぞれ実施し、酒々井リサイクル文化センター、しすいハーブガーデン、和田ふるさと館歴史民俗資料室、公益財団法人印旛郡市文化財センターなど市内外の様々な施設を見学してまわり、佐倉市について理解を深めた。

② 専攻課程各コースの校外学習

3 学年	5月29日	歴史	佐倉地区歴史散策
	6月 5日	元気	ウォークラリー
	6月26日	歴史	志津地区歴史散策
	〃	情報	東京情報大学見学と講義
	9月18日	福祉	佐倉ホワイエ見学・体験
	9月25日	歴史	臼井地区歴史散策
	10月 9日	福祉	国際福祉機器展見学（東京ビッグサイト）
	10月 9日	情報	広域高速ネット296スタジオ見学
	10月16日	歴史	成田山の歴史を学ぶ（散策）
	10月30日	歴史	大佐倉歴史散策（本佐倉城周辺）
4 学年	11月20日	元気	ウォークラリーコースを作ろう
	5月28日	歴史	弥富地区歴史散策
	6月25日	歴史	佐倉城と佐倉連隊（散策）
	6月18日	福祉	ユーカーリ優都苑見学
	7月11日	歴史	佐原のまちづくりから学ぶ（散策）
	9月10日	情報	情報発信の現場を見てみよう（読売新聞東京本社/印刷博物館）

	9月24日	4コース合同	草笛の丘で自然観察と陶芸
	11月19日	福祉	佐倉ホワイエでの体験学習
	12月10日	歴史	国立歴史民俗博物館見学・講義

6. 平成27年度の主な行事

(1) 始業式・入学式

5月16日（土）、始業式に引き続き第24回入学式が行われ、100人の新入生が晴れの日を迎えた。

市民カレッジ総長の蔵和雄市長から「佐倉市民カレッジの建学の精神である『為すことによって学び、学ぶことによってお互いを高めあい、他（た）に尽くす』を心掛けていただき、四年間の学習の中で、知識と人格共に備わったカレッジ生となっていただきますとともに、地域活動の中心的な人材となっていただくよう切に願っております。」との祝辞をいただいた。続いて、在校生を代表して歓迎の言葉があり、これを受けて新入生100人を代表して「入学の言葉」があった。

(2) 佐倉市民カレッジスポーツフェスティバル

市民体育館を会場に10月2日（金）に、クラスや学年を超えた新たな仲間づくりと健康づくりを目標としてカレッジ生全員により盛大に実施された。

種目は、ボール送り、スプーンレース、綱引き、ダンス、風船割り、玉入れ等があり、実行委員会を中心に手作り運動会となった。

(3) 文化祭

11月11日（水）から11月14日（土）にわたり、カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場として実施した。昨年度に続き、卒業生からもグループ活動発表（パネル展示・研究発表等）に参加があり、より多くの人と新たな交流と親睦を深めた。出品作品は、絵画・書道・手工芸・洋裁・和裁・盆栽と多岐の分野にわたり、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

また、実習・見学でご協力いただいている福祉施設の入居者の方々にも出品を依頼し、見学と喫茶コーナーに招待した。

最終日の舞台発表の部では、クラス・コース毎に練習の成果を発表し、楽しい有意義な一時を過ごした。

(4) 「まちづくり実践報告会」（2年）

2学年は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ（課題部門別）を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、平成28年1月19日（金）に総長を迎えて、1・2年合同の学習形態で、代表者による発表をした。

その発表したグループと内容は、「ホテル恋：稲荷台4丁目の里山の環境保全」「届けよう笑顔を！ニコニコ合衆国23：高齢者福祉施設余暇活動支援」「チーム忘れな草：介護不要の人生をめざした認知症予防」「ユートピア時崎弁天：時崎弁天の環境美化活動」「佐倉の湧水23：佐倉の湧水を今こそ未来に繋げよう」「佐倉の名所・旧跡整備隊「堀田家廟所 等」堀田家廟所の清掃と堀田家歴史探訪」「麻賀多神社散策の会：麻賀多神社を通しての佐倉観光PR活動への取り組み」「チームハピネス：チームハピネスの活動」の8グループ8点であった。

(5) 修了式・卒業式

平成28年2月13日（土）に修了式、続いて卒業式を行った。

皆勤者10人を含む83人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

蕨総長は「市民カレッジの建学の精神には、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」とございます。これまでの経験を基礎に幅広い分野の学習と地域活動を積み上げてこられました卒業生の皆様には、佐倉市のまちづくりの主役としての役割が期待されております。」との言葉を述べられた。

卒業生を代表して歴史コース新倉信行さんが卒業の決意を述べ、通い続けた学舎を巣立った。

7. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸サークルが、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.16 (土)	カレッジ合同 式典	入学式 (入学式後写真撮影)	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.20 (水)	オリエンテー ション	学ぶことの意義 -公民館で学ぶこと・市民カレッジの概要- 自己紹介・役員選出等				中央公民館長 社会教育指導員
3	5.27 (水)	佐倉市の概要	各地区の成り立ち/ 佐倉の歴史概要	文化課	地域活動 (1)	園芸と緑化活動 -ボランティアの楽しさ-	カレッジ 園芸サークル 八板義教
4	6.3 (水)	健康づくり (1)	ウォークラリー -坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く-				社会教育指導員 カレッジ元気 コース4年生
5	6.10 (水)	自然と環境 (1)	1組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前8時45分集合 午前9時出発 午後3時佐倉駅北口解散 *雨天決行 見学地:酒々井リサイクル文化センター 和田ふるさと館等 講師 松平喜美代・近藤維久子				
		地域活動 (2)	2組 話し合い 「地域活動について」				元社会教育指導員 小林百代 中央公民館長 社会教育指導員
6	6.17 (水)	自然と環境 (1)	2組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前8時45分集合 午前9時出発 午後3時佐倉駅北口解散 *雨天決行 見学地:酒々井リサイクル文化センター 和田ふるさと館等 講師 松平喜美代・近藤維久子				
		地域活動 (2)	1組 話し合い 「地域活動について」				元社会教育指導員 松田義一 中央公民館長 社会教育指導員
7	6.24 (水)	自然と環境 (2)	水環境と人間生活	印旛沼環境基金 上席研究員 本橋敬之助	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	スポ-ツフェスティバル・ 文化祭に向けて等	社会教育指導員
8	7.1 (水)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の基本計画と 財政について	企画政策課 財政課	芸術と文化 (2)	佐倉ゆかりの 作家たち(2) -美術館の動物たち-	佐倉市立美術館 学芸員
9	7.8 (水)	地域活動(3) 私の生きがい (1)	1組 午前:地域活動の実践者に学ぶ(現地視察) 午後:「私の生きがい」発表に向けて 2組 午前:「私の生きがい」発表に向けて 午後:地域活動実践者に学ぶ(現地視察)				
10	7.15 (水)	生活と環境	動物に見る環境と生活	国立歴史民俗博物館 名誉教授 西本豊弘	高齢者を取り巻く 犯罪と交通の 知識	振込め詐欺と交通安全	千葉県警察 佐倉警察署
11	7.22 (水)	芸術と文化 (1)	佐倉・房総の ゆかりの作家たち(1) -房総の里海と美術-	筑波大学 教授 齊藤泰嘉	社会福祉 (1)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会
12	9.2 (水)	私の生きがい (2)	私の生きがい -作文発表-				社会教育指導員
13	9.9 (水)	文学 (1)	古典に親しむ 伊勢物語を読む	東京情報大学 名誉教授 松田喜好	健康づくり (2)	スポ-ツフェスティバル に向けて -カレッジ体操-	社会教育指導員/ 元気コース卒業生
14	9.16 (水)	健康づくり (3)	楽しみながらできる 健康づくり -理論とカレッジ体操-	順天堂大学 名誉教授 武井正子	健康づくり (4)	リズムダンス	元気コース卒業生 土肥秀雄
15	9.30 (水)	文学 (2)	郷土の歌人 -香取秀真の 短歌に親しむ-	斎藤茂吉記念館長 秋葉四郎	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	スポ-ツフェスティバル・ 文化祭に向けて等	社会教育指導員
16	10.2 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表 (2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10. 7 (水)	自然と環境 (3)	房総の海 －黒潮と親潮に育まれた自然－	元県立中央博物館 望月賢二	健康づくり (5)	リズム体操	(財)日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子
18	10. 14 (水)	市政を学ぶ (2)	佐倉市の環境保全施策 ／佐倉市のごみの減 量・再資源化について	生活環境課 ／廃棄物対策課	地域活動 (4)	市民協働	自治人権推進課
19	10. 21 (水)	自然と環境 (4)	里山の生態	東京情報大学 教授 原慶太郎	自然と環境 (5)	谷津環境の現地見学	佐倉畔田谷津 ワークショップ
20	10. 28 (水)	地域活動 (5)	佐原まちぐるみ博物館 に学ぶ	佐原おかみさん会	印旛沼の歴史	印旛沼と人々の生活 －江戸時代の干拓事業－	元成田高教諭 鏑木行廣
21	11. 4 (水)	カレッジ合同生 涯学習の楽しさ (4)	カレッジ文化祭に向けて 研究発表、学習発表、作品展示の事前準備・舞台発表の練習				社会教育指導員
22		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(5)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11. 11 (水)～11. 13 (金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
23	11. 14 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(6)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
24	11. 18 (水)	世代間交流 (1)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医療 センター研究所 非常勤研究員 高橋知也	世代間交流 (2)	小学生との交流に 向けて －話し合い－	社会教育指導員
25	11. 25 (水)	社会福祉 (2)	海外の福祉から見る 日本の福祉	立教大学 前講師 久良木香	世代間交流 (3)	小学生との交流に 向けて －活動準備－	社会教育指導員
26	12. 2 (水)	世代間交流 (4)	小学生との交流 －市内小学校で体験－	社会教育指導員	文学 (3)	中国のことわざ	東金商業高校教諭 山本郁夫
27	12. 9 (水)		*		1・2年合同 公開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口 章
28	1. 12 (火)	1・2年合同 公開講演会	薬局の上手な活用法	前佐倉市薬剤師会 会長 伊藤 克洋		*	
29	1. 19 (火)		*		1・2年合同 まちづくり	私たちのまちづくり実 践報告を聞く	佐倉市長 巖 和雄
30	1. 20 (水)	まちづくり	まちづくりに学ぶ				市民カレッジ 3年生
31	1. 27 (水)	自然と環境 (6)	水の都・佐倉 －佐倉の豊かな湧水－	元千葉敬愛短期 大学学長 堀田和弘	健康づくり (6)	食品表示の見方について	印旛健康福祉センター 上席専門員 明石誠 技師 中原亜弥
32	2. 3 (水)	消費者教育	自分で守る消費生活	消費生活専門 相談員	自然と環境 (7)	直下型地震と 千葉県の地質環境 －東日本大震災について－	茨城大学名誉教授 楡井 久
33	2. 10 (水)	社会福祉 (3)	高齢社会をどう生きるか －少子高齢社会の 日本の課題－	聖徳大学准教授 川口一美	ホームルーム	2年生に向けて	社会教育指導員
34	2. 13 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.16 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニングコンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.19 (火)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	まちづくり (1)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
3	5.26 (火)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の震災対策と 避難訓練	防災防犯課、 佐倉市八街市 酒々井町消防組合	まちづくり(2) 地域活動(1)	カレッジ卒業生 まちづくり活動 実践者の発表	印旛沼ネットワーク の会、子都手留会、影 絵塾9、佐倉音頭「輪 の会」
4	6.2 (火)	まちづくり (3)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	地域活動 (2)	住民参加のまちづくり	千葉大学大学院 准教授 森永良丙
5	6.9 (火)	共生社会 (1)	災害と人権-激甚災害に 対して備えるべきこと-	千葉県人権センター 常務理事 鎌田行平	地域活動 (3)	社会生活と ボランティア活動	千葉県生涯大学校 講師 関内直枝
6	6.16 (火)	まちづくり (4)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	まちづくり (5)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
7	6.23 (火)	市政を学ぶ (2)	佐倉市の児童・青少年 の取り組みについて	児童青少年課	民俗	印旛沼周辺の民俗	成田市 文化財保護協会 会長 小倉博
8	6.30 (火)	市政を学ぶ (3)	地域まちづくり協議会につ いて/ ファシリテーションの取組み について	自治人権推進課/ 資産管理経営室	病理と予防 (1)	シニア世代の心理	放送大学 客員准教授 星 薫
9	7.7 (火)	市政を学ぶ (4)	佐倉市の景観計画について 佐倉市の公園緑地について	都市計画課/ 公園緑地課	佐倉の歴史 (1)	旧石器時代・縄文時代 -印旛沼周辺の人々-	文化課 学芸員 小倉和重
10	7.14 (火)	まちづくり (6)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 (2)	佐倉藩主 堀田正睦	元成田高校教諭 鏑木行廣
11	7.21 (火)	健康づくり (1)	シニア世代の運動療法	順天堂大学 スポーツ健康科学部 助手 門屋悠香	市政を学ぶ (5)	佐倉市の健康管理の 取り組みについて	健康増進課
12	9.1 (火)	市政を学ぶ (6)	佐倉市の観光と 佐倉・城下町400年 記念事業	産業振興課	ホームルーム	スポーツフェスティバル に向けて	社会教育指導員
13	9.8 (火)	家庭と法律 (1)	裁判員制度について	千葉地方検察庁	市政を学ぶ (7)	佐倉市の文化・ 文化財行政	文化課
14	9.15 (火)	自然と環境 (1)	河川湖沼の水辺環境と 水質浄化の考え方	千葉工業大学 名誉教授 瀧和夫	地域活動 (4)	市民協働について	首都大学東京 教授 玉野和志
15	9.29 (火)	まちづくり (7)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	病理と予防 (2)	メンタルヘルスについて	健康増進課
16	10.2 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
17	10.6 (火)	福祉	地域福祉とは	淑徳大学 准教授 山下興一郎	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
18	10.13 (火)	文学 (1)	房総と文学 佐倉の文学風土	元江戸川大学教授 文芸評論家 鳥海宗一郎	自然と環境 (2)	身近な自然環境に関する 最近の話題	千葉県立中央博物館 倉西良一

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
19	10.20 (火)	自然と環境 (3)	印旛沼周辺の野鳥	日本野鳥の会 浅野俊雄	まちづくり (8)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
20	10.27 (火)	家庭と法律 (2)	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 法政大学法科大学院教授 高須 順一	佐倉の教育	佐倉市の学校教育と 佐倉学	教育センター 社会教育課
21		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.11(水)～11.13(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
22	11.14 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
23	11.17 (火)	文学 (2)	房総と万葉集	万葉研究家 岡本 好	健康づくり (2)	ヨガでリフレッシュ 〔実技〕	健康運動指導士 荒谷美枝子
24	11.24 (火)	佐倉の歴史 (3)	佐倉城とその城主	印旛郡市 文化財センター 調査課 日暮冬樹	まちづくり (9)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
25	12.1 (火)	情報社会 (1)	情報とリスク	東京情報大学 教授 成瀬敏郎	佐倉の歴史 (4)	佐倉の明治維新	元千葉県文書館 川本愉彦
26	12.8 (火)	まちづくり (10)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 (5)	紀行文・物語に見る 地域文化	元成田高校教諭 鏑木行廣
27	12.9 (水)	専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	社会教育指導員	1・2年合同公 開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口章
28	12.15 (火)	市政を学ぶ (8)	高齢者福祉の取り組みと 認知症	高齢者福祉課	まちづくり (11)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて①	社会教育指導員
29	1.12 (火)	1・2年合同 公開講演会	薬局の上手な活用法	前佐倉市薬剤師会 会長 伊藤 克洋		*	
30	1.19 (火)	まちづくり (12)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて②	社会教育指導員	まちづくり (13) (1・2年合同)	私たちのまちづくり 実践報告	佐倉市長 藤 和雄
31	1.26 (火)	佐倉の歴史 (6)	佐倉の鉄道発達史	鉄道史研究家 白土貞夫	共生社会 (2)	メディアにおける 女男平等参画について	メディアジャーナリスト 渡辺真由子
32	2.2 (火)	佐倉の歴史 (7)	佐倉市のあゆみ	社会教育指導員 内田儀久	ホームルーム	3年生に向けて	社会教育指導員
33	2.9 (火)	病理と予防 (3)	シニア世代の かかりやすい病気	佐倉厚生園病院 院長 遠山正博	情報社会 (2)	コンピュータを賢くする ～知能情報処理について～	東京情報大学 准教授 マッキン・ ケネスジェームス
34	2.13 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.16 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.22 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	リエンション	コース概要	社会教育指導員 福祉コース卒業生
3	6.5 (金)	健康づくり (1)	生活習慣病予防	健康運動指導士 加藤未来	高齢者と 住まい	高齢者にやさしい住まい	建築士 小杉敬太郎
4	6.12 (金)	福祉サービス	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人 誠友会 理事長 竹内 淳	障害福祉 (1)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容	社会福祉法人愛光 常務理事 高梨憲司
5	6.19 (金)	訪問介護	訪問介護サービスの 社会的役割、職業倫理	佐倉白翠園 ケアサービスセンター所長 瀧原久美子	施設見学 (1)	千葉県立千葉盲学校 一体験学習一	千葉県立 千葉盲学校
6	6.26 (金)	高齢期の 食生活	高齢期の栄養と食生活のあり方(調理実習)				料理研究家 六崎美知代
7	7.17 (金)	高齢者の身体的 特徴と疾患	高齢者に多い疾患の基 礎知識と予防・対処方 法	佐倉白翠園 看護師長 杉田眞佐子	子育て支援 (1)	子育て支援の 現状と課題	千葉敬愛短期大学 教授 吉村真理子
8	9.4 (金)	歯科・口腔	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩員尚志	障害福祉 (2)	視覚障害を語る/ ホームルーム	朗読ボランティア こおろぎの会/ 社会教育指導員
9	9.18 (金)	施設見学 (2)	佐倉ホワイエの 見学・体験	佐倉ホワイエ	介護演習 (1)	介護技術の基礎 (1)	佐倉白翠園 介護次長 三浦恵子
10	10.2 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.9 (金)	施設見学 (3)	国際福祉機器展見学・東京ビッグサイト				社会教育指導員 公民館職員
12	10.23 (金)	4コース合同 講演会(1)	心の健康	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	話し合い学習	国際福祉機器展を 見学して	社会教育指導員

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.30 (金)	障害福祉 (3)	聴覚障害について	障害福祉課	介護演習 (2)	介護技術の基礎 (2)	佐倉白翠園 介護次長 三浦恵子
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.11(水)～11.13(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.14 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.20 (金)	傾聴	聴く技術	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	健康づくり (2)	コーディネーション 運動	(株)ツインリンク茂木 ハローウッズ 小瀧 綾
17	12.4 (金)	施設見学 (4)	特別養護老人ホーム佐倉白翠園の見学 集合 午前9時50分				特別養護老人 ホーム佐倉白翠園
18	1.15 (金)	子育て支援 (2)	地域で子育て、 みんな子育て (施設見学・交流、 講座)	佐倉保育園	高齢者福祉 (1)	地域包括支援センター について	臼井・千代田地域 包括支援センター
19	1.29 (金)	施設体験	佐倉ホワイエ体験学習	佐倉ホワイエ	高齢者福祉 (2)	介護保険制度の概要と サービス内容	高齢者福祉課
20	2.5 (金)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.13 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.16 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.22 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員
3	5.29 (金)	歴史散策 (1)	佐倉地区の歴史散策 集合 9時30分 市民体育館 散策 午後3時解散予定				NPO法人まちづくり 支援ネットワーク 佐倉
4	6.12 (金)	佐倉市の歴史 (1)	国指定史跡 井野長割遺跡について	文化課	佐倉市の歴史 (2)	本佐倉城跡と臼井城跡 の発掘成果と 東国の戦国時代	(元)大学共同利用 機関法人 人間文化研究機構 理事 小野正敏
5	6.26 (金)	歴史散策 (2)	志津の歴史散策 集合 9時45分 ユーカリが丘線中学校駅 散策 午後3時現地解散予定				NPO法人 佐倉一里塚 (カレッジ卒業生)
6	7.10 (金)	佐倉市の歴史 (3)	上杉謙信と臼井城合戦 —中世後期の佐倉—	市文化財審議委員 県立佐倉東高校教諭 遠山成一	佐倉市の歴史 (4)	古今佐倉真佐子に ついて	元成田高校教諭 鏑木行廣
7	7.24 (金)	佐倉市の歴史 (5)	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員、 国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島正士	佐倉市の歴史 (6)	最近の埋蔵文化財 調査について	公益財団法人印旛郡 市文化財センター
8	9.11 (金)	佐倉市の歴史 (7)	佐倉城下町の 祭礼文化について	祭礼文化研究家 山瀬一男	郷土の先覚者 (1)	津田 仙 -近代農業のさきがけ-	津田仙の曾孫 津田 道夫
9	9.25 (金)	歴史散策 (3)	臼井の歴史散策 集合 9時20分 京成臼井駅北口下 散策 午後3時現地解散予定				佐倉ふるさと談話会 細道恭堂 (カレッジ卒業生)
10	10.2 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.16 (金)	町並み散策	成田山の歴史を学ぶ 集合 午前10時10分 JR成田駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定				成田市文化財保護協 会 会長 小倉博
12	10.23 (金)	4コース合同 講演会 (1)	心の健康	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	郷土の先覚者 (2)	浅井忠と 佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分				午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師	
13	10.30 (金)	歴史散策 (4)	大佐倉の歴史散策 集合 9時20分 京成大佐倉駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定				NPO法人まちづくり 支援ネットワーク 佐倉	
14	11.6 (金)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	郷土の先覚者 (3)	佐藤泰然と佐倉順天堂	文化課	
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.11(水)～11.13(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員	
16	11.14 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員	
17	11.27 (金)	佐倉市の歴史 (8)	佐倉藩士	行政管理課 市史編さん担当 土佐博文	佐倉市の歴史 (9)	佐倉牧	市文化財審議委員 京都造形芸術大学 講師 高見澤美紀	
18	12.11 (金)	佐倉市の歴史 (10)	堀田正倫と幕末・ 明治の佐倉の人々	文化課	佐倉市の歴史 (11)	佐倉新町の景観	酒々井町 文化財審議会委員 高橋健一	
19	1.15 (金)	佐倉市の歴史 (12)	佐倉藩士と沼津兵学校	国立歴史民俗博物館 教授 樋口雄彦	ホームルーム	研究テーマについて	社会教育指導員	
20	2.5 (金)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子	
21	2.13 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*		

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.16 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.22 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員 公民館職員
3	5.29 (金)	地域情報誌 づくり	情報紙の記事と レイアウト	千葉日報 編集局次長・論説委員 渡辺 鉦	課題学習 (1)	カレッジ情報紙を作ろう ① 編集会議	社会教育指導員
4	6.12 (金)	情報伝達の技術 (1)	パソコンに触れてみよう ①	パソコン インストラクター	情報伝達の技術 (2)	パソコンに触れてみよう ②	パソコン インストラクター
5	6.26 (金)	情報化時代の 学習 (1) 施設見学	東京情報大学施設見学と講義 午前10時20分現地集合 午後2時30分現地解散予定				東京情報大学
6	7.10 (金)	情報伝達の技術 (3)	ワードを使おう①	カレッジ卒業生 20期情報コース	情報伝達の技術 (4)	ワードを使おう②	カレッジ卒業生 20期情報コース
7	7.24 (金)	情報伝達の技術 (5)	ワードを使おう③	カレッジ卒業生 20期情報コース	情報伝達の技術 (6)	ワードを使おう④	カレッジ卒業生 20期情報コース
8	9.11 (金)	情報化時代の 学習 (2)	インターネット活用術①	パソコン インストラクター 小坂大輔	情報化時代の 学習 (3)	インターネット活用術②	パソコン インストラクター 小坂大輔
9	9.25 (金)	課題学習 (2)	カレッジ情報紙を作ろう ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (4)	情報化社会と著作権	(一社)コンピュータソフトウェア 著作権協会 専務理事 久保田 裕
10	10.2 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.9 (金)	情報化時代の 学習 (5) 施設見学	広域高速ネット296スタジオ見学 講話「地域の情報発信ーCATVの可能性ー」 スタジオ見学ー情報が発信されるまでー 午前9時45分現地集合 午後3時現地解散予定				広域高速ネット 296
12	10.23 (金)	4コース合同 講演会 (1)	心の健康	東京メンタル チーフカウンセラー 淵上規后子	課題学習 (3)	カレッジ情報紙を作ろう ③	社会教育指導員

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.30 (金)	課題学習 (4)	カレッジ情報紙を作ろう ④	社会教育指導員	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.11(水)～11.13(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.14 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.27 (金)	情報伝達の技術 (7)	タブレットを 体験してみよう	NTTドコモ インストラクター	情報伝達の技術 (8)	ヴィジュアルコミュニ ケーションとデザイン	女子美術大学 短期大学部 教授 佐藤真澄
17	12.18 (金)	情報化時代の 学習(6)	情報社会を考える	東京情報大学 教授 茨木正治	課題学習 (5)	カレッジ情報紙を作ろう ⑤	社会教育指導員
18	1.8 (金)	情報伝達の技術 (9)	パワーポイント①	カレッジ卒業生 20期情報コース	情報伝達の技術 (10)	パワーポイント②	カレッジ卒業生 20期情報コース
19	1.22 (金)	課題学習 (6)	カレッジ情報紙を作ろう ⑥	社会教育指導員	課題学習 (7)	カレッジ情報紙を作ろう ⑦(印刷)	社会教育指導員
20	2.5 (金)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
21	2.13 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.16 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.22 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	おエンタージョン	コース概要	社会教育指導員
3	5.29 (金)	課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう (1)	社会教育指導員	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	NPOニッポン ランナーズ 萩谷正紀
4	6.5 (金)	健康づくり (1)	ウォークラリーで健康増進 －初夏の風を受け、森林浴－ 予備日：6/12				社会教育指導員 公民館職員
5	6.19 (金)	生活と健康 (2)	救急法を学ぶ	佐倉消防署	課題学習 (2)	ウォークラリー コースを作ろう (2)	社会教育指導員
6	7.3 (金)	地域活動	総合型地域 スポーツクラブ	NPOニッポン ランナーズ 齊藤太郎	健康づくり (2)	みんなで楽しむ レクリエーション	元社会教育指導員 川口はぎ江
7	7.17 (金)	スポーツと健康	チームワークを考える	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 水野基樹	健康づくり (3)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会 森 繁昌
8	9.4 (金)	健康づくり (4)	ニュースポーツに チャレンジ	元気コース卒業生	病理と予防 (1)	生活習慣病と健康	日本ウェルネス スポーツ大学 教授 鈴木勝彦
9	9.18 (金)	ホームルーム	スポーツフェスティバル・文化祭に向けて	社会教育指導員		*	
10	10.2 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.16 (金)	課題学習 (3)	ウォークラリーコースを作ろう (3) －自分たちでルート（経路）を歩き、ウォークラリーコースを検証する－				社会教育指導員 公民館職員
12	10.23 (金)	4コース合同 講演会 (1)	心の健康	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	健康づくり (6)	健康体操 からだを動かして リフレッシュしよう	健康運動指導士 加藤未来

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.30 (金)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	病理と予防 (2)	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井正子
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.11(水)～11.13(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.14 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.20 (金)	課題学習 (4)	ウォークラリーコースを作ろう(4) —自分たちでルート(経路)を歩き、ウォークラリーコースを検証する—				社会教育指導員 公民館職員
17	12.4 (金)	課題学習 (5)	ウォークラリー コースを作ろう(5)	社会教育指導員	健康づくり (7)	ヨガ ゆったりと リフレッシュしよう	インストラクター 岡本美鈴
18	12.10 (木)	健康づくり (7) 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄	健康づくり (8) 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	12.17 (木)	健康づくり (9) 3・4年 元気コース合同	身近なものを使った軽 運動	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄		*	
20	1.15 (金)	生活と健康 (3)	私が行っている 健康づくり [個人発表]	社会教育指導員	健康づくり (10)	リズム体操 音楽に合わせて 動いてみよう	(財)日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子
21	2.5 (金)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 代表理事 鈴木純子
22	2.13 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.16 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.21 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	6.4 (木)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員
4	6.18 (木)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	施設見学 (1)	ユウカリ優都苑 (老健施設・グループ ホーム・学童保育)	同所事務局長
5	7.2 (木)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の話し合い)	社会教育指導員
6	7.16 (木)	カウンセリングの 基礎	ここに触れる生かす カウンセリング	東京メンタルズ チーフカウンセラー 淵上規后子	傾聴演習 (1)	ロールプレイ(1)	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ
7	9.3 (木)	傾聴への あゆみ	聞くから聴くへ	東京メンタルズ チーフカウンセラー 淵上規后子	傾聴演習 (2)	ロールプレイ(2)	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ
8	9.17 (木)	介護予防	介護予防	高齢者福祉課 岩本絵己	傾聴演習 (3)	ロールプレイ(3)	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ
9	9.24 (木)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
10	10.2 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.8 (木)	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員
12	10.15 (木)	学び合い学習 (1)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.29 (木)	学び合い学習 (3)	情報コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	歴史コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.5 (木)	学び合い学習 (5)	元気コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.11(水)～11.13(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.14 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.19 (木)	傾聴演習 (4)	佐倉ホワイエでの 体験学習	佐倉ホワイエ/ セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ	傾聴演習 (5)	傾聴のまとめ	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ
18	12.3 (木)	障害福祉	知的障害・精神障害者 福祉について	木の宮学園	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員
19	1.14 (木)	学習のまとめ	福祉活動の実践に 向けて	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.28 (木)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.4 (木)	4コース合同 講演会	文明化と人とのつながり	元千葉敬愛短期 大学学長 堀田和弘	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.13 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.16 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.21 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.28 (木)	歴史散策 (1)	弥富地区の歴史散策 集合 9時20分 川村記念美術館バス停前 散策 午後3時現地解散予定			酒々井町文化財審議 会委員 高橋健一	
4	6.19 (金)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (1)	佐倉道と成田道	日本交通史学会 山本光正 (歴博元教授)
5	6.25 (木)	歴史散策 (2)	佐倉城跡と佐倉連隊の歴史散策 集合 9時20分 市民体育館 散策 午後3時現地解散予定			佐倉ふるさと談話会 細道恭堂 (カレッジ卒業生)	
6	7.2 (木)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作 家 高比良直美	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員
7	7.11 (土)	町並み散策	「佐原のまちづくりから学ぶ」(散策) 集合 午前9時00分 JR成田駅改札口の中 成田駅→佐原駅下車 散策 午後3時 現地解散予定			NPO法人 小野川 と佐原の町並みを考 える会 副理事長 吉田昌司	
8	7.23 (木)	地域活動	博物館の見方・ 楽しみ方	NPO法人博物館 活動支援センター 理事長 熊野正也	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
9	9.17 (木)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (2)	佐倉連隊と 戦時下の佐倉	神奈川大学大学院 歴史民俗資料学研究所 特任教授 安田常雄
10	9.24 (木)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散			草ぶえの丘 職員	
11	10.2 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館			社会教育指導員 公民館職員	
12	10.15 (木)	学び合い学習 (1)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.29 (木)	学び合い学習 (3)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.5 (木)	学び合い学習 (5)	情報コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.11(水)～11.13(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.14 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 中央公民館職員
17	11.26 (木)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (3)	写真に見る佐倉の 近・現代	社会教育指導員 内田儀久
18	12.10 (木)	地域活動	これからの博物館で 必要なこと (集合 9時40分 国立歴史民俗博物館)	国立歴史民俗博物館 館長 久留島 浩	地域活動	歴博を楽しむ 〔国立歴史民俗 博物館を見学〕 (15時現地解散予定)	国立歴史民俗博物館 館長 久留島 浩
19	1.14 (木)	学習のまとめ	研究レポートの発表	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.28 (木)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.4 (木)	4コース合同 講演会	文明化と人とのつながり	元千葉敬愛短期 大学学長 堀田和弘	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.13 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.16 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.21 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.28 (木)	情報伝達の技術 (1)	ワード	カレッジ卒業生 20期情報コース	情報化時代の 学習 (1)	映像作品ができるまで	広域高速ネット 296放送制作部 次長 平真児
4	6.11 (木)	情報伝達の技術 (2)	エクセルにチャレンジ ①	カレッジ卒業生 20期情報コース	情報伝達の技術 (3)	エクセルにチャレンジ ②	カレッジ卒業生 20期情報コース
5	6.25 (木)	情報伝達の技術 (4)	エクセルにチャレンジ ③	カレッジ卒業生 20期情報コース	情報伝達の技術 (5)	エクセルにチャレンジ ④	カレッジ卒業生 20期情報コース
6	7.2 (木)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
7	7.17 (金)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (2)	コンピューターの 過去・現在・未来	東京情報大学 教授 寺嶋廣克
8	9.10 (木)	情報化時代の 学習 (3) 施設見学	【情報発信の現場を見に行こう】 会場 読売新聞東京本社/印刷博物館 地下鉄「大手町駅」C3出口 午前10時20分 現地集合 午後2時 現地解散				社会教育指導員 公民館職員
9	9.24 (木)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
10	10.2 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.8 (木)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員
12	10.15 (木)	学び合い学習 (1)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.29 (木)	学び合い学習 (3)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
14	11.5 (木)	学び合い学習 (5)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	歴史コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.11 (水)～11.13 (金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.14 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.26 (木)	情報化時代の 学習 (4)	報道の現場から	元日本テレビ 放送網報道局 町田博祐	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.10 (木)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (5)	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 准教授 樋口大輔
19	1.21 (木)	学習のまとめ	情報コース卒業生 の活動紹介	前年度卒業生 社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.28 (木)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.4 (木)	4コース合同 講演会	文明化と人とのつながり	元千葉敬愛短期 大学学長 堀田和弘	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.13 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.16 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	千葉県警察音楽隊
2	5.21 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員 元気コース卒業生
3	6.3 (水)	地域活動 (1)	実践活動 ウォークラリー ー坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩くー (1年生のウォークラリーの際のスタッフとして活動)				社会教育指導員
4	6.18 (木)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
5	7.2 (木)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	健康づくり (2)	高齢者のための 3B体操	公益社団法人 日本3B体操協会 鈴木静江
6	7.16 (木)	健康づくり (1)	コーディネーション運動 自ら楽しむ健康	(株)ツインリンク茂木 ハローウッズ 小瀧 綾	地域活動 (2)	ターゲットバード ゴルフ	ターゲットバード ゴルフ協会
7	9.3 (木)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	自然観察の すすめ	都市近郊の 野鳥の生態	日本野鳥の会 浅野俊雄
8	9.10 (木)	健康づくり (3)	健康を保つ食事作り (調理実習)	料理研究家 六崎美知代	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の話し合い)	社会教育指導員
9	9.17 (木)	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員		*	
10	9.24 (木)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
11	10.2 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.15 (木)	学び合い学習 (1)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員

平成27年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.29 (木)	学び合い学習 (3)	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
14	11.5 (木)	学び合い学習 (5)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	福祉コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.11(水)～11.13(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.14 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.3 (木)	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.10 (木)	健康づくり (5) 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄	健康づくり (6) 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	12.17 (木)	健康づくり (7) 3・4年 元気コース合同	身近なものを使った軽 運動	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄		*	
20	1.21 (木)	学習のまとめ	卒業後の健康づくり まちづくり [個人発表]	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
21	1.28 (木)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
22	2.4 (木)	4コース合同 講演会	文明化と人とのつなが り	元千葉敬愛短期 大学学長 堀田和弘	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
23	2.13 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

5. コミュニティ事業

さくら学び塾（学びあい講座）「かんたんらくらく元気体操」

① 開設趣旨 本講座は、市民公募による講師の企画に基づき、コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）として開設する。

老若男女を問わず、いつでもどこでも道具を使わずに気軽にできる体操を、楽しみながら実施する。

② 募集対象、募集人員 成人の方 40人

③ 開催期間 平成27年10月24日(土)～12月19日(土)全5回

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	10月24日(土) 10:00～12:00	全講義実技実習 道具を使わない健康体操・ストレス解消運動・脳トレ健康体操	佐倉市健康を 作ろう会 会長 廣吉 勝子
2	11月7日(土) 10:00～12:00		
3	11月18日(水) 10:00～12:00		
4	12月12日(土) 10:00～12:00		
5	12月19日(土) 10:00～12:00		

⑤ 事業を終えて

講師の明るく元気で活力があり、時に冗談も交えたパーソナリティに支えられ、参加者も初めて会う者同士にもかかわらず、自然に笑顔があふれ、楽しそうに体操を行っていた。

残念ながら初回到転倒事故が発生してしまったが、その後講師が「決して無理をしないこと」を常に強調しながら進めたため、その後は安全に事業を進めることが出来た。

アンケートでは、講座の内容について9割弱が「大変良い」1割強が「良い」と答えており、自由記載欄には「楽しくためになった、今後も続けたい」「楽しい時間をすごせて、とてもよかった」「徐々に体力が付き嬉しい」などの声があり、参加者にとって満足度の高い講座であったことが伺える。

6. 団体育成事業

佐倉学体験講座 ～「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」「佐倉こどもかるた普及派遣事業」～

①開設趣旨 佐倉学関連事業の一つとして、市内小学校、教育センター、中央公民館が連携して、子どもたちに「佐倉学」を総合的に学べる場を提供するとともに、佐倉学の普及を図るため、佐倉市民カレッジ卒業生で結成された、民話を語るボランティア団体「さくらっ古」と「佐倉こどもかるたしってるかい子都手留会」を市内小学校の児童を対象に派遣し、佐倉に伝わる民話の語りべや佐倉こどもかるたを通して、郷土愛を育むことを目的とする。

②対象・人数 幼児、市内小学生 1年生～6年生（「佐倉こどもかるた子都手留会」については一般も対象）

③期間・回数 平成27年4月1日～平成28年3月31日

・さくらっ古：全14回 1, 713名

・子都手留会：全25回 821名

④学習プログラム

【さくらっ古】

回数	月日(曜日)	民話の題名	学校名	対象・人数
1	6月24日(水) 9:20～10:25	① 手遊び・カムロちゃん ② ききみみずきん ③ 坂田の梅 ほか ④ 反物地蔵	王子台小学校	1年生～6年生140名
2	7月6日(月) 10:30～11:30	① 反物地蔵 ② てんぐとかっぱとかみなりどん ③ はっちむぎつね ほか	志津小学校	2年生95名
3	7月7日(火) 10:30～11:30	① 親はうま酒、子は清水 ② おしどりの悲しみ ③ 八幡様の白馬 ほか	志津小学校	3年生90名
4	9月15日(火) 10:35～11:20	① 姥が池物語 ② 八幡様の白馬 ③ みつぎきにされた竜神さま ほか	井野小学校	3年生120名
5	10月14日(水) 9:15～10:10	① 阿辰の祠 ② おしどりの悲しみ ③ 三つぎきにされた竜神さま ほか	佐倉東小学校	4年生41名
6	10月19日(月) 10:30～12:05	① 内郷のきつね ② たべられたやまんば ③ 三つぎきにされた竜神さま ほか	内郷小学校	1～4年生111名
7	10月26日(月) 10:30～11:15	① 白狐の花嫁 ② 姥が池物語 ③ 雪女ほか	佐倉小学校	1・2年生117名
8	10月28日(水) 9:35～10:20	① カムロちゃん ② 阿辰の祠 ③ 三つぎきにされた竜神さま ほか	臼井小学校	1年生～2年生117名
9	11月30日(月) 9:30～11:30	① カムロちゃん ② てんぐとかっぱとかみなりどん ③ 八本目の足 ほか	小竹小学校	1～2年生89名

10	12月16日(水) 10:45～11:30	① てんぐとかっぱとかみなりどん ② 阿辰の祠 ③ 反物地蔵 ほか	西志津小学校	2年生144名
11	12月21日(月) 10:30～11:15	① てんぐにさそわれ京見物 ② はっちむぎつね ③ 親はうま酒、子は ほか	間野台小学校	2年生32名
12	1月12日(火) 8:35～12:15	① 一休さん ② 姥が池物語 ③ 三つざきにされた竜神様 ほか	染井野小学校	1年生～4年生163名
13	1月18日(月) 10:35～11:20	① てんぐとかっぱとかみなりどん ② 親はうま酒、子は清水 ③ 三つざきにされた竜神様 ほか	間野台小学校	3年生88名
14	1月28日(木) 9:25～12:15	①反物地蔵 ②八幡様の白馬 ③雪女 ほか	南志津小学校	1～6年生366名

【子都手留会】

回数	月日(曜日)	団体名	対象・人数
1	6月9日(火) 9:15～10:00	和田小学校	3年生12名 4年生11名
2	6月10日(水) 10:35～11:20	染井野小学校	3年生30名
3	6月10日(水) 11:30～12:15	染井野小学校	3年生30名
4	10月20日(火) 10:35～11:20	染井野小学校	3年生30名
5	1月27日(水) 10:27～11:20	染井野小学校	3年生30名
6	11月6日(金) 9:20～11:10	佐倉東小学校	3年生43名

7	11月6日(金) 11:30~12:25	佐倉東小学校	3年生43名
8	1月20日(水) 10:45~11:30	佐倉東小学校	3年生38名
9	11月7日(土) 10:55~11:30	白銀小学校	2~4年生11名
10	11月7日(土) 11:40~12:25	白銀小学校	2~6年生11名
11	1月13日(水) 10:25~11:25	白銀小学校	3年生42名
12	12月15日(火) 9:20~10:05	寺崎小学校	4年生35名
13	12月15日(火) 10:30~11:15	寺崎小学校	4年生33名
14	1月14日(木) 9:20~10:05	王子台小学校	3年生38名
15	1月14日(木) 10:30~11:15	王子台小学校	3年生38名
16	1月15日(金) 9:25~10:10	青菅小学校	3年生35名
17	1月15日(金) 10:35~11:20	青菅小学校	3年生33名
18	1月19日(火) 9:35~11:20	臼井小学校	3年生29名
19	1月19日(火) 10:45~11:25	臼井小学校	3年生30名
20	1月26日(火) 10:35~11:25	間野台小学校	3年生56名
21	1月26日(火) 11:30~12:15	間野台小学校	3年生27名
22	3月1日(火) 10:35~11:20	印南小学校	3年生33名

23	3月1日(火) 9:15~10:10	上志津小学校	3年生35名
24	3月1日(火) 11:15~12:00	上志津小学校	3年生33名
25	3月1日(火) 11:15~12:00	上志津小学校	3年生35名

⑤事業を終えて

この事業は、佐倉市民カレッジ「まちづくり」の授業から誕生している2団体の派遣事業である。『さくらっ古』は平成17年6月から活動を行っており、昨年度からは曜日に関係なく派遣依頼を受け付けることになった。毎年多くの小学校からの派遣依頼があるが、他校からの紹介で今回初めて派遣依頼をされた学校もあり、今までの活動が着実な成果を見せている。ただし、さくらっ古と子都手留会とともに派遣回数が増えつつある中で、構成メンバーの人数に限りがありすべての小学校等の要望にこたえられないという課題がある。

市内小学校・教育センター・中央公民館が連携して子どもたちに「佐倉学」を総合的に学ぶ場を提供するのがこの事業の趣旨だが、アンケート結果等からも、実際に佐倉に伝わる民話や佐倉子どもかるたをとおして、郷土愛を育むことの一助となっていることが推察できる。また、「佐倉学」について子どもたちが民謡を聞いたりかるたを使って学ぶのによい機会を提供できていることもアンケート結果から推察することもできる。そのため、中央公民館としても継続していきたい事業のひとつであると考えている。公民館の活動をきっかけとして活動を始めてもらい、最終的に個々の公民館利用団体が主体的に活動するようになることで、社会教育の意義にかなうようになる。

調理室利用グループによる調理室点検

- ① 開設趣旨 調理室を定期利用しているグループに対し、お互いの交流の機会を作ると共に、調理室の効率的な活用と適正な運営を図る。
- ② 対象 調理室を定期利用しているグループ15団体
- ③ 開催期日 ①平成27年 6月29日(月) 午前10時~11時30分 14団体が参加
②平成27年12月24日(木) 午前10時~11時30分 15団体が参加
- ④ 内容 1) 調理室の清掃 2) 公民館備品の整理・点検
3) グループ備品の整理 4) グループ間の懇談 5) 公民館への要望

グループ懇談会

- ① 開設趣旨 中央公民館を利用しているグループに対し、公民館利用方法、公民館としての立場からグループ活動に期待する事を説明し、利用者との共通理解と連携を図る。
- ② 対象 中央公民館を利用しているグループ 270団体
- ③ 開催期日 平成27年4月24日(金) 午前10時~午前11時30分
- ④ 内容 1) 公民館使用方法についての説明、注意事項
2) 子どもの居場所作り(夏休み主催事業)についての協力依頼
3) 質疑応答

7. 広報・展示事業

広報事業

「公民館だよりじゅにあ」（平成27年度6月10日発行）

- ①ねらい 中央公民館での子ども向け事業などを紹介する。
- ②発行回数 年1回
- ③発行部数 1100部
- ④配布先 佐倉地区の小学校4校等で配布
- ⑤内容 夏休み中の子ども向け教育事業を掲載
- ⑥展望 佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

「中央公民館だより」（平成28年3月1日発行）

- ①ねらい 中央公民館主催事業や中央公民館の使用申込みについてなどを紹介する。
- ②発行回数 年1回
- ③発行部数 500部
- ④配布方法 各公民館、図書館、コミュニティセンター
- ⑤内容 佐倉市民カレッジ 平成28年度受講生募集
であい課程・専攻課程の概要、文化祭、スポーツフェスティバル
まちづくり実践報告会、サークル活動 他
公民館利用申し込みについて
中央公民館主催イベントのご案内 佐倉学講座「新町周辺歴史散策」
春休み親子映画会「マジックツリーハウス」
- ⑥展望 佐倉市の広報紙と連携をとりながら、幅広い紙面づくりに心がけたい。

『なかま』

- ①ねらい 市民の手による、市民の「心の交流の場」づくりをめざす。
- ②発行回数 年12回（毎月1回）
- ③発行部数 毎月1,500部（年間1,500部×12ヵ月＝18,000部）
- ④配布方法 市内公民館・図書館・保健福祉センター・佐倉一里塚・市内各駅等で配布。
また、編集委員による配布や市民ハイキング参加者への配布も行っている。
- ⑤編集方法 佐倉市民カレッジ生とその卒業生からなるボランティア編集委員15名が編集会議を毎月2回開催している。
編集会議では、原稿の内容上の個々の事項についての検討とその処置、校正・割付けなどの編集作業と、年間計画やこれからの方向性などについて話し合いを行う。
また平成17年度からは佐倉市民カレッジ情報コース卒業生がボランティアで版下作成を行っている。
- ⑥内容 A4版4ページの体裁で、1面は市長及び編集委員の原稿、2・3面は市内在住の市民の方から頂いた投稿文を掲載している。4面は中央公民館の主催事業や公民館からのお知らせ、コラム的なさくら道、編集委員によるあとがきを掲載している。
平成20年6月には編集会議が、(社)日本善行会から特別表彰善行賞を受賞した。
「なかま」は毎月発行されておりますが、平成27年12月には創刊から数えて470号となった。

8. 視聴覚教材ライブラリー事業

親子映画会

①開設趣旨 親子映画会として実施し、映画をとおして友達の輪を広げ、青少年の健全育成を図る

②対象 小学生・幼児と保護者 各500人

③学習内容 親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。

④学習プログラム

回	日時	上映作品	学習内容	会場
1	8月20日(木) 9:30~11:30	メアリーと秘密の王国	子ども向け名画鑑賞を実施した。	市民音楽ホール
2	1月6日(水) 10:00~11:45	ミニオンズ	子ども向け名画鑑賞を実施した。	市民音楽ホール
3	3月25日(金) 10:00~11:45	プーさんと虎 ジャングル大帝	子ども向け名画鑑賞を実施した。	中央公民館

⑤事業を終えて

市内の子ども達を対象に夏休み・冬休み・春休みを利用して映画鑑賞会を3回実施した。映画を通して、子ども達に友情の大切さや思いやりの心を育ててもらえたと思う。また、長い休みには、子どもの居場所が心配になる保護者にとってもこの事業は安心できる子どもの居場所になっている。

16ミリ映写機操作講習会

①開設趣旨 視聴覚16ミリ映写機器の操作を習得する機会を提供し、視聴覚教材の普及と利用促進を図る

②対象 社会教育団体・一般 20人

③学習内容 16ミリ映写機に関する基礎的な知識と操作技術を身につける。

④学習プログラム

回	日時	学習内容	講師
1	6月27日(土) 9:30~16:00	・視聴覚概論 ・映写技術の理論と実際	(有) 教育映像 齋藤 和雄

⑤講座を終えて

市内の社会教育団体・一般を対象に募集をしたが、市外の方も申し込みがあった。現在の視聴覚教材がアナログからデジタル化がされてきていることから、印旛管内においても佐倉市以外での講習が実施されていない様である。フィルム資産を末永く活用していくために今後も受講の促進を図りたい。なお、16ミリフィルムと映写機の貸与は、本講習の修了証を持つことが要件とされている。

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、12の地区より構成されている。昭和29年の市制発足以前は「和田村」と称し、明治22年から14の村落で構成されていた。面積は市全体の約14%に当たる約14.4平方キロ、人口は約1.1%に当たる1,953人、世帯数は793世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われている。

このように専門化された農業地域においても、年々農業従事者は減少し、後継者育成にも大きな問題をなげかけている。地区全域が市街化調整区域のためもあり、人口は減少傾向を示している。また、少子化、核家族化など都市化傾向もみられ、青年層の地域外流出、高齢者層の増加など、純農村として構成されていた社会は変化し続けている。また、地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、和田地区内にも企業の物流基地が進出しており、新たな変化も見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

和田地区のデータ

【平成28年3月末現在】

- 和田地区：面積 約14.4 km²（佐倉市：面積 103.69 km²）
- "：住基人口 1,953人（"：住基人口 176,976人）
- "：人口密度 135人/km²（"：人口密度 1,706人/km²）

1. 公民館運営計画

運営方針

第2次・佐倉市立公民館活動計画を基本として、地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割を果たすことに努める。

努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした学習内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を効果的・有機的に結びつけていく努力をする。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開すると共に、地区住民としての共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 施設・設備・備品の提供

開館 月～日曜日・祝日 午前9時～午後5時

(第2第4月曜日、12/28～1/4は休館)

火・金曜日は午後9時まで(祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後5時まで)

3. 団体育成に関する事業

はたおり保存会・和田小PTA民俗資料収集委員会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などの援助を行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう援助・協力をする。

4. 広報に関する事業

「公民館だより」を年5回発行

5. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料(佐倉市指定文化財)を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

6. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。

(蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
利用件数 (件)	446	436	464	490	540
利用人数 (人)	5,623	5,759	5,532	6,355	8,284
開館日数 (日)	324	322	333	333	335

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と保護者 21組	6/26 8人 7/17 8人 7/23 8人 9/5 6人 10/16 8人 11/20 8人 12/11 8人 12/18 8人 1/8 8人	楽しい親子遊びをとおして、幼児の自立のための親の役割、環境作りや遊びの意義などについて共に考える機会とする。
	楽しく家庭教育講座	地区内の幼児 及び小学生の 保護者 15人	7/1 15人 11/25 11人 1/21 8人	子どもがよりよく育つために、家庭の役割や、家族のあり方などを学習する。
青少年教育	和田剣道教室	地区の小学生 20人	5/9～3/12 39回 毎週土曜日 17人	異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 以上 50人	10/18 88人	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休みおもしろ 体験教室	地区の小学生 20人	8/3 17人	保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	6/7 13人 10/11 15人 2/7 17人	地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各15人	7/25 14人 8/6 8人 12/20 21人	創造力をはぐくむ講座。和田のはたおりや手工芸、凧作りなど、伝統文化の体験学習を実施
成人教育	佐倉・城下町 400年事業 「ミニぞうりづくり」	市内の成人 12人	1/31 11人	江戸時代の作り方そのまま現代風にアレンジした“ぞうりストラップ”を作る。

成人教育	佐倉学体験講座 ふるさと味工房	市内の成人 各 15 人	7/29 12 人 10/6 13 人 11/5 14 人 2/3 10 人 2/17 16 人	地域の伝統的食材を活かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図る。【太巻き寿司、大和芋、こんにゃく作り、和田の新鮮野菜料理】
	終戦平和祈念特別展 「忘れ得ぬ記憶 ～戦争と和田村」	一般成人	7/8～9/27 1,075 人	和田地区住民の手で編さんされた『忘れ得ぬ記憶』（平成 2 年刊行）を中心として、戦争体験、戦没者遺族の声などをパネルで紹介し、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和の尊さを学ぶための機会とした。
	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域塾	市内の成人 15 人	7/12 16 人 7/19 15 人 8/7 13 人 9/11 15 人 10/4 11 人 12/13 16 人 1/16 14 人	地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗等を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
	和田地区防災訓練	地区の成人 50 人	1/24 26 人	地域づくり活動の一環として、現場で役立つ防災や防犯について実践的な訓練を行う。
	長命大学手芸教室	60 歳以上の地区 の成人 10 人	4/24 6 人 5/22 4 人 6/19 4 人 7/31 8 人 9/18 6 人 10/23 6 人 11/27 8 人 12/22 6 人 1/22 6 人 2/26 8 人 3/25 5 人	高齢者が心身ともに健康で生きがいのある生活を過ごせるように、手芸を通し、高齢者の親睦と生きがい作りを進める。
	長命大学交流会	地区の成人 45 人程度	3/6 31 人	長命大学生と地区の成人が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、和田地区交流バス見学会を実施する。
	コミュニティ事業	” さくら学び塾 ～知的頭の体操「川柳」をはじめましょう～”	市内の成人 15 人程度	10/21 12 人 11/4 10 人 11/18 8 人 12/2 10 人 12/16 10 人

団 体 育 成	団体育成事業	和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会・和田地区青少年育成住民会議	文化展 11/14 13人 11/15 39人 ふるさとまつり 11/15 483人 合同研修会 12/12 23人	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう、協力援助する。
広 報 展 示 活 動	和田公民館だより	和田地区全世帯	5月号 780部 6月号 780部 9月号 780部 10月号 780部 12月号 650部 2月号 780部	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布する。
	歴史民俗資料室展示	一般	通年 1,537人	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示及び市内小学校の社会科見学の際に解説を行う。
図 書	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施する。

1. 家庭教育事業

子育て教室

- ① 開設趣旨 楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習する。
- ② 募集対象・募集人数 地区の2～3歳児とその保護者 21組
- ③ 学習目標 運動や遊びを通して、親子の関わり方、子育てを考え、学ぶ。
家庭や身の回りにある素材を使い、親子で工作することにより作る楽しさ、喜びを共に味わい、親子のコミュニケーションを深める。
同世代の子どもと一緒に遊び、情報交換、友達づくりをする交流の場を提供する。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月26日(金) 10:00～11:30	栄養士より子どもの食生活についてのお話。 食生活推進委員より、野菜を使った手作りおやつを紹介・試食。	・蓮 淳子 ・栄養士 高田 美佐代 ・食生活推進委員

2	7月17日(金) 10:00~11:30	保健師と個別相談。普段気になること・悩みなどの相談を受ける。	・蓮 淳子 ・保健師 豊福 啓子
3	7月23日(木) 10:00~11:00	「人形劇：おおきな かぶ」 オープン事業(一般の方も参加)	おななしキャラバン
4	9月5日(土) 10:00~11:30	ミニミニ運動会。かけっこ、玉入れ、パンくい競争、親子で体を動かす。	蓮 淳子
5	10月16日(金) 10:00~11:30	佐倉城址公園へ探検。自然と触れ合いながら歩く楽しさを発見する。	〃
6	11月20日(金) 10:00~11:30	粘土を使って、親子で手形を作る。	〃
7	12月11日(金) 10:00~11:30	クリスマス会の準備とどんぐり・松ぼっくりを使って、親子で手作りキャンドル作成。	〃
8	12月18日(金) 10:00~11:30	サンタとトナカイが登場する楽しいクリスマス会。その中で、親子で発表会また講師、講師補助がハンドベルの演奏会などを行う。	〃
9	1月8日(金) 10:00~11:30	地域の伝統行事である成木作りを行い、今年一年の豊作や家族の健康を願う。	〃

⑤ 講座を終えて

昨年に引き続き、教室を修了した親が講師補助として事業に参画し、地域の中で助け合っ家庭教育を学習する場をもつことが出来た。また専門分野の方の協力をいただき、子育ての悩み相談等ができる場の提供が出来た。参加者確保は大変だったが、少ない中でも子ども同士・親同士が積極的にコミュニケーションをとり、情報交換ができる環境を提供することが出来た。

楽しく家庭教育講座

- ① 開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。
- ② 募集対象・募集人数 地区内の幼児及び小学生の保護者 15人
- ③ 学習目標 過疎地域、少子化という状況で、子育てに役立つ学習の場、仲間づくりや情報交換などができる交流の場を提供する。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月1日(水) 9:30~11:30	怒鳴らない子育て練習講座(入門編)	伊藤 芳枝 (児童インストラクター)
2	11月25日(水) 9:30~13:00	うどん作りに挑戦	おやじの食事学 同好会
3	1月21日(木) 9:30~12:30	大和芋を使って、ケーキ作り	戸村 信夫 (学び塾元講師)

⑤ 講座を終えて

“怒鳴らない子育て練習講座”では、子どもが言うことを聞いてくれないので怒鳴ってしまう、そ

んなとき子どもに伝わる話し方、しかり方など普段気付かないこと、ほめることの大切さを意識していくことを学ぶことができた。

“うどん作りに挑戦”の講師は、他地区で活動しているおやじの食事学同好会の方々に、地域間交流を図るとともに手作りうどんを家庭で味わう、また手作りの良さ・楽しさを体験してもらうことができた。

“大和芋を使って、ケーキ作り”は、昨年度、新たな食の地域モデルづくりを実施したさくら学び塾の講師の方にお問い合わせをして、地元の特産品「大和芋」を使い、カステラとチーズケーキを作ったものである。従来のお菓子づくりと併せて、地域の食材を活かした新しい食品づくりなどの話もあり、充実した内容だった。

2. 青少年教育事業

和田剣道教室

- ① 開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
- ② 募集対象・募集人員 和田地区在住の小学生 20人
- ③ 学習目標 剣道を通して礼節を学び、たくましい心身を作る。
仲間の大切さを知ると同時に、お互いに切磋琢磨することの重要性を学ぶ。
- ④ 開設期間 平成27年5月9日～平成28年3月12日 39回
- ⑤ 指導者 片岡 康平、江野沢 清美、藤崎 英樹、鶴田 潤子
- ⑥ 講座を終えて

剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の訓練や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。また、7月18日～19日には佐倉草ぶえの丘にて一泊二日の剣道合宿を行い、厳しい稽古とともに楽しい思い出をつくることができた。

軽スポーツ大会

- ① 開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
- ② 募集対象、募集人数 地区の小学生 50人
- ③ 学習目標 軽スポーツを通して楽しく異世代間の交流をすることにより、和田地区の福祉の向上や青少年健全育成を図る。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	10月18日(日) 10:00～12:00	グラウンドゴルフ (和田小学校グラウンドで実施)	和田地区 スポーツ推進員

- ⑤ 講座を終えて

和田地区青少年育成住民会議、社会福祉協議会和田支部と共に実施し、地域の子供と地域住民が交流し、青少年の健全育成を地域で考える場になっている。

チーム分けでは、小学生と地区の大人と一緒にプレーすることができるようにし、異世代間交流を図った。

夏休みおもしろ体験教室

- ① 開設趣旨 保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
- ② 募集対象・募集人数 地区の小学生 20人
- ③ 学習目標 料理の楽しさと食べ物の大変さや食事を作ることの大変さを学ぶ。
子どもたちにスポーツや英語を身近に感じてもらい、更なる学びや発展のきっかけとする。

④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月3日 (月) 9:00～16:30	・ミニバスケットで、汗をながそう ・食事づくり ・英語であそぼう	佐倉ハーレクインズ 六崎 美知代 高梨 直子 佐倉高等学校ESS部員

⑤ 講座を終えて

日頃なかなか体験できない学習を実施するため、ミニバスケットや英語学習を取り入れた。

ミニバスケットは地元のスポーツ団体、英語については佐倉高等学校ESS部員（英会話部員）に協力を仰ぎ、楽しみながらも本格的な体験をさせる事で、スポーツの楽しさや英語を身近に感じさせる事が出来た。

また、それら学習の間の食事作りでは、地域住民の方に協力をいただき、子どもたちへ、料理の手順や片づけ方などを指導することで、日常生活の中における保護者の大変さや感謝の気持ちを再認識させることが出来た。

佐倉っ子塾 料理教室

- ① 開設趣旨 地域の食材を生かした料理教室を実施し、子どもの自立と育成を図る。和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施した。
- ② 募集対象・募集人数 地区の小学生 20人
- ③ 学習目標 地域住民や地域組織と協働し、共に料理を作ることによって子どもたちを地域で見守り育む場とする。

④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月7日 (日) 9:30～12:30	(1) お手軽ちらしずし (2) 手作りソーセージ (3) バナナケーキ	六崎 美知代 高梨 直子

2	10月11日(日) 9:30~12:30	(1) ほうれん草ときのこのクリームパスタ (2) 茶まんじゅう (3) りんごかんフルーツぞえ	六崎 美知代 高梨 直子
3	2月7日(日) 9:30~12:30	(1) だまっこ汁 (2) マーブルマドレーヌ (3) 豆チョコ (4) デコレーションプリン	六崎 美知代 高梨 直子

⑤ 講座を終えて

子ども料理教室は、子どもたちが男女に関係なく生きるために『食生活』において自立することを目的としている。子どもたちは料理に興味をもち、作る楽しさ・出来たときの喜びを感じていたようであり、低学年から高学年まで、多くの児童が参加する人気事業となっている。

佐倉っ子塾 伝統文化体験教室

- ① 開設趣旨 和田のはたおりや手工芸、凧作りなど伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。
- ② 募集対象・募集人数 ・はたおり親子体験 市内小学生親子 午前午後各6組
 ・夏休み編み物体験 地区の小学生 15人
 ・凧づくり体験 地区の小学生 30人
- ③ 学習目標 育成団体、地域住民・組織との連携により、伝統文化を体験し創造力向上を図る。
- ④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月25日(土) 10:00~12:00 13:00~15:00	はたおり親子体験	和田はたおり保存会
2	8月6日(木) 10:00~14:00	夏休み編み物体験教室	手芸教室講師 手芸教室生徒
3	12月20日(日) 9:00~14:00	凧づくり教室	和田地区青少年育成 住民会議 和田地区青少年相談員 和田子ども会

⑤ 講座を終えて

はたおり体験は、和田はたおり保存会の協力を得て、親子で伝統文化を体験する場を提供することができた。

夏休み編み物体験は、長命大学で公民館を利用している高齢者が小学生を指導することにより、世代間交流ができたとともに、子どもたちが、一つの作品を作り出す喜びを味わうことができた。

凧づくりは、和田地区青少年育成住民会議、和田子ども会、和田青少年相談員の共催で実施し、親子で伝統的な彦一凧作りを行った。市販の凧と違い、なかなか思うように作ることができず、とまどう姿もみられたが、地区の大人と一緒に作り上げていくものであるため、単なる伝統文化の体験ばかりでなく、交流を深める良い機会となった。

3. 成人教育事業

佐倉・城下町 400 年記念事業 ミニぞうりづくり

- ① 開催趣旨 江戸時代の作り方そのまま現代風アレンジした“ミニぞうりのストラップ”を作る。
- ② 募集対象・募集人数 市内成人 12人
- ③ 学習目標 江戸時代の作り方ぞうりの作り方を知ってもらい、伝統技術を学ぶ。
- ④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	1月31日 (日) 13:00~15:30	ミニぞうりストラップの作成	家庭教育講座受講生

⑤ 講座を終えて

今年度も家庭教育講座受講生が講師となり実施した。参加者全員が上手に作成することが出来、是非次回は、本物のわらで実物大のぞうりを作ってみたいという声が多く上がっていた。

佐倉学体験講座・ふるさとの味工房

- ① 開設趣旨 地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図るとともに、食文化の伝承を図る。
- ② 募集対象・募集人数 市内の成人 12人
- ③ 学習目標 和田地区の特長を活かし、地元の食材を用いて食文化の伝承を図る。
- ④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月29日 (水) 9:30~13:00	和田の新鮮野菜料理講座	食生活改善推進委員 和田支部
2	10月6日 (火) 9:30~13:00	太巻き祭り寿司講座①	伊藤 芙美子 (伝統料理研究家)
3	11月5日 (木) 9:00~13:00	こんにゃく作り体験	牛玖 昌弘
4	2月3日 (水) 9:30~12:30	やまといも料理講座～スイーツ編～	岡野 利子
5	2月17日 (水) 9:30~13:00	太巻き祭り寿司講座②	伊藤 芙美子 (伝統料理研究家)

⑤ 講座を終えて

ふるさとの味工房については、和田地区の農業の特長を活かし、地元食材を使用して食文化の伝承を図るとともに、地域の食文化について考える場となった。

終戦70年平和祈念特別展「忘れ得ぬ記憶～戦争と和田村～」

- ① 開設趣旨 和田地区住民の手で編さんされた『忘れ得ぬ記憶』(平成2年刊行)を中心として、戦争体験、戦没者遺族の声などをパネルで紹介し、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和の尊さを学ぶための機会とした。
- ② 募集対象・募集人数 資料収集については和田地区住民、対象は一般。
- ③ 学習目標 戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和の尊さを学ぶための機会とする。

④ 展示期間 平成27年7月8日～平成27年9月27日

⑤ 特別展を終えて

『忘れ得ぬ記憶』を中心として、旧和田村地区の住民から情報や資料の提供などの協力を得て実施した展示であり、『忘れ得ぬ記憶』のタイトルから従軍の記憶、学校の記憶、空襲の記憶、生活の記憶、抑留の記憶、戦没者の記憶と6つのテーマに沿って展示を行った。和田小学校とも連携し、オープニングセレモニーの他、平和教育の学習支援として職員が特別展について解説を行った。観覧者からは、「教科書や授業で教わった内容をより身近なものとして感じる事が出来た」、「戦争の恐ろしさを改めて感じました」、「地元でこれだけの貴重な資料がまとめられているとは知らなかった。語り継いでくださった皆さんに敬意を表します」などの感想があがり、戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶ良い機会となった。

佐倉学入門講座・楽しく学べる和田地域塾

① 開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。

② 募集対象・募集人数 市内の成人 15人

③ 学習目標 和田地区の歴史、民俗、自然などを学び、和田地区に対する知識を深め、郷土愛の育成を図る佐倉学を普及推進する。

④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月12日 (日) 13:00～15:00	オリエンテーション 下勝田の獅子頭奉納見学	下勝田獅子舞保存会
2	7月19日 (日) 19:30～21:00	和田の蛍鑑賞会	大川 一光
3	8月7日 (金) 9:30～12:00	上勝田の盆綱作成見学	上勝田盆綱保存会
4	9月11日 (金) 9:30～12:00	はたおり体験	和田はたおり保存会
5	10月4日 (日) 9:30～12:00	和田地区を歩こう	公民館職員
6	12月13日 (日) 9:30～12:00	和田の新米とヤマトイモ料理	公民館臨時職員
7	1月16日 (土) 9:30～12:00	わら細工 (鍋敷き) を作る	藤井 毅

⑤ 講座を終えて

佐倉学入門講座として本事業を開設したが、本年度は特に和田で受け継がれている伝統行事（上勝田の盆綱）の見学や、和田の自然を体感するプログラムを作成した。市内の各地域から参加があり、好評を得て、住民との交流と伝統文化を知るための貴重な機会になった。

和田地区防災訓練

- ① 開設趣旨 地域づくり活動として、現場で役立つ防災や防犯についての実践的な訓練を行う。
- ② 募集対象・募集人数 地区の成人 50人
- ③ 学習目標 災害発生時に、落ち着いた行動と助け合いの精神を醸成する。
- ④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	1月24日 (日) 9:00~11:30	避難所運営ゲーム(HUG)	佐倉市防災防犯課職員

- ⑤ 講座を終えて

和田地区防災訓練では、和田地区社会福祉協議会と共催し、佐倉市防災防犯課（現在は危機管理室に組織変更）職員による東日本大震災の時に起きた出来事の講義をうけた後、避難所が開設された最初の段階で殺到する人々や出来事にどのように対処するかを考える図上訓練、避難所運営ゲーム（HUG）を実施した。参加者がいくつかのグループに分かれて訓練を実施したところ、活発な意見交換が行われ、終了後の感想においても有意義な訓練だったとの意見があり、地区に避難所ができたときにどのように行動するかという防災意識を高めることができた。

長命大学手芸教室

- ① 開設趣旨 手芸を通して親睦交流を深め、生きがいを図る。また受講生が再利用を通じて物を大切にすることを子どもたちに指導する。
- ② 募集対象・募集人数 60歳以上の成人 10人
- ③ 学習目標 心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるよう手芸を通し、高齢者の親睦と生きがいを進める。
- ④ 実施期間 平成27年4月17日～平成28年3月25日 11回
- ⑤ 講座を終えて

長年にわたる活動により、手芸技術はかなり高度なものになってきているが、新しい編み方の教授・指導を受ける中で、受講生の学びに対する意欲が高まっている様子が伺えた。

また、夏休みには、編み物体験教室を開催し、受講生が講師となり、子どもたちとの交流を持つ中で、教えることの喜び・生きがいを感じる場を提供することができた。

長命大学交流会

- ① 開設趣旨 長命大学生と地区の成人が集い、心身ともに健康で生きがいのある生活を過ごし、また世代間の交流を図るため和田地区交流バス見学会を実施する。
- ② 募集対象・募集人数 地区の成人（子・孫の参加可） 45人程度
- ③ 学習目標 平成27年度は終戦70年の年であり、和田地区では地域の協力を得て平和記念特別展を実施することができた。新しい年を迎え、命の尊さや平和の大切さを考えるさらなる機会として、予科練の町阿見にある平和祈念館を見学する。
- ④ 実施日 平成28年3月6日 1回
- ⑤ 講座を終えて 予科練は、熟練した航空機搭乗員を若いうちからの基礎訓練により育成することを目的とし、14歳半から17歳の少年が試験で選抜されており、合格した予科練生の日常から、阿見の

空襲、特攻などについて実物資料や模型、映像資料により学ぶことができ、命の尊さや平和の大切さを再認識できた。世代間交流を図るといふねらいについては、小学生2人の参加があったものの、2人を除く最低年齢は45歳であり、若い世代に参加を促すアピールが必要である。

4. コミュニティ事業

さくら学び塾 「知的頭の体操十七音字のドラマ『川柳』を楽しもう」

- ① 開設趣旨 本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾」として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。本年度は、日本の伝統文化である川柳の表現方法を習得することで、身近な事などをありのまま、思いのままに句として詠めるようになり、より楽しい人生の構築に寄与する事を目的とする。
- ② 募集対象・募集人数 市内の成人 15人
- ③ 学習目標 日本の伝統文化である川柳の作り方について、講義と実作、添削指導により基本的なルールを学びあい、作品を発表する。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	10月21日(水) 9:30~11:30	川柳とは何か	及川 光
2	11月4日(水) 9:30~11:30	川柳の作り方	〃
3	11月18日(水) 9:30~11:30	川柳の決まりごと	〃
4	12月2日(水) 9:30~11:30	上達のコツ	〃
5	12月16日(水) 9:30~11:30	川柳の楽しみ方	〃

⑤ 講座を終えて

コミュニティカレッジ事業さくら学び塾として、講師を市民から公募し、市民講師の企画により実施した。

川柳のルールや心得、表現方法、お互いに評価しあう選句の基準などを体系的に学ぶことができ、各回終了時に次回までに課題に沿って川柳を作成してくる実作においても、参加者は悩みながらも楽しく学ぶことができた。

今後もコミュニティ事業として地域活動の担い手づくりを引き続き実施していく。

5. 団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。

こうした問題の解決のため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

② 和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会に加え、新規事業として和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはた織機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。

公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行った。平成27年度においては、学習支援として佐倉東高校服飾科に作成した反物を提供したところ、文化祭で実施される学生によるファッションショーにおいて、提供した反物を使った作品を発表・展示していただいた。

6. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
- 発行回数 年6回（5月号、6月号、9月号、10月号、12月号、2月号）
- 発行部数 各780部（臨時号として12月号は和田地区住民対象事業のみ650部）
- 配布方法 区長を通し全戸配布及び公共施設配布

歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。市内小学校社会科見学において、はたおり保存会によるはたおりの実演、家庭教育学級参加者による展示物の解説を行った。
- 期間・回数 開館日数 335日 来館者数 2,612名
うち終戦70年平和祈念特別展来館者1,075名
うち小学校社会科見学等団体来館数
平成27年5月27日～11月11日 13団体 1,022名

7. 図書事業

図書貸し出し

- ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

- 蔵書数 1,800冊

月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	0	0	0	3	0	0	2	3	6	2	6	17	39
返却数	62	3	34	8	74	8	1,282	2	35	7	14	296	1,825

弥富公民館

弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその2本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群です。佐倉市の南部に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して706世帯、1,655人が住み、約13.3km²の面積を持つ穏やかな田園地帯です。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少を続けています。また、弥富地区全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加は望めない現状にあります。その意味では、過疎化に伴う日本の農村の問題が顕著に見られる地域である、とも言うことができます。

このような中で、企業の研究所の設置や美術館の開館など新しい息吹を感じさせるようになってきました。さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばりサーチパークという研究施設等の大規模開発が行われ、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつあります。

弥富地区のデータ

【平成28年3月末現在】

- 弥富地区：面積 約13.3km²（佐倉市：面積 103.69km²）
- "：住基人口 1,615人（"：住基人口 176,976人）
- "：人口密度 121人/km²（"：人口密度 1,706人/km²）

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。

努力目標

- 地域の実情に即した学級・講座の充実を図る。
- 地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。
- 小学校・幼稚園の保護者との連携を密に保つ。
- 地域で活動している諸団体と協力体制を強化し、相互の活動が活発化するよう図る。
- 公民館施設が有効利用されるよう努める。

事業内容

1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にしたい。

2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

3. 施設の提供

○開館時間 ①月・日曜日、祝日 午前9時～午後5時

②火～土曜日 午前9時～午後9時

※夜間の使用申込みがない場合は午後5時で閉館

○休館日 第2・第4月曜日及び年末年始（12月28日～1月4日）

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
利用件数 (件)	1,108	1,231	1,319	1,306	1,366
利用人数 (人)	13,842	12,682	12,365	11,513	12,746
開館日数 (日)	293	291	292	293	335

事業報告

領域	事業名	対象・人数	期間・回数	内容
家庭教育	親子遊びのつどい	2・3 歳児と保護者 10組	6月～2月 12回 5組参加	子育てにおける家庭の働き、あり方や子どもの発達に必要な事柄を親子遊びを通して学習する。また、幼児が点在が少ない弥富地区において子どもと保護者双方の交流の場とする。
	家族で遊ぼう	小学校入学前の子どもと家族 20人	11月 1回 11/3:28人参加	家族での野外活動体験を通じて、親子、自然との触れ合いの大切さを学習する。
青少年教育	弥富剣道教室	小・中学生 20人	5月～2月 38回 14人参加	剣道の稽古を通じて児童生徒の心身の鍛錬及び千葉県指定無形文化財「立身流」の学習をする。
	星空観察会	弥富小学校児童と保護者	5, 8, 10月 3回 (5/28 24人 8/23 30人 10/22 24人参加)	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで科学への興味を育む。また、季節ごとの星座の移り変わりや天体の動きについて学習する。
	佐倉っ子塾 「なんでも体験弥富塾」	弥富小学校児童	5～2月 11回 (5/16 22人 6/13 26人 6/28 34人 7/28 41人 9/26 27人 10/24 16人 11/21 24人 12/12 24人 1/ 9 20人 1/30 22人 2/13 44人参加)	児童の環境意識・創造力と郷土愛を育むことを目的に、自然体験・工作・料理等を地域の人材を活用して体験型講座を実施する。
成人教育	ふるさと弥富散策会	市内の成人 20人	1, 3月 2回 (1/14 7人 3/30 16人参加)	自然豊かな弥富地区を散策し、地区に対する理解を深めると共に環境意識の向上を図る。また弥富地区の住民にとっても地区再発見の場とする。
	グラウンドゴルフ	弥富地区の住民	6月 1回 6/28 34人参加	児童から高齢者まで幅広くの層と一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して健康増進と異世代間の交流を図る。
	竹炭づくり体験	市内の成人 10組	11月 1回 11/29 6人参加	弥富地区の自然を活かした竹炭づくりの技法を体験することにより地域への理解を深める。
	健康づくり講座 「楽しく養生体操」	弥富地区の成人 20人	6月～7月 6回 11人参加	日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図る。

	佐倉学入門講座 「弥富で楽しむ野鳥の話」	市内の成人 20人	10月 1回 10/31 13人 参加	身近に見られる野鳥について学び、弥富の良さを再発見するとともに自然保護への意識を高める。
	佐倉学体験講座 「くらしの講座」 ・バス研修 ・アイシングクッキーづくり ・太巻き祭り寿司 ・そば打ち体験 ・布ぞうり作り	弥富地区の成人 10～50人	6月～3月 8回 (6/23 37人 6/30: 8人 10/28: 7人 12/ 4 12人 1/28 9人 2/19 12人 2/24 8人 3/24 36人 参加)	弥富地区で継承されてきた生活文化等を次世代に伝えると共に世代間を越えた交流を図り地域に対する郷土愛を育む。
	佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学専門講座 「塩古ざるづくり」	市内の成人 10人	9月～11月 7回 19人 参加	弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学ぶ。
コミュニティ事業	さくら学び塾 自然治癒予防整体 「和みのヨーガ」	市内の成人 18人	10月～11月 5回 18人 参加	日本人が昔から持っていた知恵を活かした「和みの手当て法」を学び、地域住民の健康増進を図る。（コミュニティ事業として、市民講師の企画に基づき開設）
団体育成	地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会	弥富地区の住民	随時	ふるさと弥富を愛する会の主催事業への協力等を通じて活動を支援する。
	弥富地区青少年健全育成 住民会議	弥富地区の住民	11月 1回 11/23 29人 参加	青少年健全育成住民会議主催の地区グラウンドゴルフ大会の開催等の協力を通じて活動を支援する。
	弥富民俗資料展示室	市民	通年	民俗資料収集委員会の提供した資料の活用を図ると共に施設の見学に対して説明、案内の効果的な実施に協力する。
広報活動	弥富公民館だより	弥富地区全世帯	年 3回 約 600部 (5, 10, 1月)	公民館事業の案内、募集、弥富地区及び佐倉市全体または、市内他地区の情報提供等を行う。

1. 家庭教育事業

親子遊びのつどい

①開設趣旨 子育てにおける家庭の働き、あり方や子どもの発達に必要な事柄を親子遊びを通して学習する。また、幼児が点在し少ない弥富地区において、子どもと保護者双方の交流の場とする。

②募集対象・募集人数 市内在住の2・3歳児とその保護者 10組

- ③学習目標
1. 幼児を個性を持つ独立した人間として捉える。
 2. 講座の遊びを個人でも展開できる。
 3. 講師と保護者、保護者と保護者の結びつきを強める。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月2日(火) 10:00~11:30	歌って踊ってみんなでふれあいます。	蓮 淳子
2	6月16日(火) 10:00~11:30	なわを使った色々な遊び方を体験します。	〃
3	7月21日(火) 10:00~11:30	袋を工夫して親子遊びから集団遊びへと発展します。	〃
4	8月18日(火) 10:00~11:30	お兄さんお姉さんといっしょに水遊びをします。	〃
5	9月8日(火) 10:00~11:30	フィンガーペイントで大きく描きます。	〃
6	9月29日(火) 10:00~11:30	色々な動きでボール遊びの楽しさを体験します。	〃
7	10月20日(火) 10:00~11:30	みんなのアイディアで楽しく体を動かします。	〃
8	11月10日(火) 10:00~11:30	親子で思い出に残る作品をつくりま	〃
9	12月8日(火) 10:00~11:30	クリスマスの飾りを作り、お楽しみ会の準備をします。	〃
10	12月22日(火) 10:00~11:30	みんなで協力して楽しい会にします。 【一品持ち寄りパーティー】	〃
11	1月19日(火) 10:00~11:30	言葉のかけ合いを楽しんだり、伝承玩具にも挑戦します。	〃
12	2月9日(火) 10:00~11:30	親子発表で思い出を作ります。	〃

⑤講座を終えて

この年齢期における親子のふれあいは、子どもの発達に非常に大切であり、様々なプログラムを通して親子で共に活動することの意義は大きい。本講座に参加することで新たな保護者同士の交流も図られ、子育てに関する情報共有の場となった。

家族で遊ぼう

①開設趣旨 子どもたちが、友達との遊びやものづくりを通して、遊ぶことの楽しさ、大切さを学ぶとともに、保護者も一緒に参加することで子育てについて考え、学習することのできる場とする。

また、休日に実施することによって父親の子育て参加を促し、家族で触れ合える機会を提供する。

②募集対象・募集人数 市内在住の小学校入学前の幼児と家族 20人

③学習目標 家族で同じ時間を共有することの大切さを学ぶ。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	11月3日(火) 10:00~11:30	佐倉城址公園の散策と集団遊び	蓮 淳子

⑤講座を終えて

「親子遊びのつどい」を発展させ、開催日を祝日に設定することにより、母親だけでなく父親の参加も促し、家族そろって共通の体験を通して絆を深める機会を提供した。佐倉城址公園で木の実や草花調べをしたり、芝生広場で集団遊びをしたりして楽しく遊んでいた。

2. 青少年教育事業

弥富剣道教室

①開設趣旨 弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「立身流」の次代継承と剣道の稽古を通して、児童・生徒の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに郷土愛を育む。

②募集対象・募集人数 市内在住の小中学生 20人

③期間・回数 平成27年5月～平成28年2月 38回 午前9時30分～11時30分

④学習目標

1. 剣道の技術向上と心の修養を図る。
2. 学年間の交流を進め、人を大切にする心を育てる。
3. 郷土意識を醸成し、地域の文化を大切にする意識を高める。

⑤指導者 櫻村 典久、田中 眞次、山本 幹夫、加賀谷 順

⑥講座を終えて

剣道と共に千葉県指定無形文化財「立身流」の技と精神を学び、佐倉市で開催された立身流抜初演武大会に参加するなど、日頃の修練の成果を披露することができた。剣道では年間を通して稽古に励み、和田剣道教室と合同稽古を行うなど、子どもたちの心と体を鍛えることができた。

星空観察会

①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然の中、星空を観察することで自然科学への興味を育む。また、季節ごとの星座の移り変わりや天体の動きについて学習する。

②募集対象 弥富小学校の児童と保護者

③プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
---	--------	---------	-----

1	5月28日(木) 18:00~21:00	天体望遠鏡を使って春の星座や月面などを観察する。	公民館職員
2	8月23日(日) 20:00~21:00	天体望遠鏡を使って月や惑星・星団などを観察する。	公民館職員
3	10月22日(木) 18:00~21:00	天体望遠鏡を使って秋の星座や月面などを観察する。	公民館職員

④講座を終えて

観察会の前に当日のプラネタリウムを上映し、星の動きを学習してから観察を行った。天体望遠鏡による星空観察を通じて、子どもたちの自然科学に対する興味を高めることができた。

なんでも体験弥富塾(佐倉っ子塾)

①開設趣旨 自然体験や工作、料理など様々な体験活動を通じて子どもたちの創造性や協調性、豊かな心を育む。

②募集対象・募集人数 弥富小学校の児童 40人

③プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	5月16日(土) 9:30~11:30	身近にある素材を使っておもちゃづくり①	大山 登美枝
2	6月13日(土) 9:30~12:00	昔ながらの川遊び (ザリガニ釣り)	公民館職員
3	6月28日(日) 13:30~16:00	グラウンドゴルフ	公民館職員
4	7月28日(火) 8:30~16:30	バス見学Ⅰ(明治みるく館 他)	食生活改善推進員
5	9月26日(土) 9:00~11:30	チャレンジクッキング	弥富地区シニアクラブ
6	10月24日(土) 9:30~11:30	身近にある素材を使っておもちゃづくり②	大山 登美枝
7	11月21日(土) 9:30~11:30	鑑賞会「影絵の魅力を知ろう」	影絵サークル 影絵塾9
8	12月12日(土) 9:30~11:30	オリジナル連凧をつくろう!	青少年相談員
9	1月9日(土) 9:30~11:30	お餅をついて成木づくり	公民館職員
10	1月30日(土) 9:30~11:30	竹馬に挑戦しよう!	飯塚 進
11	2月13日(土) 8:30~16:30	バス見学Ⅱ(日本科学未来館 他)	公民館職員

④講座を終えて

様々なプログラムを通じて、子どもたちの豊かな心を育む機会を提供することができた。弥富小児童の約6割の参加が得られており、6年間参加してくれる児童も多いので、更なる事業の充実に向けていく必要がある。

3. 成人教育事業

ふるさと弥富散策会

- ①開設趣旨 自然散策やどんど焼き体験を通して、地区に対する理解と愛着を深める。
- ②募集対象・募集人数 市内の成人 20人
- ③プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	1月14日(木) 17:00~19:30	どんど焼き体験(岩富地区)	どんど焼き保存会
2	3月30日(水) 9:30~12:00	鹿島川上流域の散策(岩富地区)	阪上 津留美

④講座を終えて

弥富地区では5地区でどんど焼きが行われており、今年は、岩富区のご協力を得てどんど焼き体験を実施した。また、自然散策では、カタクリの群生地を訪れるなど、豊かな自然が残る弥富地区への理解を深める機会を提供することができた。

グラウンドゴルフ大会

- ①開設趣旨 児童から高齢者まで幅広い世代と一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、異世代間の交流と地区住民の健康増進を図る。
- ②募集対象・募集人数 弥富地区の住民 80人
- ③期間・回数 平成27年6月28日(日) 1回 午後1時30分~4時
- ④学習内容 グラウンドゴルフ
- ⑤講座を終えて

多くの高齢者に参加してもらうため地域の高齢者団体との共催とした。楽しくグラウンドゴルフをしながら、地域住民の健康増進と異世代間の交流が図られた。

竹炭づくり体験

- ①開設趣旨 昔より伝わる竹炭づくりの技法を体験することにより、弥富地区の自然と伝統について理解を深めてもらう。
- ②期間・回数 平成27年11月29日(日) 1回 午前9時30分~午後2時
- ③募集対象・募集人数 市内の成人 10組
- ④学習内容 竹炭づくりの体験
- ⑤講師 中村 恵夫
- ⑥講座を終えて

竹炭づくり体験は弥富地区ならではの講座であり、他地区の方に弥富地区の良さを伝える事ができた。

健康づくり講座「楽しく養生体操」

- ①開設趣旨 日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図る。
- ②期間・回数 平成27年6月5日、12日、19日、26日、7月3日、10日(金曜日)

6回 午前10時～11時30分

- ③募集対象・募集人数 弥富地区の成人 20人
- ④学習内容 屋内で簡単にできるストレッチや体操の学習
- ⑤講師 麻生 宣子
- ⑥講座を終えて

弥富地区は市内で高齢化率が一番高いこともあり、高齢者を対象とした健康づくりは地域課題のひとつである。今年度は、元体育高校教師の講師のもとでストレッチ運動を行うことで、楽しみながら健康増進を図ることができた。

佐倉学入門講座「弥富で楽しむ野鳥の話」

- ①開設趣旨 身近に見られる野鳥について学び、弥富地区の良さを再発見するとともに自然保護への意識を高める。
- ②期間・回数 平成27年10月31日(土) 1回 午前10時～11時
- ③募集対象・募集人数 市内の成人 20人
- ④学習内容 身近な野鳥についての講義
- ⑤講師 阪上 津留美
- ⑥講座を終えて

身近な野鳥の話をもとに多くの写真資料とともに座学にて行った。その他に観察入門として野鳥の見分け方、野鳥の生態、観察時のフィールドマナー等の講義を受け、千葉県鳥類、佐倉市内の鳥類、弥富地区で見られる鳥類を体系的に学ぶことができた。

佐倉学体験講座「くらしの講座」

バス研修

- ①開設趣旨 地区外のさまざまな文化に触れることにより、自分たちの生活を見直し、豊かにするためのきっかけづくりとする。
- ②募集対象・募集人数 弥富地区の成人 50人
- ③期間・回数 平成27年6月23日(火)、平成28年3月24日(木)
2回 午前8時30分～午後5時
- ④学習内容 6/23 石岡市 茨城県フラワーパーク 他
3/24 武蔵野市 江戸東京たてもの園 他

アイシングクッキーづくり

- ①開設趣旨 調理実習を通して世代間の交流を図るとともに、弥富地区在住の方を講師とすることで、地域の人材育成を図る。
- ②募集対象・募集人数 弥富地区の成人 10人
- ③期間・回数 平成27年6月30日(火)、10月28日(水) 2回 午前9時30分～午後1時
- ④学習内容 調理実習
- ⑤講師 石渡 暁子

そば打ち体験

- ①開設趣旨 手打ちそば作りを体験しながら参加者の交流を図る。

- ②募集対象・募集人数 弥富地区の成人 12人
- ③期間・回数 平成27年12月4日(金) 1回 午前9時30分～午後2時
- ④学習内容 手打ちそば作りの体験
- ⑤講師 根郷そば道場

太巻き祭り寿司講座

- ①開設趣旨 千葉県郷土料理である太巻き寿司の技法を学び、地域で指導できる人材を育成するとともに参加者同士の交流を深める。
- ②募集対象・募集人数 弥富地区の成人 12人
- ③期間・回数 平成28年1月28日(木)、2月19日(金) 2回 午前9時～午後2時
- ④学習内容 太巻き祭り寿司の技法や指導方法の習得
- ⑤講師 三須 幸子、伊藤 芙美子

布ぞうりづくり講座

- ①開設趣旨 昔から伝わるぞうりづくり技法を次代に伝えると共に、世代間の交流を図る。
- ②募集対象・募集人数 弥富地区の成人 10人
- ③期間・回数 平成28年2月24日(水) 1回 午前9時～午後3時
- ④学習内容 布ぞうりづくり
- ⑤講師 三須 幸子、大西 ヤス

○講座を終えて

今年度は、アイシングクッキーづくりを新たな講座として実施し、幅広い年齢層の参加者を得ることができた。千葉県の郷土料理である太巻き祭り寿司やそば打ち、ぞうりづくりなどの技法を学び郷土への理解を深めることができた。また、講師を地域の方にお問い合わせするなど地域人材の活用を図った。

佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学専門講座「塩古ざるづくり」

- ①開設趣旨 弥富周辺地域(塩古郷)に昔から伝わるざるづくりの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学ぶ。
- ②期間・回数 平成27年9月16日(水)、17日(木)、18日(金)、11月25日(水) 26日(木)、27日(金)、28日(土) 7回 午前9時～午後4時
- ③募集対象・募集人数 市内の成人 10人
- ④学習内容 塩古ざるづくり
- ⑤講師 大西 ヤス
- ⑥講座を終えて

塩古ざるづくりの伝承をしていくためには、継続して学ぶ必要があるため、昨年度参加者に対し積極的に声掛けを行い、参加を促した。

4. コミュニティ事業

さくら学び塾 自然治癒予防整体「和みのヨーガ」

- ①開設趣旨 本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共

に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾」として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。

②期間・回数 平成27年10月30日（金）、11月6日（金）、13日（金）、20日（金）
27日（金） 5回 午後2時～3時30分

③募集対象・募集人数 市内の成人 18人

④学習内容 日本人が昔から持っていた知恵を活かした「和みの手当て法」を学ぶ

⑤講師 川瀬くるみ

⑥講座を終えて

コミュニティカレッジ事業さくら学び塾として、講師を市民公募し、市民講師の企画により実施した。今後もコミュニティ事業として地域活動の担い手づくりを引き続き実施していく。

5. 団体育成事業

地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会

地域まちづくり協議会は、各小学校区を基準として、区域内で活動する自治会・町内会を基盤に、地域で活動する団体・組織が、それぞれの目的や活動を尊重し合い、緩やかに連携・協力することで、地域が対応できる課題等について、協働して、その解決を図っていくことを目的とした組織である。

ふるさと弥富を愛する会は、平成20年9月12日に佐倉市市民協働の推進に関する条例第10条の規定に基づく市の認証を受け、弥富小学校区を活動区域として、主に次の活動を行っている。

1. 地域住民からの地域の将来像・本会が果たすべき役割などの意見交換により団体相互の連絡、交流、調整を行い課題発見する。
2. 地域住民からの積極的な意見公募により課題発見をし事業検討する。
3. 地域課題の対応を図るため環境保全事業として「ホテルの里づくり」を実施する。
4. 文化財等保護事業として岩富城址進入路の調査及び整備事業を実施する。
5. 伝統文化継承事業として「どんど焼き」を継続実施する。

弥富公民館では、各種事業に関する協力、支援を行っている。

弥富地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題の解決のため、市民一人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協同して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などの構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成、非行防止及び福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみの活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営などを行っている。

弥富公民館では、地区グラウンドゴルフ大会などの事業実施に協力している。

弥富民俗資料展示室

展示室の見学に対し、文化課と連携をとって説明・案内の実施に協力している。

6. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館事業・グループ活動・地域の話題などを紹介し、公民館活動への理解を深め、積極的な参加を図るとともに、地域の情報源となるような情報誌を目指す。
- 発行回数 年3回（5・10・1月号）
- 発行部数 600部／回
- 配布方法 弥富地区の各区長を通じて全戸配布

根鄉公民館

根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置しています。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味していますが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されており、旧石器時代、縄文、弥生期の土器出土、住居跡、古墳及び中世の城館跡などが点在し、古来より住みよい所であったと思われまます。

中世は、上総一族の勢力下にあった印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、承平年間に千葉氏が支配するようになってから集落が点在しはじめ、現在のような村落が構成されたのは藩政時代に入ってからとなります。

明治22年4月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の9地区により根郷村が発足しました。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農村地帯でしたが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、さらにはJR佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっています。

地区内には、JR佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、さらに成田空港に近接する地の利を生かし、第1・第2・第3工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっています。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）、千葉敬愛短期大学があり、文教地区としての側面もあります。

根郷地区の面積は、市域全体の17%に当たる約17.5km²、人口は14.2%に当たる25,231人ですが、今後は、独立行政法人都市再生機構施行による土地区画整理事業「寺崎北」地区（施行面積46.3ha、計画人口5,000人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、JR佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展しています。

根郷地区のデータ

【平成28年3月末現在】

- 根郷地区：面積 約17.5km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- " : 住基人口 25,231人 （ " : 住基人口 176,976人）
- " : 人口密度 1,445人/km² （ " : 人口密度 1,706人/km²）

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努めます。

努力目標

- より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努めます。
- 幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開します。
- 地域の社会資源を地域に還元し、活用するための橋渡し役となるように努めます。
- 郷土意識の高揚、地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努めます。

事業内容

1. 施設・備品の提供

(1) 施設の提供

①提供月日（曜日）

月（第1、3、5）・火・日曜日・祝日 9：00～17：00

水・木・金・土曜日 9：00～21：00

※使用の受付は原則として、2ヵ月前の月初めから予約開始

（予約開始日の午前9時から抽選。抽選後は先着順に受付。回数制限なし）

②休館日 毎月 第2・4月曜日、年末年始

(2) 備品の提供

①館内での利用に支障のない範囲で、備品・器具等の貸出しを行います。

②佐倉市市民部の所管する子ども御輿、イベントテントの貸出し事務の一部及び保管を取り扱います。

2. 学級・講座・講習会・見学会

受講者の対象別に家庭教育、青少年教育、成人教育の各事業にわけて実施します。

3. その他の事業

広報、体育・レクリエーション、図書、団体育成、情報提供、人材活用、個人学習などの事業を実施します。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

年度 区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用件数 (件)	3,463	3,362	3,353	3,384	3,509
利用人数 (人)	36,015	36,670	37,366	35,688	35,404
開館日数 (日)	334	333	333	333	335

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子で遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ	2・3歳児と保護者 前・後期各20組	前期:5月～7月 12回 7組 14人 後期:10月～12月 12回 20組 40人	親子で一緒に運動や絵本・手遊び・ 工作などを楽しみ、幼児の様々な発 達を促す。 また、家族の参加日を前期後期それ ぞれ2回設け、保護者だけでなく、 家族ぐるみの交流も図る。
	親子で自由表現ダンサー に変身	2歳児～小学3年生 までの子どもとそ の保護者 30組	9/26 1回 6組 14人	親子で型にとらわれない自由なダンス を一緒に踊ることで、子どもの創 造的な発想力を培い、保護者も一緒 に参加することにより親子間のコミ ュニケーションを図る。また、保護 者は、育児により疲れた身体と心の メンテナンスを行う機会とする。
	子育てママのためのヨ ガ・ストレッチ講座	1歳児～未就学児 を持つ保護者 15人	3/4, 11, 17 3回 15人	同世代の子育て中の保護者たちが、 ヨガやストレッチによって、体を動 かすことでリフレッシュし、併せて 仲間作りをする機会とする。
	親子ふれあい教室	幼児・小学生及び 保護者 10組	7/11 1回 4組 11人	幼児や小学生が親子で一緒に体験実 習することで身体の発達を促し、家 族の係わり方を学ぶ。また、保護者 同士の交流や情報交換を図る。
	親子体験教室	小学生及び保護者 10組	5月～10月 5回 8組 19人	屋外活動やもの作りなど、計画から 準備までの全てを親子で協力して行 い、親子の交流を図る。ザリガニ釣 り、おもちゃ作りなどを実施。
	食育実践講座 簡単 朝食にサラダそ ぼろ丼を作ろう！	小学生以上の 保護者 20人	11/17 1回 9人	豊かで健全な食生活を実践するた め、正しい「食」の知識を身につけ、 家族の係わり方を学ぶ。保護者同士 の交流や情報交換を図る。
根郷公民館 通学合宿	根郷地区の小学校 4年生～6年生 21人	6/21～6/24 3泊4日 1回 21人	異年齢の子どもたちが親元を離れ、 共同生活を体験することで自主性・ 協調性などを高め、生きる力を育む。 事業に協力する地域住民・学生との 交流も図り、地域の絆を強める。	

青少年教育		小学生 16人（おもしろ科学実験隊） 15人（子ども水彩画教室） 20人（勾玉作りに挑戦！）	おもしろ科学実験隊：6月～12月 7回 16人 夏休み子ども水彩画教室：7/23, 24 2回 9人 勾玉作りに挑戦！ 7/21 1回 19人	体験型事業として「おもしろ科学実験隊」7回、「勾玉作りに挑戦！」1回「子ども水彩画教室」2回を開催し、子どものやる気や自主性・協調性などを養う機会とする。	
		小学生 40人	12/20 1回 26人	音楽鑑賞等を通じ、次世代を担う子どもの情操教育に資する。地域の公民館で吹奏楽団（地域に根ざした市民楽団）の音楽に親しむ機会を提供する。	
		幼児～小学生 各40人	7/28 1回 68人 3/25 1回 48人	映画や音楽などの鑑賞を通じて、次世代を担う子供たちに豊かな情操を養うことを目的とする。（夏・春休み期間に実施）	
	佐倉学	佐倉っ子塾 環境政策課 共通講座 （水辺観察会）	小学生 20人	7/22 1回 19人	環境意識を育む講座 （印旛沼などの自然環境やその他の自然体験学習により環境への意識を育む）
		佐倉っ子塾 工場見学に行こう！	小学生及び保護者 20組	8/4 1回 7組 14人	工場を見学することにより地域の産業や文化などを体験学習し、子どもの創造力や探求心などを育む（夏休み期間に実施）
		佐倉っ子塾 佐倉こどもかるた教室	小学生及び保護者 10組	1/16 1回 16人（小学生のみ）	佐倉市の歴史、自然、文化、行事、人物など佐倉をテーマにした「佐倉子どもかるた」（遊び）を通して、ふるさと佐倉を知り、郷土を愛する心を育む
成人教育		60歳以上 130人	5月～3月 11回 130人	郷土の歴史や文化、健康づくり、社会現象等幅広い分野を学び、教養の向上と社会参加の推進を目的とし、また参加者同士の交流を図る。 ①歴史・文化（佐倉の歴史、歌声コンサート等）②健康づくり（生活習慣病予防）③社会現象等（時事問題、人権講座、社会見学等）④受講者から講師を募り、学びあいの場とする。	

根郷 寿大 学	(市民公開講座) 生活習慣病 予防講座	成人 30人	6/17 1回 14人	生活習慣病予防のため、その要因となる行動や日常生活の中で実践できる予防法を学ぶ。(市民公開講座として開催)
	(市民公開講座) 佐倉の歴史	成人 20人	8/21 1回 6人	ポスター・チラシなどを見ながら、佐倉市の歩みを学ぶ。
	(市民公開講座) 人権講座	成人 20人	1/15 1回 3人	現代社会に潜在する様々な人権問題について考え、差別意識や偏見をもたない「心のバリアフリー」について学んだ。
成 人 教 育	わくわく元気塾 健康づくり講座	成人 各40人	10/20, 28, 11/4, 11 4回 26人	健康の維持増進を図り、生活習慣病予防を目的として、日常生活の中で簡単に出来る有酸素運動などを中心に健康体操を学ぶ。
	パソコン広場	成人 各20人	4月～3月 第2日曜日 12回(月1回) 4/13 7人 5/11 4人 6/8 5人 7/13 4人 8/10 4人 9/14 4人 10/12 7人 11/9 3人 12/14 5人 1/11 5人 2/8 4人 3/8 5人	パソコンボランティアを配置し、パソコン初心者が持ち込んだパソコンの操作等に関する疑問を解決する場を提供する。
	ハンギング バスケット講座	成人 各10人	12月 2回 12/8 10人 12/15 9人	花と緑があふれるまちづくりのため、季節を彩る花を使って、植物や機材の知識を習得しながらハンギングバスケットを制作する。
	珈琲学入門講座 珈琲おいしさの方程式	成人 各10人	11月 2回 11/7 10人 11/15 10人	珈琲の基礎知識、文化と歴史、珈琲豆の選び方、抽出技術、珈琲のマナー等を学び、珈琲の持つ魅力を再発見する。

		防災講座	成人 30人	2/6 14人	地域住民の防災意識を向上させることにより、地域の防災力を強化する。 (避難訓練と救急救命講習)
		佐倉学入門講座	成人 50人(千葉一族盛衰記) 15人(縄文土器を作ろう) 20人(佐倉同協社と佐倉茶) 10人(佐倉銘菓の由来に迫る) 30人(鉄道講座)	千葉一族盛衰記 8/22 49人 縄文土器を作ろう 9/13 15人 10/25 17人 佐倉同協社と佐倉茶 9/25 21人 佐倉銘菓の由来に迫る 10/20 12人 鉄道講座 11/24 22人 12/10 33人	佐倉をテーマに学び、郷土に関する知識を高めている。「千葉一族盛衰記」、「縄文土器を作ろう」、「佐倉同協社と佐倉茶」、「佐倉銘菓の由来に迫る」、「鉄道講座」を開催する。
成人教育	佐倉学講座	根郷ふるさと探訪	成人 各20人	春の野草観察会: 4/25 1回 20人 秋の野草観察会: 10/17 1回 15人 寺崎散策: 11/8 1回 18人	根郷地区周辺を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しむ。 (春・秋の野草観察会) 根郷にゆかりのある史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高める。(寺崎散策:密蔵院の大祭を見学)
		伝統の根郷産こんにゃく作り体験	成人 各20人	12月 2回 12/4 19人 12/11 18人	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て「こんにゃく作り講座」を2回実施する。 講座を通じて地域住民同士の交流を図る。
事業	コミュニティ	さくら学び塾 エンディングノートの書き方講座	原則60歳以上 20人	10月～11月 3回 10/24 17人 10/31 19人 11/7 18人	終活の第一歩として、エンディングノートの書き方を学び、自分を見つめ直す機会を提供する。
団体育成		根郷地区社会教育関係団体への支援	該当団体	通年	南部地区子ども会育成会連絡協議会、根郷地区青少年育成住民会議及び各種団体の活動を支援する。
		定期利用者懇談会	利用団体代表者	5/1 1回 67人	公民館の活動について理解を深めて頂くと共に、利用団体から要望を聞き、意見交換を行う。
広報		根郷公民館だより	根郷地区の各世帯及び事業所	年2回発行 4月:10,500部 9月:10,500部	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行する。

図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年 1人10冊 2週間まで 人数 615人 貸出 1,317冊 返却 7,503冊	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行う。
その他	夏休み自習室	小学生～成人	7/18～8/31 80人	夏休みの期間中、児童・生徒・学生等が個人学習に利用できる部屋を提供開放する。
	卓球室開放	幼児～一般	4月～3月 第1日曜日 11回(月1回) 4/5 7人 5/3 2人 6/7 12人 7/5 9人 8/2 6人 9/6 6人 10/4 6人 12/6 14人 1/10 3人 2/7 10人 3/6 9人	家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供する。
	展示スペースの開放	一般	サークルの展示 5/8～9/11、9/18～ 1/28、2/1～6/9 通学合宿の写真展 示 6/24～7/23 夏休み子ども水彩 画教室 7/24～8/6	サークルや地域住民などに1階ロビー内の展示スペースを提供する。

1. 家庭教育事業

ぼっぼちゃんくらぶ

① 開設趣旨 絵本の読み聞かせや手遊び、工作など、幼児の想像力や豊かな心を育てる上で重要な学習内容を通して親子で楽しむ機会を提供する。また、体を動かす楽しさや同年齢の子どもと触れ合うことで、幼児期的人格形成を促すことを目的とする。なお、講座が終了しても話し合えるような受講者同士の仲間づくりを図り、子育てにおける親と子の関わりを考えた。

② 募集対象・募集人数

前期 平成24年4月2日～25年4月1日生まれの子と保護者 20組40人

後期 平成23年4月2日～25年4月1日生まれの子と保護者 20組40人

○保育ボランティア ちゅんちゅんくらぶ 前期6人・後期8人

③ 学習目標

1. 絵本の読み聞かせを通して幼児の想像力や豊かな心を育てる。

2. 運動や遊びを通して、親子の関係、地域との関わり、子育てについて考える。

④ プログラム

(前期)

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	5月 7日(木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ みんなで仲良くなろう(ぴよんぴよんはねる)	廣田和子 (楽母楽子)
2	5月14日(木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ 体を動かして遊ぼう(新聞紙遊び)	
3	5月21日(木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ 作ったもので遊んでみよう (ぶんぶん飛ぶよ)	
4	5月23日(土) 10:00～11:30	家族参観日。手遊びと絵本の読み聞かせ 家族一緒に お空の下で遊ぼう (ロケットを飛ばそう)	
5	5月28日(木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ 色遊びを楽しもう(絵の具でスタンプ遊び)	
6	6月 4日(木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ みんなで魚釣りを体験しよう	
7	6月11日(木) 10:00～11:30	投げたり、ついたり、転がしたり・・・ 大好きなボールで遊ぼう	(NPO法人ニッポンラ ンナーズ) 小林 友香 結城 玲美

8	6月18日(木) 10:00~11:30	タオルを使って、楽しく体操しよう	小林 友香 結城 玲美
9	6月25日(木) 10:00~11:30	フープで楽しく体操しよう	結城 玲美 石原 美奈子
10	6月28日(日) 10:00~11:30	家族参観日 新聞紙を使って色々な遊びをしよう	小林 友香 結城 玲美
11	7月 2日(木) 10:00~11:30	マット、平均台にチャレンジしよう	結城 玲美 森下 晴絵
12	7月 9日(木) 10:00~11:30	思い出を作ろう！ ミニ運動会	結城 玲美 石原 美奈子

(後期)

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	10月 2日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ みんなで仲良くなろう(ぴよんぴよんはねる)	廣田和子 (楽母楽子)
2	10月 8日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ 体を動かして遊ぼう(新聞紙遊び)	
3	10月15日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ みんなで魚釣りを体験しよう	
4	10月22日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ 作ったもので遊んでみよう (ぶんぶん飛ぶよ)	
5	10月29日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ 色遊びを楽しもう(絵の具でスタンプ遊び)	
6	10月31日(土) 10:00~11:30	家族参観日 新聞紙を使って色々な遊びをしよう	
7	11月 5日(木) 10:00~11:30	投げたり、ついたり、転がしたり・・・ 大好きなボールで遊ぼう	小林 友香 結城 玲美
8	11月12日(木) 10:00~11:30	タオルを使って、楽しく体操しよう	小林 友香 石原 美奈子
9	11月15日(日) 10:00~11:30	家族参観日 新聞紙を使って色々な遊びをしよう	小林 友香 結城 玲美
10	11月19日(木) 10:00~11:30	フープで楽しく体操しよう	小林 友香 結城 玲美

1 1	11月26日(木) 10:00~11:30	マット、平均台にチャレンジしよう	小林 友香
1 2	12月 3日(木) 10:00~11:30	思い出を作ろう！ ミニ運動会	小林 友香 結城 玲美

⑤ 講座を終えて

絵本の読み聞かせや手遊び、体操という趣向の異なる学習内容を組み合わせたこの講座は2・3歳児の様々な成長過程を見ることが出来ます。前期、後期と通して参加した方もいて、「集団で遊ぶよい機会でした」という意見があったり好評でした。子ども達同士が仲良くなったり、育児経験豊かな講師や同世代の保護者とも楽しく交流できたようです。また、家族参加の日は、父親、兄弟なども加わっていただくことで、より多くの交流が生まれました。

親子体験教室

- ① 開設趣旨 ザリガニ釣りや工作など体験活動を通じて、親子のコミュニケーションを深める機会を提供するとともに、知識や技能を身につける。
- また、自分たちで、計画・準備・活動をすることにより、受講者同士や地域の方などとのつながりを深める機会とする。
- ② 募集対象・募集人数 親子 10組
- ③ 学習目標 1. 親子のコミュニケーションを深める。
2. 自分たちで、計画・準備・活動をすることにより、受講者同士や地域の方などとのつながりを深める。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	5月 9日(土) 9:00~11:00	かみつきへびと紙巻き鉛筆を作る	岩宮しげみ
2	6月 6日(土) 9:00~11:00	スライム作り(雨天によるザリガニ釣り中止のため)	川上 義孝
3	7月25日(土) 9:00~11:00	身近にあるものを使っておもちゃ作り	大山 登美枝
4	9月12日(土) 9:00~12:00	朝食で活躍するサンドウィッチとサラダの色々体験	吉田 智子
5	10月10日(土) 9:00~11:00	たまごの実験	川上 義孝

⑤ 講座を終えて

親子で協力して実験や工作、調理など様々な体験を行ったことで、親子間の会話が弾み、全体として和やかな講座となったようです。悪天候のため中止となったザリガニ釣りは残念でしたが、代わりにスライム作りを行い受講者は楽しそうでした。また、受講者同士の交流も盛んでした。感想には「家ではできないことを親子で体験できる講座でした」などがあり、今後も継続したいと思います。

親子ふれあい教室（幼児）

- ① 開設趣旨 子どもの心身の発育を促す。家族との係わり方を学ぶ。
- ② 募集対象・募集人数 幼児・小学生と保護者 20組
- ③ 学習目標 親子のふれあいと友達づくり
- ④ プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	7月11日（土） 13:30～15:00	ボール・ベル・ベルダーを使い、親子で3B体操を体験しよう	日本3B体操協会 田中明子

⑤ 講座を終えて

親子で体操を楽しみながら、少子化の中で希薄になりがちな子ども、またはその保護者同士の交流を深める良い機会となりました。受講者からは、「土日に運動や読み聞かせの講座があったら」という声がありました。

ぽっぽちゃんくらぶ番外編 親子で自由表現ダンサーに変身

- ① 開設趣旨 親子で自由に踊ることで、親子間のコミュニケーションを図り、育児により疲れた心身をメンテナンスする機会とする。
- ② 募集対象・募集人数 2歳～小学生低学年の子とその保護者 30組
- ③ 学習目標 子どもの創造力を養い、親子のコミュニケーション力の向上
- ④ プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	9月26日（土） 10:00～12:00	型にとらわれない自由なダンスを親子で踊る	岡庭未来（ダンススクール講師） 廣田和子（楽母楽子）

⑤ 講座を終えて

最初はお馴染みの楽曲でアンパンマンと一緒に楽しく踊った後、親子で木や花になるなどの自由なダンスをしましたが、子どもだけでなく保護者もリラックスして踊っていました。

受講者からは「体を動かすものやダンス企画を今後も計画してほしい」など要望が多く寄せられました。

食育実践講座 「簡単 朝食にサラダそばろ丼を作ろう！」

- ① 開設趣旨 成長期の小学生を持つ保護者を対象に「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学ぶ。
- ② 募集対象・募集人数 小学生以上の子を持つ保護者、育児経験者 16人
- ③ 学習目標 正しい「食」の知識について学ぶ。
- ④ プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	11月17日（火） 9:30～13:00	朝食の大切さを学び、「サラダそばろ丼」を調理し、試食する	今井勝子（食生活改善推進員）

⑤ 講座を終えて

朝食の大切さについて学び、忙しい朝でも簡単に用意できる「サラダそばろ井」を調理し、試食しました。また、健康には、「栄養」だけでなく適度な「運動」も必要だということで、タオル運動を体験しました。

「サラダそばろ井」は、栄養、時間、彩り、意外な味付けが好評でした。作業は、簡単だったので、受講者同士、また、講師との交流がよく図られていたようです。

今後は、家庭で親子一緒に作りながら、親子のコミュニケーションを深めてもらいたいと思います。

子育てママのためのヨガ・ストレッチ講座

① 開設趣旨 同年代の子育て中の保護者たちが体を動かすことでリフレッシュし、仲間作りする場を提供する。

② 募集対象・募集人数 1歳～未就学児をもつ保護者 15人

③ 学習目標 ヨガやストレッチで健康を取り戻し、育児の疲れを和らげる。

④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	3月 4日 (金) 10:00～11:00	子育て中の保護者たちがヨガやストレッチでを動かす	福田美和子 (ヨガインストラクター)
2	3月11日 (金) 10:00～11:00	子育て中の保護者たちがヨガやストレッチで体を動かす	
3	3月17日 (木) 10:00～11:00	子育て中の保護者たちがヨガやストレッチで体を動かす	

⑤ 講座を終えて

預かり保育付きで募集したのですが、幼稚園に通う前の1・2歳の子どもをもつ保護者の応募が多数を占めました。想定した以上に保育の需要があったため、急遽ですが、自治人権推進課の協力を得て、保育協力者の人数を増員するなどの対応をとりました。今後は託児付きの講座については、関係する課からも情報収集を行いたいと思います。

講座の内容ですが、講師が受講者の運動能力や柔軟性を見ながら、講座をすすめていたので、各自にあった運動方法を学びました。感想では「託児があることで、自分の時間をもつことができリラックスできた」などの意見があり、心身の健康づくりに役立ったと思います。

2. 青少年教育事業

通学合宿

① 開設趣旨 異年齢の子どもたちが、親元を離れ、共同生活体験をしながら通学する。

② 募集対象・募集人数 根郷地区の小学4年生～6年生 21人

③ 学習目標 共同生活体験をすることにより自主性・協調性を高める。

④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月21日 (日) 10:00～	開講式を行った後、4日間の献立を決定 共同生活体験をする	吉田智子 (献立の作 成アドバイス)、 地域協力者、 学生ボランティア
2	6月22日 (月)	共同生活体験をしながら通学する	地域協力者、 学生ボランティア
3	6月23日 (火)	共同生活体験をしながら通学する	
4	6月24日 (水) ～18:30	共同生活体験をしながら通学する 閉講式を行った後、4日間の成果を発表する	

⑤ 講座を終えて

今年で「通学合宿」も13年目となり、学校・地域の中でもすっかり定着してきて、多くの協力者に恵まれるようになりました。ジュニアリーダーズクラブによるレクや公民館利用サークル「まつりずし」指導による太巻き寿司作りを体験しました。また、地域協力者の方からの「参加児童ともっと交流を図りたい」という意見から始まった初日の昼食のカレーライス作りですが、今年は参加児童中心に地域協力者の方にアドバイスを頂きながら行いました。親睦の意味も含め、地域協力者の方と一緒に食べながら交流を深めました。将来、参加者の中から学生ボランティアとして参加してもらえることを願っています。

おもしろ科学実験隊

- ① 開設趣旨 子どもたちが五感のすべてを使って、遊びながら科学の楽しさ、不思議さに触れる。
- ② 募集対象・募集人数 小学4年生～6年生・16人
- ③ 学習目標 実験を通して、新しい発見をする。
- ④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月 6日 (土) 13:00～15:00	酸とアルカリを混ぜるとどんな変化が起こるかなどの実験をする	八千代中学校教諭 西澤 保雄
2	7月 4日 (土) 13:00～15:00	Ooho!という持ち運べる水を作る	四街道西中学校教諭 宮本 利之
3	8月 1日 (土) 13:00～15:00	色で遊ぼう	千葉東高等学校教諭 川上 義孝
4	9月 5日 (土) 13:00～15:00	「浮いてこい」を作ってみよう!	千葉工業大学教授 半沢 洋子

5	10月 3日 (土) 13:00～15:00	水の汚れ具合を調べる。 ホッカイロを作ろう!	八千代中学校教諭 西澤 保雄
6	10月31日 (土) 13:00～15:00	物の溶け方 ～水溶液について～	千葉東高等学校教諭 川上 義孝
7	12月 5日 (土) 13:00～15:00	鉄は燃えるかな?	千葉工業大学教授 半沢 洋子

⑤ 講座を終えて

今年16年目となる「おもしろ科学実験隊」は、子どもたちに小学校では体験できないような実験などを提供できるように、講師と打ち合わせを行っています。講座の中では、インターネットでも話題の「持ち運べる水」の実験を行いました。受講生の反応は、味は「？」でしたが、子どもたちは皆驚いていました。どの講師も子どもたちの期待にこたえる、不思議で楽しい実験を用意して下さり、大変充実した講座となりました。参加した子どもたちにはこれからも科学に興味を持ち続けてもらいたいと思います。

勾玉作りに挑戦!

- ① 開設趣旨 勾玉作りを通して、縄文時代の生活に触れる機会とする。
- ② 募集対象・募集人数 小学3年生～6年生 20人
- ③ 学習目標 勾玉作りや講師の話聞き、縄文時代の生活に触れる。
- ④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月21日 (火) 10:00～12:00	勾玉作りや講師の話聞き、縄文時代の生活に触れる	千葉県教育庁 教育振興部文化財課 文化財保護室 職員

⑤ 講座を終えて

前半に土器などの出土遺物の説明、後半に勾玉作りを行いました。講師持参の展示物には、博物館にあってもおかしくない土器や石で出来た矢じりの展示があり、実際に触って観察することが出来ました。直接触れられるのは、この場だけという事で貴重な体験となったようです。子どもたちは講師の話熱心に聞いた後、夢中で勾玉を作っていました。アンケートでは、全員が「楽しかった」と答えています。

こうした体験がきっかけとなって、少しでも子どもたちが昔の生活体験への好奇心を抱いてくれればと思います。

夏休み子ども水彩画教室

- ① 開設趣旨 水彩画を描くことにより、やる気や自主性を育てる。
- ② 募集対象・募集人数 小学3年生～6年生 15人
- ③ 学習目標 水彩画の描き方を学び、絵を描く楽しさに触れる。
- ④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月23日 (木) 10:00~12:00	平筆の使い方、紙の特徴を知る	ワールサークル会員 (公民館利用サークル)
2	7月24日 (金) 10:00~12:00	造花をモチーフに花を描く	

⑤ 講座を終えて

今年も根郷公民館で活動しているサークル（ワールサークル）に指導のご協力をいただきました。今年度は、会員も小学生と並んで絵を描きながら、アドバイスしました。

初日は、自分なりのアレンジも試しながら、平筆の使い方と紙の特徴を学びました。二日目は、昨日学んだことを活かし、好みの造花を題材に花を描きました。初めは、戸惑っていた子ども達ですが、全員が集中して取り組み作品を仕上げました。

これからもいろいろな挑戦をして創造力を高めていってほしいと思います。

子ども鑑賞教室

- ① 開設趣旨 映画や音楽などの鑑賞を通じて豊かな情操を養う。
- ② 募集対象・募集人数 幼児～小学生・各回 40人
- ③ 学習目標 映画や音楽などの鑑賞を通じて青少年の交流と健全育成を図る。
- ④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月28日 (火) 10:00~12:00	夏休みに子ども向け名画鑑賞を実施する 「はらぺこあおむし」「人魚姫」	公民館職員
2	3月25日 (水) 10:00~12:00	春休みに子ども向け音楽鑑賞を実施する リズム遊びをし、歌い方を学ぶ	杉島理恵 (ソプラノ)、西田理恵 (ピアノ伴奏)

⑤ 講座を終えて

今年度から「子ども鑑賞教室」として夏休みに名画鑑賞と春休みに音楽鑑賞を実施しました。

夏休みには、「はらぺこあおむし」と「人魚姫」の2本の映画を鑑賞しました。

春休みの音楽鑑賞では、普段あまり聴くことのないソプラノ歌手の歌声に圧倒されている様子でした。その後、リズム遊び、講師による歌い方指導を行いました。講師の説明は分かりやすく、受講者は楽しみながら参加していました。これからも、鑑賞教室として内容を検討しながら続けていきたいと思っています。

クリスマスコンサート

- ① 開設趣旨 子どもたちクリスマスのひととき、楽しく過ごしてもらえるように地元吹奏楽団演奏によるクリスマスコンサートを実施する。
- ② 募集対象・募集人数 幼児～小学生 40人

③ 学習目標 音楽鑑賞を通して、子どもの心の健全育成を図る。

④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	12月20日 (日) 14:00~15:00	地元吹奏楽団の演奏を聴き、クリスマス のひとときを過ごす	佐倉ウィンドアンサンブル 会員

⑤ 講座を終えて

「幼少期より、オーケストラによる生の演奏を聴くことで感性が磨かれ、音楽や楽器についての知識も多く得られるように」と企画しています。根郷地区で活動を行っている吹奏楽団に講師を依頼しました。迫力ある演奏を間近に感じられる機会として続けていきたいです。

佐倉っ子塾 環境政策課共通講座 水辺観察会

① 開設趣旨 自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに環境保全の重要性を認識する機会とする。

② 募集対象・募集人数 小学4年生～6年生 20人

③ 学習目標 印旛沼や鹿島川の水などを使って環境意識を育む。

④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月22日 (水) 9:00~16:00	印旛沼や鹿島川に注ぐ水の流れや、生き物について学ぶ	千葉県環境財団 職員

⑤ 講座を終えて

印旛沼やその周辺環境の理解を目的として企画・実施した講座で、環境政策課との共催事業です。自作の透視度計で印旛沼の水質を調べたり、水源域に生息する水生生物を現地で採集して観察しました。屋外での観察等、楽しみながら印旛沼の抱える問題点なども正しく理解してもらえたと思います。

佐倉っ子塾 工場見学に行こう

① 開設趣旨 地域の産業や文化などについての体験学習をし、子どもの創造力や研究心を育む。

② 募集対象・募集人数 小学生と保護者 20組

③ 学習目標 普段使っている浴槽がどのように造られているかを学ぶ。

④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月4日 (火) 9:30~12:30	浴槽がどのように造られているか等を学ぶ	TOTO バスクリエイト株式会社 社員

⑤ 講座を終えて

普段使っている浴槽がどのように造られているか、その一端を知ることができました。また、「工場内の材料を98%リサイクルする」という会社として環境への関心の高さが感じ取れました。子どもたちにとって、働くことの責任感や意義について実感する機会となったのではないかと思います。

佐倉っ子塾 佐倉こどもかるた教室

- ① 開設趣旨 かるたを通して、ふるさと佐倉を知り、郷土を愛する心を育む。
- ② 募集対象・募集人数 小学生と保護者 20人
- ③ 学習目標 佐倉市の歴史・自然・文化・行事・人物をテーマとしたかるたで詳しく学習する。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	1月16日(土) 9:30~12:00	佐倉こどもかるたで郷土のことを学習する	佐倉こどもかるた 「子都手留会」会員

⑤ 講座を終えて

当初、親子で募集していましたが、今年は子ども向けに内容を変更しました。かるた参加者には記念品をあげたり、お正月らしくお餅を焼いて食べる体験もしました。今年で4年目となりますが、学校で同内容の学習をしていたこともあり、年々動員は難しくなっていますので、学習方法について検討していきたいと思えます。

3. 成人教育事業

根郷寿大学

- ① 開設趣旨 現在、激しく変貌していく現代社会において、少子高齢化が深刻な社会問題となっています。このような状況の中で高齢者が充実した生活を過ごすには、健康保持・生活文化・地域問題などについて正しく情報を収集し、学習する必要があります。寿大学は、こうした学習や情報取得・意見交換の場としての提供を目指しています。
- ② 募集対象・募集人数 60歳以上の市民 130人
- ③ 学習目標 高齢者が生きがいを持って充実した生活を過ごせるよう、健康保持、生活文化、地域問題などについて学ぶとともに、互いの交流をはかる。
- ④ プログラム

回	月日(曜)	学習内容	講師
1	5月15日(金) 9:30~12:00	開講式 オリエンテーション(運営委員の選出、1年間の予定説明、班の確認等) 自己紹介、グループ討議「今後の班活動について」	館長 担当
2	6月17日(水) 9:30~12:00	生活習慣病予防講座 (市民公開講座)	みつば脳神経 クリニック 院長 大木剛
3	7月17日(金) 9:30~12:00	身近な福祉の制度など 健康を保つ体操	高齢者福祉課職員

4	8月21日(金) 9:20~12:00	ポスター・チラシなどから見る佐倉市の歩み (市民公開講座)	内田儀久
5	9月18日(金) 9:20~12:00	ピアノ、チェロ、クラリネット、マリンバの合奏 と歌声コンサート	音楽の森
6	10月21日(水) 8:30~17:15	社会見学 久留里城 笹森観音	担当
7	11月20日(金) 9:20~12:00	ボランティア活動はじめませんか 東京マラソンの舞台裏	佐倉市社会福祉協議会職員 根郷寿大学 斉藤雄
8	12月18日(金) 9:20~12:00	年金について	日本年金機構職員
9	1月15日(金) 9:20~12:00	災害と人権 (市民公開講座)	千葉県 人権啓発センター 常務理事 鎌田行平
10	2月19日(金) 9:20~12:00	国立歴史民俗博物館の概要	根郷寿大学 座間功
11	3月18日(金) 9:20~12:00	根郷寿大学を受講して(グループ討議) 閉講式	館長 担当

⑤ 講座を終えて

寿大学は昭和46年に開設、今日まで継続されている佐倉市立公民館の事業としては最も古く歴史のあるものです。当初は根郷地区の住民だけを対象としていましたが、現在では市内全域にその対象を広げています。

本年も60歳以上130人(60歳~91歳/平均年齢73.8歳)が健康、地域、文化等幅広い分野を学びながら一人一人生きがいを持ち、孤立することのないように、様々な交流活動を支援しました。

今後も、高齢者が学び交流する場としての役割を保持しながら、受講生自らが取材・編集・発行している『根郷寿だより』の活動のように自主的な活動に展開していくように支援していきたいと思っております。

生活習慣病予防講座 (根郷寿大学市民公開講座)

- ① 開設趣旨 飽食の時代に、誰でも陥りやすい生活習慣病について知る機会を提供する。
- ② 募集対象・募集人数 成人 20人
- ③ 学習目標 生活習慣病の要因と予防法を理解する。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月17日(水) 10:00~12:00	クイズや質問コーナーを織り交ぜながら生活習慣病について理解を深める	みつば脳神経クリニック 院長 大木剛

⑤ 講座を終えて

動脈硬化や糖尿病など普段耳にする事柄を詳しく解説していただいた。また、認知症の予防法も学んだ。講義を聞いて、飽食の時代だからこそ、偏食をせず、生活リズムを改善し、健康に気をつけていってほしいと思いました。

ポスター・チラシなどから見る佐倉市の歩み（根郷寿大学市民公開講座）

- ① 開設趣旨 今までの佐倉市の歩みを理解する機会を提供する。
- ② 募集対象・募集人数 成人 20人
- ③ 学習目標 今までの佐倉市の歩みを理解する。
- ④ プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	8月21日（金） 10:00～12:00	ポスター・チラシを見ながらその時代の風景や出来事などを解説し、理解を深める	社会教育指導員 内田儀久

⑤ 講座を終えて

ポスターの内容とともにその時代の出来事も詳しく話をさせていただき、おおむね好評であった。これを機に少しでも佐倉市に関心を持ってもらえたらと思います。

人権講座（根郷寿大学市民公開講座）

- ① 開設趣旨 現代社会に潜在する様々な差別問題を学ぶ機会を提供する。
- ② 募集対象・募集人数 成人 20人
- ③ 学習目標 現代社会に潜在する様々な差別問題を理解する。
- ④ プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	1月15日（金） 10:00～12:00	東日本大震災から5年であるが、未だ偏見や差別が行われている事実を知り、どうしたら解決して行けるかを学ぶ	千葉県人権啓発センター 常務理事 鎌田行平

⑤ 講座を終えて

様々なある偏見の事例をあげ、丁寧に説明していただいた。さらに東日本大震災のボランティアに関わる講師の東北地方での活動や「現地でも千葉氏が活躍していた」という話もしていただいた。これを機に、今自分がやれることを考える機会となれば良いと思います。

わくわく元気塾 健康づくり講座

- ① 開設趣旨 日常生活の中で簡単にできる有酸素運動を中心に学び、健康の保持増進を図る。
- ② 募集対象・募集人数 成人 40人
- ③ 学習目標 効果的な運動方法を学び、生活習慣病予防を達成する。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	10月20日(火) 10:00~11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	A F A A 認定インストラクター 森 たか子
2	10月28日(水) 10:00~11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	
3	11月 4日(水) 10:00~11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	
4	11月11日(水) 10:00~11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ	

⑤ 講座を終えて

世界的なフィットネスインストラクター教育団体のA F A Aから認定された森たか子氏を講師に迎え、日常生活の中で簡単に出来る運動、特に有酸素運動やストレッチを中心に学びました。今年は要望のあったヨガの要素を取り入れました。受講者からは「これからも是非継続してほしい」「家でもできるような資料がほしい」などの感想がありました。健康増進への関心が高まったと思います。

パソコン広場

- ① 開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。
- ② 募集対象・募集人数 成人 各回20人
- ③ 学習目標 地域住民の情報活用能力の育成を行う。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1 2	毎月1回 (第2日曜日) 10:00~12:00 13:00~15:00	各自で教材を持ち込み、各々で学習した わからない所をボランティアに質問をする	パソコン ボランティア

⑤ 講座を終えて

基本的には「ワード」、「エクセル」といった基礎的な内容について説明する講座ですが、コンピューターの進化に伴い、質問も多種多様になっているようです。受講者から「日常的な操作でわからないところを補うことができた」などの感想があり、パソコン操作のレベルアップの一助となったように思います。

ハンギングバスケット講座

- ① 開設趣旨 花と緑があふれるまちづくりのためハンギングバスケットを制作する。
- ② 募集対象・募集人数 成人 各回10人
- ③ 学習目標 植物や機材の知識を習得する。

④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	12月8日 (火) 10:00～12:30	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する	JHBS ハンギングバスケットマスター 遠藤富士子
2	12月15日 (火) 10:00～12:30	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する	

⑤ 講座を終えて

講師の熱意が受講者にも伝わり、みな熱心に制作していました。わかりやすい指導で受講者は素敵な作品を完成させていました。人気の講座でリピーターも多かったです。アンケートからも皆さん満足した様子でした。両日ともサークルとして活動したいという声がありました。

珈琲学入門講座 珈琲おいしさの方程式

① 開設趣旨 人々の心に潤いを与える珈琲。珈琲の持つ魅力を再発見する。

② 募集対象・募集人数 成人・各回 10人

③ 学習目標 珈琲の基礎知識や抽出技術を習得する。

④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	11月7日 (土) 9:30～12:30	珈琲の歴史など基礎知識や豆の選び方、抽出技術を学ぶ	珈琲焙煎士 坂井 稔
2	11月15日 (日) 9:30～12:30	珈琲の歴史など基礎知識や豆の選び方、抽出技術を学ぶ	珈琲焙煎士 坂井 稔

⑤ 講座を終えて

「普段公民館事業に参加していない層に参加してもらいたい」と企画したところ、老若男女幅広い層の参加がありました。当日は、珈琲の歴史などの基礎知識や抽出方法など丁寧に教えていただき、受講者からは、「珈琲に対する考え方が変わった」「自己流だったので、知らないことが多かった」目から鱗などの感想がありました。これを機に自宅で「至福の一杯」を極めてもらいたいと思います。

地域防災力向上講座

① 開設趣旨 地域住民の防災意識の向上を図る機会とする。

② 募集対象・募集人数 成人 30人

③ 学習目標 避難の仕方や消火器の取り扱いの再確認、AED（自動体外式除細動器）の使い方等を救命救急講習により学ぶ。

④ プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月6日 (土) 9:30～12:00	避難経路確認や消火器の取り扱い方法、AED（自動体外式除細動器）や救命救急講習の方法を学ぶ	佐倉市八街市酒々井町消防組合署員

⑤ 講座を終えて

今年度は、AED（自動体外式除細動器）の使い方など、救命救急講習を中心に学びました。受講者が実際に操作方法を体験するので、実践的な内容だったと思います。参加者からは、火災や応急手当など具体的な質問があり、関心の高さがうかがえました。参加人数が少ないので、募集方法に工夫をしたいと思います。

佐倉学入門講座

- ① 開設趣旨 佐倉（根郷地区）をテーマに歴史・文化・自然を学び、郷土愛を高め、地域を見直す機会を提供する。
- ② 募集対象・募集人数 成人 「千葉一族盛衰記」成人 50人
 中学生以上「縄文土器を作ろう」成人 15人
 成人 「佐倉同協社と佐倉茶」成人 20人
 成人 「佐倉銘菓の由来に迫る」成人 10人
 成人 「鉄道講座」成人 30人
- ③ 学習目標 佐倉の歴史・文化・自然に興味を持ち、佐倉の新たな魅力について知る。
- ④ プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	8月22日（火） 10:00～12:00	戦乱の世を駆け抜けた佐倉市の武将たちの歴史を理解する	歴史噺家 けやき家こもん
2	9月13日（日） 10:00～12:00	佐倉市に出土した縄文土器を観察しながら、成形と文様を付ける	根郷公民館 学芸員 松田富美子
3	9月25日（金） 9:30～12:00	佐倉同協社の歴史を理解する 茶歌舞伎に挑戦する	株式会社小川園 茶匠 小川 勝寛
4	10月25日（日） 9:30～12:00	一か月乾燥させた土器を焼成する 土器が焼けるまで縄文時代の体験をする	根郷公民館 学芸員 松田富美子
5	10月20日（火） 10:00～11:00	蔵六餅誕生までの歴史を理解する 蔵に所蔵されている品の見学	株式会社木村屋 代表取締役社長 鶴澤弓子
6	11月24日（火） 10:00～12:00	佐倉駅の今昔について理解を深める	鉄道史研究家 白土 貞夫
7	12月10日（木） 8:45～16:00	小湊鐵道とポッポの丘の見学	鉄道史研究家白土貞夫 小湊鐵道（株）社員

⑤ 講座を終えて

佐倉について学ぶ講座の入門編として歴史・文化・自然と様々なテーマを設け、なるべく多くの方々に興味を持って頂けるような講座を目指しています。今年度の内容としては、戦乱期に活躍した佐倉の武将たちを講談風にわかりやすく紹介しました。また、体験型講座として、縄文土器作りと、佐倉市民が利用する千葉県内の鉄道として小湊鐵道の見学を行いました。

どの講座も受講生は大変熱心に話しを聞いています。これからも新たな発見をすることができる講座となるよう内容を検討していきたいと思っています。

佐倉学講座 根郷ふるさと探訪

- ① 開設趣旨 郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び散策を交えて、郷土史を理解する。
- ② 募集対象・募集人数 成人 各回 20人
- ③ 学習目標 散策しながら、野草や古木を観察し、郷土の自然について関心高める。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	4月25日(土) 9:30~12:00	小篠塚地区を散策しながら春の野草や古木を観察し、郷土の自然への関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子
2	10月17日(土) 9:30~12:00	城から天辺地区を散策しながら秋の野草や古木を観察し、郷土の自然について関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子
3	11月 8日(日) 12:30~16:00	寺崎密蔵院の大祭を見学する。今年は日曜薬師のため伝統芸能の見学も併せて行う	菊地 昭夫 井原 重之

⑤ 講座を終えて

この一連の講座は、根郷地区周辺の自然や歴史を中心に紹介し、郷土に興味を持っていただけるよう実施しています。春と秋の野草観察会は、七年続く人気がある講座ですが、今年は野草だけでなく史跡の見学も行いました。受講者は実際に野草に触れることで、より関心が高まっているようでした。

寺崎密蔵院の大祭は、今年は七年に一度の日曜薬師であったので、紙切りや大神楽などの伝統芸能も併せて見学させていただきました。感想には「地域のお祭りに参加できることは貴重な体験だった」などがあり、今後も地域についてより深く理解していただけるよう、内容を吟味していきます。

佐倉学講座 伝統の根郷産こんにゃく作り体験

- ① 開設趣旨 根郷地区の食材を活用し、地域への関心を高める。
地元の人材を活用することにより、市民同士の交流を図り地域づくりにつなげる。
- ② 募集対象・募集人数 「こんにゃく作り」成人 各回 20人
- ③ 学習目標 地元の食材の良さを発見する。自ら学び、地域づくりにつなげる。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	12月 4日(金) 9:30~13:00	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦する	あけぼのグループ 会員
2	12月11日(金) 9:30~13:00	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦する	

⑤ 講座を終えて

佐倉・城下町400年事業と位置付けたこんにゃく作りは、講師の協力により、地元で取れたこんにゃく芋を使用して行いました。江戸時代に佐倉の特産であったことを学習しながら、こんにゃく作りを体験することで、手作りの良さや食について考える機会となりました。感想には「地元産の食材の発見でした」「地域に伝わる料理について教えてほしい」などがあり、地元食材の普及の一助となりました。

4. コミュニティ事業

さくら学び塾「エンディングノートの書き方」講座

- ① 開設趣旨 公募で選ばれた市民講師と受講生が次世代への技術の継承、地域づくり、まちおこしなど新たな地域での取り組みのきっかけづくりとなることを期待して、「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾」として、開設する。
- ② 募集対象・募集人数 60歳以上 20人
- ③ 学習目標 エンディングノートの書き方を習得する。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	10月24日(土) 10:00~11:30	エンディングノートを書く意義を学習し、家族などへのメッセージを考える	終活カウンセラー協会 認定 上級終活カウンセラー 三石 康雄
2	10月31日(土) 10:00~11:30	エンディングノートに記入するエピソードの書き方や、医療・介護・葬儀について学習する	
3	11月7日(土) 14:00~15:30	エンディングノートに相続・遺言を書くポイントと保管状況について学習する	

⑤ 講座を終えて

高齢者を対象とした終活に関わる内容であるので、受講者の関心度はかなり高く、特に介護や相続については講義中や終了後にも質問が絶えませんでした。講師は様々な資格をもち幅広い知識がありましたが、高齢者に合わせた平易な方法でわかりやすくエンディングノートの書き方について講義されていました。感想には「書き方がわからなかったが、早速書きます」「生き方を見直す機会になった」などのご意見がありました。受講者には講座で学習して新たに生まれた課題について更に学習を深めてほしいと思います。

5. 団体育成事業

① 根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようです。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成されました。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などそ

の他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としています。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画/運営、各種団体への助成などを行っています。

②南部地区子ども会育成会連絡協議会

近年、地区子ども会への加入が減少傾向にあるなかで、どのように運営していったら良いか、どんな運営をしたら良いかなど、地区の子ども会を支援する目的として、昭和56年に結成されました。事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

活動としては、子ども会活動に役立つゲーム講習会や子ども会の会長が集まり、意見を交換する、会長連絡会などを行っています。また、子ども会活動に役立つ各種備品の貸し出しもを行っています。

6. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい・・・公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行する。
- 発行回数・・・年2回（4月15日、9月15日）
- 発行部数・・・4月15日号 10,500部 9月15日号 10,500部
- 配布方法・・・各公民館・図書館の窓口及び根郷地区各世帯・各事業所に新聞折込みにより配布

7. 図書事業

- 趣 旨 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵 書 数 約3千冊

○月別貸出数・返却数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数 (冊)	109	75	116	128	126	95	161	94	103	106	101	103	1,317
返却数 (冊)	438	367	460	417	516	411	3,058	379	356	379	362	360	7,503

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、平成28年3月末現在では、佐倉市の総人口176,976人に対し志津地区の人口が77,025人となっており、その割合は43.5%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。

しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあり、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

また、志津地区の公共施設では、「志津コミュニティセンター」「西志津ふれあいセンター」「西部保健センター」「北志津児童センター」「志津北部地域包括支援センター」があり、旧志津出張所跡地に「志津公民館」「志津出張所」「志津図書館分館」「志津児童センター」「志津南部地域包括支援センター」を併設した「志津市民プラザ」が平成27年11月末に新たにオープンし、施設整備が推進され住民福祉の向上が図られている。

志津地区のデータ

【平成28年3月末現在】

○志津地区：面積	約18.5km ²	（佐倉市：面積	103.69km ² ）		
○ 〃	：住基人口	77,025人	（ 〃	：住基人口	176,976人）
○ 〃	：人口密度	4,159人/km ²	（ 〃	：人口密度	1,706人/km ² ）

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
利用件数 (件)	4,262	4,311	4,558	4,785	5,086
利用人数 (人)	57,344	56,335	56,295	58,617	66,148
開館日数 (日)	333	333	333	333	331

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	お母さんと遊ぼう 「ぼっぼちゃんのお家へいこう」	2歳児と母親 30組	月2回(金) 全18回 5/22～11/13 17組34人	親子遊びを通して、子どもの成長を見守り、子どもと親が共に成長する「育自」を体験する講座。親同士の交流を図り、地域の中で、子育てを考える。
	笑顔で子育て応援講座	子どもと保護者 15組	親子でかわいい房総まつり寿司づくり体験 2/13:14組31人 * 3/5:11組31人	子どもが健全に育つための親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。 *桜のモチーフを探そう!プラス鈴のキーホルダー作りプラス手作りおやつを試食
青少年教育	子どもクッキング教室	小学生 各20人	前・後期計4回 6/15:24人 7/18:26人 8/6:12人 12/20:20人	地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。 6/15:みんな大好き餃子パーティー♡デザート付 7/18:ツルツル手打ちうどんとデザートをつくろう 8/6:みんなで流しそうめんつくろう、食べよう*前日8/5準備:11人参加 12/20:ミニのすしケーキでクリスマスを楽しもう!
	子ども手作り工房	小学生 各20人	前・後期計4回 6/21:19人 7/26:12人 8/21:12人 12/20:3人	佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 6/21:プロペラ船を作って遊ぼう 7/26:絵を描いてオンリーワンのバッグを作ろう 8/21:飛行機を作って飛ばそう 12/20:大好きな人にカードを送ろう
	子ども自然教室	小学生 各20人	前・後期2回計4回 5/31:26人 6/8:中止 10/11:7人 12/13:26人	自然体験学習や印旛沼等の自然環境を学び、環境意識を育む。 5/31:春の星座をみよう(木星・土星・火星) 6/8:里山の生き物を探そう(天候により中止) 10/11:落葉をみつけよう 12/13:秋の星座をみよう(ふたご座流星群)
	子ども理科実験教室	小学生 各20人	前・後期2回計4回 6/28:20人 7/12:17人 8/30:12人 12/13:7人	理科実験等、体験学習を通して子どもの研究心や想像力を育む。 6/28:立体万華鏡を作って楽しもう 7/12:科学の力でアイスクリームを作ろう 8/30:電気パンを作ろう 12/13:電気自動車を作って遊ぼう
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年 高校生1人11日参加	青少年が職場体験学習をすることで、地域のひととのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。

成人教育	しづ市民大学	しづ学入門	成人 44人	第1・3(土)全19回 開講式・記念講演 5/30 講座 6/6～2/6 学習発表・閉講式 2/27	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に繋げる。
		地域健康学	成人 40人	第2・4(土)全19回 開講式・記念講演 5/30 講座 6/13～2/13 学習発表・閉講式 2/27	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、自らの生活を見直し、健康について学ぶことを通じて、地域の中で連帯を図る。
		くらしの情報学	成人 45人	第2・4(木)全19回 開講式・記念講演 5/30 講座 6/11～2/4 学習発表・閉講式 2/27	日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学び、安全で快適なくらしを送れる地域づくりを図る。
		おやじの食事学	成人男性 25人	第2・4(土)全19回 開講式・記念講演 5/30 講座 6/6～2/6 学習発表・閉講式 2/27	食生活の大切さや料理づくりの楽しさを体験しながら学び、仲間づくりと地域活動への参加を図る。
成人教育		佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 30人	全4回 2/3:24人 2/10:23人 2/17:21人 2/24:19人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。
		佐倉・城下町400年 記念事業 「佐倉道を歩く」	成人 20人	全5回 10/21:21人 10/28:18人 11/11:18人 11/18:19人 11/25:17人	かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉や周辺地域の歴史について理解を深める。 10/21:講義、志津公民館～臼井駅 10/28:江戸川駅～京成西船駅 11/11:京成西船駅～新京成習志野駅 11/18:新京成習志野駅～志津駅 11/25:臼井駅～佐倉城大手門跡
		佐倉学入門講座 「地産地消 佐倉コミュニティカフェを学ぼう」	成人 20人	全3回 2/2:19人 2/9:18人 2/16:17人	地域の人が気軽に集まる場所であるコミュニティカフェ。「つどい、食べて、語る」をテーマに地域社会の再構築を考える。
コミュニティ事業		さくら学び塾 「公民館活動に参加して生きがいを見つけよう」	成人 20人	全3回 12/8:13人 12/15:11人 12/22:10人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。

開館記念事業	開館記念特別講演会	一般 200人	11/27～30日 4日間 6事業 1451人	新複合施設のオープン記念講演会を実施する。 11/27～30日の間で記念式典、記念講演会、記念イベント、内覧会等を開催する。
団 体 育 成	第42回志津公民館祭	公民館利用サークル 約120団体	10/16～18 3日間 計122団体参加 2,608人来場	学習成果の発表や展示を通して、地域住民の交流と学習機会提供の場とする。 志津公民館、西志津ふれあいセンターを会場にサークルによる実行委員会を組織し開催。
	定期利用サークル 運営研修会	公民館利用サークル の代表者 約120名	4月16日 ○114団体130人参加	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め、地域活動につなげる。併せて避難訓練を実施。
	調理室利用サークル 懇談会	調理室利用サークル	6月17日 ○21団体 38人参加	調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。併せて清掃作業を実施。
	市子連事務	志津地区加盟 子ども会	通年	子ども会育成連盟をはじめ各種事業の広報と子ども会安全共催会加入事務を行う。
	志津ジュニア・ リーダーズ・クラブ (志津JLC)支援	1団体	通年 共催事業・クリスマス会 12/5:93人	志津JLCが行う各種事業への援助を通じて、JLの養成を図る。子ども会等の交流を図る機会を設け、JLが活動する場とする。
	志津地区社会教育 関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	相談・カウンセリング 等の支援事業	該当団体	通年	相談・カウンセリング活動を行う団体に会場を提供し、住民の問題解決の場となるよう支援する。
	公民館園芸ボラン ティア団体への支 援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広 報 活 動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区各戸 配布 市内主要施設 配布	5/1・10/1・1/15 11/15 開館記念号 各25,000部発行済	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。
図 書 事 業	図書資料やビデオ などの貸出等	小学生～成人	通年	図書や視聴覚資料の貸出・返却業務を行い、公民館利用者の学習・研究活動への啓発ならびに促進を図る。

1. 家庭教育事業

お母さんと遊ぼう「ぼっぼちゃんのお家へいこう」

- ① 開設趣旨 「元気で良い子に育てほしい」という願いは、どの親も共通した願いである。2歳児は、自我が目覚める年齢。子どもの目線に立って一緒に考えてあげましょう。小さなことも、できたら、十分抱きしめて、ほめてあげましょう。この講座は、子どもの成長を見守り、子と親が共に成長する「育自」を体験する母親のための講座である。

親子のふれあいを通して、幼児の自主性と豊かな心を育て、親同士の交流をはかり、地域の中で子育てを考える。

- ② 募集対象・募集人数 2歳児と母親30組

③ 学習目標

1. 幼児の自主性と豊かな心を育む。
2. 母親が「育児は育自」であることを体験し、今後の子育てに生かせるようにする。
3. 参加者の交流を深め、子育ての喜びや悩みを共有する地域の仲間づくりを図る。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	5月22日(金)	オリエンテーション 開講式	説明会・申込と開講式	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
2	6月 5日(金)	自然体験 さつまいも大好き	さつま芋植え体験	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 石川ヨシエ (食生活改善推進員)
3	6月12日(金)	工夫して・あ・そ・ぼ	身近なもので遊びましょ	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
4	6月19日(金)	おにぎり持って遠足行 こう	おにぎり持って、モノレールに 乗って遠足	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
5	6月21日(日)	家族で遊ぼう	広い場所でみんなで遊ぼう	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
6	7月 3日(金)	七夕飾り	七夕飾りを作りましょ	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 保健師
7	7月10日(金)	造形あそび	粘土で手形を作りましょ	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
8	9月 4日(金)	伝承遊び	たのしいな、伝承遊び	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
9	9月11日(金)	リズムで遊ぼう	体を動かそう	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
10	9月20日(日)	お父さんとヨーガ	お父さん出番です	河村 淳司 (ヨーガインストラク ター)
11	9月25日(金)	バス遠足 大型バスで佐倉草ぶえ の丘に行こう	バスで遠足たのしいな	蓮 淳子 (幼児教育研究家)

12	10月 9日(金)	絵本の世界によろこそ	世界の絵本、日本の絵本	図書館司書
13	10月23日(金)	野外で遊ぼう	公園であ・そ・ぼ	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
14	10月30日(金)	自然体験 さつまいも大好き	さつま芋収穫	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 石川ヨシエ (食生活改善推進員)
15	11月 6日(金)	ごっこ遊び	なりきり、なりきりごっこ遊び	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
16	11月13日(金)	お楽しみ会 閉講式	みんなでお楽しみ会と閉講式	蓮 淳子 (幼児教育研究家)

⑤ 講座を終えて

家庭教育事業として、2歳児とのお母さんを対象に、親子遊びを通して親子のふれあいを図り、子育てに日々頑張っているお母さんの情報交換と地域の仲間づくりの場となることを目指して、本講座を実施した。

基本的に親子や参加者同士の交流を図るため、講座の前半にはリズムに合わせた手遊び、体操、わらべ歌等を取り入れた。また、受講生同士が交流と情報交換の場としての話し合いの機会を定期的実施した。

講座については、例年実施している野外活動（さつまいもの苗植え・収穫、佐倉草ぶえの丘遠足）、季節の行事や工作（手形粘土・おもちゃ・七夕飾り）や、ボランティアさんの協力で自分たちが収穫したサツマイモの試食、お父さんとのヨーガを継続して実施した。

講座終了後のアンケートでは、講座を受講して満足、目的が達成されているとの肯定的な回答が多く、「いろいろな体験ができて良かった」「他のお母さんと交流する機会が持てて楽しかったです。」などの感想が寄せられ、親子遊びを通じた親子のふれあいや交流については、概ね目的が達成できたといえる。しかしその一方で、より快適な学習環境と親同士が話し合う場や親同士の交流を深められるような工夫が必要であると感じた。

笑顔で子育て応援講座 (1) 「親子で房総祭り寿司づくり体験」

(2) 「桜のモチーフを探そう！プラス鈴のキーホルダー作りプラス手作りおやつの試食」

① 開設趣旨 親子を対象に、子どもが健全に育つための、家庭教育講座。日本文化や地域伝承を体験することにより、親子のふれあいを図る。

② 募集対象・募集人数 (1) (2) 子どもとその保護者 各15組

③ 学習目標 親子を対象に、子どもが健全に育つための、家庭教育講座とする。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	2月13日(土)	郷土料理である房総祭り寿司づくりを体験することにより、親子のふれあいを図り、文化を傳承する。(かたつむりとバラの花の祭り寿司に挑戦)	西志津おやじの会 (小網 幸雄)	31人 (14組)
2	3月5日(土)	「桜のモチーフを探そう！プラス鈴のキーホルダー作りプラス手作りおやつの試食」 新しく志津公民館が生まれ変わり、志津市民プラザを親子で探検し、トールペイントの体験をして親子のコミュニケーションを図り、手作りおやつの重要性を学ぶ。	佐藤 みな子	31人 (11組)

⑤ 講座を終えて

地域の伝統や文化を継承し、親子でコミュニケーションをとりながら、郷土料理である房総祭り寿司づくりの体験をした。そして、新しく志津公民館が生まれ変わったため、志津市民プラザ内（志津出張所・

志津南部地域包括センター・志津図書館分館・志津児童センター)を親子で探検し、2 cmの桜のモチーフをさがした。そして、アトリエでは、可愛い鈴に花のトールペイントを塗ることを体験し、最後に調理室へ行き、食生活改善推進委員の自主学習として、「カルシウムたっぷりの手作りおやつを試食会」をしました。食材は、身近なさつま芋と牛乳を使ったミルクきんとんと小松菜とバナナのカルシウムジュースだった。また、働く親の参加を可能とするため、土曜日に実施したため、お父さんの参加が1人あった。

親子で房総祭り寿司づくり体験をした子どもたちの感想は、「少し工夫しただけでいろいろな海苔巻きができてすごいと思った。」「ご飯をつぶしてはいけないことを学んだ。」「大変だったけれど最後に切るのがドキドキした。」また、親御さんの感想は、「子どもと一緒に料理をしたかった。」「協同でやるのが楽しい。」「下準備が大変！かんぴょうは、煮たことがないけどやってみようと思いました。」「上手に出来上がっていて感動しました。」「子ども主体で進めてくださり、子どもがやる気をだし進んでやっていた。」とご意見をいただいた。古くから房総地区の中で行事がある毎に母から子どもたちにごちそうして、食べていた祭り寿司を地域の中で、伝承して行ってほしい。

桜のモチーフを探そう！プラス鈴のキーホルダー作りプラス手作りおやつを試食に参加した感想は、「全部楽しかったです。」「プログラムがいろいろ組んでおり、楽しそうな内容と思って参加しました。」「佐倉市に引越して来てトールペイントや食育に力を入れていることわかり参加でき良かったです。」「カルシウムたっぷりのおやつを家で作ってみます。」

来年度も、子育てを応援する講座として、親子体験講座を実施し、家族団らんの場で話題となり、親子のふれあいを図るような講座を実施していきたい。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 「子どもクッキング教室」

- ① 開設趣旨 地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。
- ② 募集対象・募集人数 小学生各20人
- ③ 学習目標
 1. 自分たちの手で料理を作り、料理の楽しさと大切さを実感してもらう。
 2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。
 3. 地元の素材を取り入れ、地域への関心を高める。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月15日(月) 県民の日	みんな大好き餃子パーティー♡デザート付	家族みんなが好きな餃子を作り料理に親しむ・友達をつくる	平日会
2	7月18日(土)	ツルツル手打ちうどんとデザートを作ろう	うどんを小麦粉から作ることで、手作りの喜びを味わう	おやじの食事学同好会
3	8月6日(木)	流しそうめんをつくらう、	8月5日に竹の器づくりと流しそうめんを体験する	しづ散策の会
4	12月20日(日)	ミニのすしケーキでクリスマスを楽しもう！	クリスマスに家族で楽しいパーティー用の手作り料理をつくる	食生活改善推進員志津B支部

⑤ 講座を終えて

子どもたちが地域で公民館活動をしている地域のおじさんやおばさんに簡単においしく出来て、子どもたちが家庭で、気軽に作って、食べるメニュー作りを考えた。講師は、地域で福祉ボランティアをしているおやじの食事学同好会の皆さんや自主サークル平日会、しづ散策の会と佐倉市健康こども部健康増進課の出前講座を利用して、食生活改善推進員の皆さんに手づくりの楽しさと食育の大切を子どもたちに教えていただくように依頼し、食育に関しては、クイズ形式で楽しく学習した。

対象を高学年から小学生全学年とし、高学年は、低学年の面倒をみる縦の関係を図ることができた。

子どもたちの参加動機は、「お料理を作るのが好きだから。」「餃子が好きだから。」「おすしを作るの

がたのしそだから。」などで、ネーミングやテーマの設定を工夫することが大切と考える。参加して感動したことは、「みんなと協力して、仲よくなれるし、新しい友達ができ、料理がおいしい。」「おしえてくれたおじさんが面白いから。」「メロンパンがサクサクして美味しかった。」等、手作りの重要性と自立への一歩がみられ、家で作りたいとの意欲が感じられた。他の学校の子どもたちみんなと協力し、自分で作りして、食べることの重要性を感じられた。また、志津地区の小学校を超えた交流が図ることができた。

佐倉っ子塾 「子ども手づくり工房」

- ① 開設趣旨 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。
- ② 募集対象・募集人数 小学生各20人
- ③ 学習目標 1. 手工芸を通じて子どもたちの「創意工夫」の心を養う。
2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月21日(日)	プロペラ船を作って遊ぼう	牛乳パックを加工してプロペラ付の船を作る	佐倉っ子工芸クラブ
2	7月26日(日)	絵を描いてオンリーワンのバッグを作ろう	無地のバッグに絵を描いてオリジナルのバッグを作る	スケッチブック
3	8月21日(金)	飛行機を作って飛ばそう	画用紙で紙飛行機を作って飛ばす	佐倉っ子工芸クラブ
4	12月20日(日)	大好きな人にカードを送ろう	画用紙、絵具等を使ってオリジナルのカードを作る	スケッチブック

⑤ 講座を終えて

子どもたちに身近な地域の人たちとのふれあいを通して、手工芸に触れ、手づくりの良さを知り、作る楽しさを体験してもらうため、地域の人から学ぶ体験学習講座として、志津公民館等で活動しているスケッチブック、佐倉っ子工芸クラブを講師として迎え、年間を通して「プロペラ船を作って遊ぼう」「絵を描いてオンリーワンのバッグを作ろう」「飛行機を作って飛ばそう」「大好きな人にカードを送ろう」の4講座を実施した。各講座とも講師が用意した材料等を自分で考え創意工夫することにより、短時間で自分だけのオリジナルの作品を完成させる子供たちの対応力の高さに講師の皆さんも感心していた。参加した子供たちの感想としては、「絵を描いて色をぬること」「自分だけの船を作ったこと」「飛行機を作って飛ばしたこと」が楽しかったといったもので、それぞれが創意工夫し楽しくオリジナルの作品を作ることができた。

来年度以降も、子どもたちに手づくりすることの楽しさを体験してもらい、地域の人たちや学年や学校を超えての交流を推進していきたい。

佐倉っ子塾 「子ども自然教室」

- ① 開設趣旨 地域の自然にふれ、子どもたちに自然を舞台に新しい発見を体験する機会を提供し、自然の中で遊ぶことの素晴らしさ、楽しさを実感することで青少年の健全性を育む。
- ② 募集対象・募集人数 小学生各20人
- ③ 学習目標 1. 地域の自然とふれあうことで、子どもたちの自然への関心を高める。
2. 外で遊ぶことの楽しさを実感してもらい、青少年の健全育成を図る。
3. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	5月31日(土)	春の星座をみよう 木星・土星・火星	天体望遠鏡で星座観察を体験 西志津多目的広場	染井野星の会
2	6月8日(日)	里山の生き物を探そう	里山に生息する生物や、草花の 観察を体験 佐倉西部自然公園(畔田谷津)	天候不順のため中止
3	10月11日(土)	落ち葉をみつけよう 落ち葉さがし、たたき ぞめ	落ち葉やどんぐりを使い自然 の中での遊びを体験 南志津公園	志津JLC
4	12月13日(土)	秋の星座をみよう ふたご座流星群	天体望遠鏡で星座観察を体験 志津コミュニティセンター	染井野星の会

⑥ 講座を終えて

「春の星座をみよう 木星・土星・火星」では、天体望遠鏡で木星・土星・火星を実際に観察し、春の星座を実際に観察することができ、初めて見た子どもたちは感動していた。住宅地でも天体観測できたことで自然科学についてより関心を高めることができた。「里山の生き物を探そう」では、身近なところにある里山を散策し、生物、草花を直接手に取って観察の予定だったが、天候不順のため中止となった。「落ち葉をみつけよう」では、落ち葉やどんぐり等の自然の素材を使い、遊ぶことを体験した。自然の素材を使った叩き染めで植物を生活に活用できることを身近に学ぶことが出来た。「秋の星座をみよう ふたご座流星群」は、肉眼による星座と流星の観察を行った。雲の多い天候ながらも流星を実際に見れて、講師の方による屋外での天体観測は、自然科学に対して、子どもたちに新たな興味と関心を高めることができた。

自然教室は、里山や林の中等の屋外での開催であるため、子どもたちは、元気よく動き回っている。講師の方々には、子どもの安全面に関して十分にご配慮をさせていただいており、無事に開催することができた。

今後も志津地区にある自然を紹介し、自然と触れ合える機会を提供していきたい。そして、自然の中で遊ぶことの少なくなった子どもたちに自然の中で遊ぶことの楽しさ、自然の大切さを伝えていきたい。

佐倉っ子塾 「子ども理科実験教室」

- ① 開設趣旨 理科実験等、体験学習を通して子どもの好奇心や想像力を育む。
- ② 募集対象・募集人数 志津地区在住の小学生各20人
- ③ 学習目標
 1. 身近な素材を活かし、子どもたちに「不思議な世界」への挑戦を体験してもらう。
 2. 科学・理科の楽しさを伝え「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、自主性と健全育成を図る。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月28日(日)	立体万華鏡を作って楽しもう	光のふしぎ(屈折・色・エネルギーなど)を学び、万華鏡を作ってふしぎを体験	自然科学の会
2	7月12日(日)	科学の力でアイスクリームを作ろう	熱が奪われて温度が下がる現象を学び、アイスクリーム作りで体験	西志津おやじの会
3	8月30日(日)	電気パンを作ろう	電気の原子は、プラスとマイナスであり、電流を流すことで摩擦熱をそれぞれから出し、それを利用してパンを作ることができる事の体験学習	西志津おやじの会

4	12月13日(日)	電気自動車を作って遊ぼう	くだもの電池を作って実験・模型自動車を作って走らせて遊び体験	自然科学の会
---	-----------	--------------	--------------------------------	--------

⑤ 講座を終えて

講座については実験の形式を採り、小学生に体験学習の場を提供した。「立体万華鏡を作って楽しもう」では、光の反射の原理を利用し万華鏡を拵え、作ることの楽しさを体感してもらった。「科学の力でアイスクリームを作ろう」では、氷に塩を入れ熱が奪われる現象を見てもらい、氷に塩を加えて作ったアイスクリームと塩を加えないで作ったアイスクリームとを比較して、先の事柄を確認して試食をした。「電気パンを作ろう」ではホットケーキミックスと小麦粉を利用し、熱を通すものと通さない食材があり、実際に電流を流して確認した。電流を流すため、安全面に注意を払いながら行った。「電気自動車を作って遊ぼう」では、くだもの果汁の種類によって通電すること、それを動力に模型自動車を作って電気のメカニズムを理解させ、作ったものを皆で走らせて楽しんだ。

佐倉っ子塾 「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習

- ① 開設趣旨 中学生・高校生を対象に志津公民館でちょこっとボランティアをする職場体験学習講座
- ② 募集対象・募集人数 中学生・高校生
- ③ 学習目標 青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを目的とする。
- ④ プログラム等

「公民館職場体験」公民館でお仕事

「公民館事業企画」公民館の主催事業の企画

「公民館主催事業お助け隊」公民館の主催事業のチラシ作成や主催事業の受付など

回	月日(曜日)	ボランティア内容	会場	参加者数
1	8月3日(月)	ボランティアの日程・仕事打ち合わせ	志津公民館 資料室	高校生1人
2	8月4日(火)	志津公民館の概要・公民館の仕事	志津公民館 資料室	高校生1人
3	8月5日(水)	志津子ども教室子どもクッキング 「みんなで流しそうめんつくろう、食べよう」 受付業務・小学生へ竹の器づくり補助	志津公民館 中集会室	高校生1人
4	8月6日(木)	志津子ども教室子どもクッキング 「みんなで流しそうめんつくろう、食べよう」 受付業務・小学生へ調理補助	志津公民館 調理室	高校生1人
5	8月21日(金)	志津子ども教室手作り工房 「飛行機を作って飛ばそう」 受付業務・小学生へ創作補助	志津公民館 大集会室	高校生1人
6	8月22日(土)	しづ市民大学「合同講演会」 佐倉城下町400年記念事業リレー 講座の受付・資料配布	志津コミュニティ センター 大ホール	高校生1人
7	8月29日(土)	しづ市民大学「おやじの食事学」 受付・資料配布・講師紹介・次回の説明	志津公民館 調理室	高校生1人
8	10月17日(土)	第42回志津公民館祭 イベント	志津公民館 調理室・前庭	高校生1人
9	11月28日(土)	志津市民プラザの開館記念事業 ストリートオルガンの演奏	志津市民プラザ 1階ホール	高校生1人
10	11月29日(日)	志津市民プラザの開館記念事業 ストリートオルガンの演奏	志津市民プラザ 4階大会議室 アトリエ	高校生1人
11	12月20日(日)	志津子ども教室子どもクッキング 「ミニのすしケーキでクリスマスを楽し	志津公民館 調理室	高校生1人

		く！」受付業務・小学生へ調理補助		
--	--	------------------	--	--

⑤ 講座を終えて

中学生・高校生のための職場体験講座「ちょこボラ」の企画は、志津公民館で毎年度、学校からの依頼により、井野小学校6年生と志津中学校2年生の職場体験を実施しているが、志津地区の中学生や高校生に職場体験の講座を拡大し、平成24年度から実施した。

背景に都市化や少子化等の進展に伴って、子どもたちの社会性の不足、規範意識の低下、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下などが指摘されているが、中学生や高校生のための社会体験講座としての事業実施とした。

今年度のボランティアの参加は、夏休み中から高校生1人の参加となった。志津公民館窓口業務の説明や地域の中での公民館の役割など公民館職員としての学習から始まった。小学生対象の志津子ども教室子どもクッキング「みんなで流しそうめんつくろう、食べよう」「ミニのすしケーキでクリスマスを楽しく！」及び志津子ども教室手作り工房「飛行機を作って飛ばそう」の受付業務と小学生へ作業補助等を積極的に関わった。

参加した高校生の感想は、「ちょこボラのチラシを図書館で見て、小学生との交流がしたかったのでとても貴重な経験だと思います。」「自分の将来に活かせると思うのでこれからも、がんばります。」「子どもたちと同じ目線になるように話かけると子どもたちとの距離が近く、短時間で打ち解けることが分かりました。」等の感想だった。

今後、高校生が学校教育の現場だけでなく、地域の中の公民館の職場体験の経験を生かし、ボランティア精神が醸成され、社会の一員としての自覚を持っていくように願う。

また、千葉県立佐倉西高等学校へのチラシを配布したが、地元の高校生の参加が無く、残念だった。

3. 成人教育事業

しづ市民大学 (第26期)

① 開設趣旨

志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。

そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

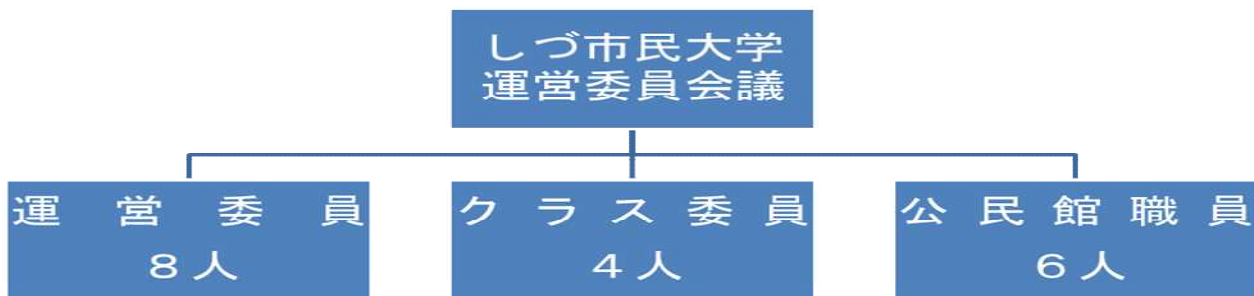
(1) 自主的な学習活動の促進

(個人的な参加型の学習から地域への展開)

(2) 生涯学習を進めるまちづくり

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【 しづ市民大学運営関係図 】



② 募集対象、募集人員

・しづ学入門	成人	44人
・地域健康学	成人	40人
・くらしの情報学	成人	45人
・おやじの食事学	成人男性	25人

③ 学習目標

・しづ学入門 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。

・地域健康学 地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学を通じて地域の連帯を図り、この成果を生かした「まちづくり」に貢献することをめざす。

・くらしの情報学 日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学習する。溢れる情報の中から有用なものを選択し、得た情報を個人あるいは仲間たちと共に活用することにより、安全で快適な生活の在り方を模索する。

・おやじの食事学 男性を対象とした講座で、食の大切さや和食を基礎とした食事づくりの楽しさを体験しながら、地域の中で仲間づくりをめざし、地域で活動するきっかけをつくる。

④ プログラム

しづ市民大学 「 しづ学入門 」 コース

回	日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月30日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「公民館で学び、私たちの暮らしと地域を創る」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	千葉大学 教育学部 教授 長澤 成次
2	6月6日(土) 9:30~15:00	公民館が目指す地域学 【志津公民館 大集会室】	佐倉市社会教育指導員 内田 儀久
3	6月20日(土) 9:30~14:00	城下町佐倉の歴史散策 【佐倉地区 史跡散策】	NPO「佐倉一里塚」 ガイドボランティア
4	7月4日(土) 9:30~12:00	志津地域の史跡と名所 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 宮武 孝吉
5	7月18日(土) 9:30~12:00	歴史民俗博物館で学ぶ 【国立歴史民俗博物館 見学】	歴博セミナーの会 永見 一
6	8月1日(土) 9:30~12:00	志津地域の植物 【志津公民館 大集会室】	志津植物愛好会 田辺 タツ子
7	8月22日(土) 10:00~12:00	佐倉・400年記念リレー講座 合同講演会 佐倉炭 【志津コミュニティセンター大ホール】	千葉市立郷土博物館 土屋 雅人
8	8月29日(土) 9:30~12:30	志津の歴史散策① =史跡・古道散策など= 【志津地区 史跡散策】	郷土史研究家 宮武 孝吉
9	9月5日(土) 9:30~12:00	志津地域の地名 【志津公民館 大集会室】	佐倉地名研究会 田中 征志
10	9月19日(土) 8:30~16:00	佐倉ゆかりの偉人 =佐藤志津を学ぶ= 【女子美術大学見学】	女子美術大学 学芸員
11	10月3日(土) 9:30~12:00	井野長割遺跡を学ぶ 【志津公民館 大集会室】	佐倉市教育委員会文化課 学芸員 小倉 和重
12	10月17日(土) 9:30~13:30	第42回 志津公民館祭 しづ市民大学 ウォークラリー大会	クラス委員・運営委員
13	10月31日(土) 9:30~12:00	ポスター・チラシ等に見る佐倉 【志津公民館 大集会室】	佐倉市社会教育指導員 内田 儀久
14	11月7日(土) 9:30~12:30	印旛沼の変遷 =湖沼の生態系= 【志津公民館 大集会室】	内水面水産研究所 主任上席研究員 平田 淳一
15	11月21日(土) 9:30~12:30	志津の歴史散策② =史跡・古道散策など= 【志津地区 史跡散策】	郷土史研究家 高橋 三千男
16	12月19日(土) 9:30~12:00	印旛沼と野鳥と里山 【志津公民館 大会議室】	日本野鳥の会 浅野 俊雄
17	1月16日(土) 9:30~12:00	民俗行事を学ぶ =井野の辻切りなど= 【志津公民館 大会議室】	志津郷土歴史同好会 高山 守
18	2月6日(土) 9:30~12:00	発表会に向けて 【志津公民館 大会議室】	クラス委員・運営委員
19	2月27日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津公民館 大会議室】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「地域健康学」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月30日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「公民館で学び、私たちの暮らしと地域を創る」 【志津コミュニティセンター 大ホール】		千葉大学 教育学部 教授 長澤 成次
2	6月13日(土) 9:30~15:00	お元気ですか？地域から健康笑顔を発信 口腔衛生 【志津公民館 大集会室】		佐倉市保健師・歯科衛生士
3	6月27日(土) 9:30~12:00	栄養学から健康愛情料理～我が家の食事情の検証 【志津公民館 大集会室】		栄養士 小林 由喜子
4	7月4日(土) 9:30~15:00	地元食材・季節の手作り料理－実習編－ 【志津公民館 調理室】		栄養士 小林 由喜子
5	7月25日(土) 9:30~13:00	鍼灸・マッサージの話、腰痛体操 【志津公民館 調理室】		セントマーガレット病院 鍼灸師・マッサージ指圧師 高橋 伸輔 理学療法士 清水 貴義
6	8月8日(土) 9:30~12:00	健康太極拳で柔軟性を高め、筋肉を鍛える 【志津公民館 大集会室】		日本武術太極拳連盟公認 指導員 中城 明
7	8月22日(土) 10:00~12:00	佐倉・400年記念リレー講座 合同講演会 佐倉炭 【志津コミュニティセンター 大ホール】		千葉市郷土博物館 土屋 雅人
8	9月12日(土) 9:30~12:00	脳科学・脳のしくみと働き 【志津公民館 大集会室】		千葉大学医学部附属病院 脳神経外科診療講師 樋口 佳則
9	9月26日(土) 9:30~12:00	笑いっぱいタオルの健康体操 【志津公民館 大集会室】		健康をつくろう会 会長 廣吉 勝子
10	10月10日(土) 9:30~12:00	生活習慣病とウォーキング～楽しく歩こう～ 【志津公民館 大集会室】		NPO千葉県ウォーキング協会
11	10月17日(土) 9:30~13:30	第42回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)		クラス委員・運営委員
12	10月24日(土) 9:30~12:00	森林浴で健康骨太に～安全に楽しく歩いて～ 【志津公民館 大集会室】		ボーイスカウト連盟公認 指導員 本部 三枝子
13	11月7日(土) 9:30~12:30	「認知症」から見える家庭の薬学 【志津公民館 大集会室】		印旛郡市薬剤師会 理 事 伊藤 克洋
14	11月14日(土) 9:30~12:00	軽スポーツでリフレッシュ 【志津コミュニティセンター 大ホール】		元体育指導委員 六崎 美知代
15	12月12日(土) 9:30~12:00	呼吸法ヨーガで自分を見つめ、自己管理 【志津公民館 大会議室】		フリーダイバー 日本一 岡本 美鈴
16	1月9日(土) 9:30~12:00	健康体力づくりのための体操とストレッチ 生活習慣の見つめ直しと健康維持の基礎知識知識 【志津公民館 大会議室】		NPOニッポンランナーズ クラブコーチ 小高 美奈子
17	1月23日(土) 9:30~15:00	地域サークルとボランティア 【志津公民館 大会議室】		手話ダンスロード
18	2月13日(土) 9:30~12:00	発表会に向けて 【志津公民館 大会議室】		クラス委員・運営委員
19	2月27日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津公民館 大会議室】		クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「くらしの情報学」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月30日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「公民館で学び、私たちの暮らし地域を創る」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	千葉大学 教育学部 教授 長澤 成次
2	6月11日(木) 9:30~15:00	地域の活動に参加しよう 津公民館 大集会室 【志	佐倉市社会福祉協議会 岡本一成
3	6月25日(木) 8:30~17:00	社会見学会(バス見学会) 【袖ヶ浦市ほか】	クラス委員・運営委員
4	7月9日(木) 9:30~12:00	ニュースの読み方 【志津公民館 大集会室】	元毎日新聞社論説委員長 清水 幹夫
5	7月23日(木) 9:30~12:00	佐倉市の商業活性化について 【志津公民館 大集会室】	佐倉商工会議所 事務局長 高橋 義和
6	8月22日(土) 10:00~12:00	佐倉・城下町400年リレー講座 合同講演会 【志津コミュニティセンター 大ホール】	千葉市立郷土博物館 土屋 雅人
7	8月27日(木) 9:30~12:00	悪質商法撃退法 【志津公民館 大集会室】	佐倉市消費生活センター 消費生活専門相談員
8	9月10日(木) 9:30~12:00	エコライフを送ろう 【志津公民館 大集会室】	(財)電力中央研究所理事待遇 工学博士 中 岡 章
9	9月24日(木) 9:30~12:00	佐倉市企業の取組み～佐倉茶物語～ 【志津公民館 大集会室】	(株)小川園 代表取締役社長 小川 勝寛
10	10月8日(木) 9:30~12:00	高齢社会と人権 【志津公民館 大集会室】	(社)千葉県人権センター 常務理事 鎌田 行平
11	10月17日(土) 9:30~13:30	第42回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
12	11月12日(木) 9:30~12:00	話し合い学習 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
13	11月19日(木) 9:30~12:00	交通・生活安全の知識と啓発 【志津公民館 大集会室】	佐倉警察署 交通課・生活安全課
14	12月10日(木) 9:30~12:00	認知症サポーターになろう！ 【志津公民館 大会議室】	志津南部地域包括支援センター
15	12月17日(木) 9:30~12:00	遺言と相続～備えあれば…!?～ 【志津公民館 大会議室】	千葉県金融広報委員会金融 広報アドバイザー 齋藤喜代美
16	1月14日(木) 9:30~12:00	災害に備えて 【志津公民館 大会議室】	佐倉市役所防災防犯課
17	1月28日(木) 9:30~12:00	話し合い学習 【志津公民館 大会議室】	クラス委員・運営委員
18	2月4日(木) 9:30~12:00	学習発表会に向けて 【志津公民館 大会議室】	クラス委員・運営委員
19	2月27日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津公民館 大会議室】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「 おやじの食事学 」 コース

回	日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月30日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「公民館で学び、私たちの暮らしと地域を創る」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	千葉大学 教育学部 教授 長澤 成次
2	6月6日(土) 9:30~15:00	食生活を見直し、始めの一步、野菜の切り方覚えよう (講義・実習・話し合い) 【志津公民館 調理室 中集会室】	栄養士 六崎 美知代
3	6月13日(土) 9:30~15:00	栄養学から考える健康・地元野菜メニュー (実習・話し合い) 【志津公民館 調理室 中集会室】	栄養士 六崎 美知代
4	6月27日(土) 9:30~15:00	本格派ダシでうまみをだし、おいしい和食を (実習) 【志津公民館 調理室 中集会室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
5	7月11日(土) 9:30~13:30	肉じゃがで学ぶ料理の基礎(講義・実習・話し合い) 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
6	7月25日(土) 9:30~13:30	郷土料理房総祭り寿司を傳承しよう(実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
7	8月22日(土) 10:00~12:00	佐倉・城下町400年記念リレー講座合同講演会 佐倉炭 【志津コミュニティセンター 大ホール】	千葉市立郷土博物館 土屋 雅人
8	8月29日(土) 9:30~13:30	先輩おやじの手打ちうどんは、逸品(実習) 【志津公民館 調理室】	おやじの食事学同好会
9	9月12日(土) 9:30~13:30	おやじ特製、オムライスの決めてはV(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
10	9月26日(土) 9:30~13:30	鯖をさばいて、味噌煮(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
11	10月10日(土) 9:30~13:30	中華料理はいろいろチャーハンに決めた! (実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 矢口 孝
12	10月17日(土) 9:30~13:30	第42回 志津公民館祭 (しづ市民大学 ウォークラリー大会)	クラス委員・運営委員
13	10月24日(土) 9:30~13:30	こだわりの洋食に挑戦(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 矢口 孝
14	11月7日(土) 9:30~13:30	地域へ発信!生活習慣病を予防しよう(実習) 【志津公民館 調理室】	食生活改善推進委員
15	12月12日(土) 9:30~13:30	みんなで考えるリクエスト料理(実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
16	1月9日(土) 9:30~13:30	学習発表会に向けて(話し合い) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
17	1月23日(土) 9:30~13:30	手作りメニューを考えよう(話し合い) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
18	2月6日(土) 9:30~13:30	講師を囲んで腕前披露会(実習) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
19	2月27日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津公民館 大会議室】	クラス委員・運営委員

⑤ 講座を終えて

「しづ学入門」

しづ学入門では主に志津地区の事柄を中心に、郷土の歴史・文化・等の学習を柱として講話・史跡散策・見学会と記念講演会・合同講演会の全19回による学習を実施した。受講を重ねる中で郷土についての理解と多くの仲間の輪の形成に資することで、事業の視点にある「自主的な学習活動の促進」「生涯学習を進めるまちづくり」において一つの成果を上げることができた。

今年度は歴史関係の講座が比較的多く企画されたが、「佐倉ゆかりの偉人＝佐藤志津を学ぶ＝」をテーマにした見学会では、女子美術大学に赴き施設の見学と佐藤志津と女子美術大学との関りや歴史についての講義を拝聴し、展示美術作品なども見学した。いずれも大学の学芸員の方から詳しく説明を頂いたが、メモなどその内容をひかえる講座生も多く、関心を高さがうかがえた。又、自然科学の系統の講座も行い、「湖沼の生態系」では印旛沼の生態系の現状を聞き、在来生物の種類の移り変わりとその増減について解説もあり、皆大いに問題意識を啓発された様子であった。

受講生のアンケートでは、「佐倉・志津地区の歴史、民俗行事などを詳しく知ることができ、これからの地域活動に生かしたいとおもう。」「現地に行き現物に触れることは重要であると認識した。」「今回培ったクラスの皆様との交流を活発にしたい。」など、建設的な意見をいただいた。

一方では、希望したいカリキュラムとして、「散策を増やしてほしい」などの意見もあり、引き続き受講者の学習ニーズの把握に努め、趣味性の高い講座以外にも身近な地域の課題についての講座なども考慮し、幅広い学習テーマでプログラムなどを検討を続けていきたい。

「地域健康学」

地域健康では、地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学（タオル健康体操やウォーキング等の軽い運動、栄養学や医学的な学習の講義や実技）を通じて地域の連帯を図り、個人から、地域の人へ学習成果を伝えていただくことを目的に実施した。

今年度も、参加者のより充実した交流を図るために、初回と終盤の2回、午後1時から午後3時までの2時間をホームルームの時間として設定した。また、受講生それぞれが、成果を生かして地域で貢献されることを期待して、昨年度に続いて「地域サークルとボランティア」のテーマも実施した。

その結果、当初から委員長及び班長を決定し、ホームルームについても委員長を中心として積極的な交流が図られた。

受講生の感想では、「地域健康学で学んだ事を日々の暮らしや地域社会に活かしたい」「健康寿命を延ばす為、自立、自律の為に、食に気をつけ、意識して体を動かし、社会との繋がりを持ちながら、元気に楽しく過ごしていきたい」など、自己の生活を見直し、地域連帯の意識や地域愛着への向上が見られる感想が多くあった。

今後、しづ市民大学での出会いや学び合いを契機として、誰もが健康で明るい生活を送り、地域の中で支え合う社会へと繋がっていくことを願う。

「くらしの情報学」

くらしの情報学の開設趣旨は、生活に密着した情報や取組みに加え、心豊かな生活を過ごすための知識を学び、その学んだ知識を地域の人達と共に活用し、安全で快適な地域づくりを目指すことを目的として実施した。地域活性化、時事問題、エコ、相続から防災まで、日々のくらしに密着した幅広い分野に亘る講座を開設した。それぞれのテーマについて、受講生からは、「漠然としていた知識が、専門家の講義を受講したことで、整理ができた」、「新たな知識を得ることができた」、「学んだことをすぐ実行していきたい」等、これからの生活に積極的に取り入れていきたいという感想を多くいただいた。特に受講生の関心が高かったのは、認知症や相続等自分の身にこれから起こるであろう事柄であった。

また、新しい仲間ができたという声を頂いている一方、受講生どうしの交流が十分にできなかったという意見もいただいた。くらしの情報学での講義は座学が多くなっている。今年度は話し合い学習を1コマ増やし、前半1コマ、後半1コマの2コマ行ったが、より受講生の交流が活発におこなわれるようなカリキュラム提供することが課題となった。

市民大学終了後も受講生が引き続き学習を進めることや、積極的に地域活動に参加していくようサポートしていきたい。

「おやじの食事学」

おやじの食事学は、男性が料理の楽しさを体験しながら家庭で実践できる食事作りを学び、家庭や地域で活躍できるようになってもらうことを目的として実施した。

受講生のアンケートでは、「おやじの食事学を受講したことにより、料理することの大切さや奥深さが理解できた。また、年齢に合った味付けの大切さも学ぶことができた。全く料理に素人の受講生達と試行錯誤で取り組んだ料理は、それぞれ個性が出てくる事も新鮮で面白かった。この貴重な経験を今後の生活に生かしていきたい。」という意見があった。

今年度の受講生は、講座の半ばから、修了記念集の作成を計画し、各班から5名、委員長、副委員長で編集委員会を開催しました。そして、完成した「餐究録」。これは、講座の趣旨・目的を理解し、自分たちのレシピ「衣食同源まごわやさしい健康レシピ」の作成とさまざまな思いが詰まった学習の記録と成果である。また、9月から毎回、班替えをし、交流が深まった。

講座の最終回には、自主サークル「餐究会」が結成され、地域で活動する生涯学習の一步を踏み出した。志津公民館で出会い、地域で仲間ができ、交流が深まり、譲り合う精神とボランティア心が醸成され、支え合う地域社会に繋がっていくよう今後に期待する。

佐倉学入門講座 「井野長割遺跡」を学ぶ

- ① 開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。
- ② 募集対象・募集人数 成人 30人
- ③ 学習目標 1. 井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区についての知識を深める。
2. 地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月3日(水) 9:30~12:00	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 小倉 和重
2	2月10日(水) 10:00~12:00	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化課職員 小倉 和重
3	2月17日(水) 10:00~12:00	遺跡探訪し 知識を深める	文化課職員 小倉 和重
4	2月24日(水) 10:00~12:00	遺跡の経緯 今後について	文化課職員 猪股 佳二

⑤ 講座を終えて

「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000~3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。

この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。

アンケート結果では、約7割の方が講座に参加して満足との回答で、「すごい文化生活があったことに感動しました」「近くにいるのでボランティア等、役立てることがあればやってみたい。」等好評をいただいた。全4回の講座であったが、受講後も講師への質問が多く学習意欲が高いことが伺えた。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、今後の保存や活用について質問や意見を交換しあうなど活発な学習の場となった。

佐倉・城下町400年記念事業「佐倉道を歩く」

- ① 開設趣旨 1610年(慶長15)に土井利勝が佐倉城主となり、翌年から鹿嶋山に城を築き、城下町づくりを始めた。2010年(平成22)はちょうど400年にあたるため、これを記念して城主の歩いた「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉のことや佐倉道のことを学ぶ機会とする。
- ② 募集対象・募集人数 成人 20人
- ③ 学習目標 1. 佐倉城主の歩いた「佐倉道」や城下町佐倉への理解を深める。
2. 地域の素材を活用することで、郷土への愛着を持ってもらう。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	10月21日(火) 9:30~15:30	午前、佐倉道の成立や歴史、地理などを学び、午後に、佐倉道のうち、志津公民館から京成臼井駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 村田 一男
2	10月28日(火) 9:30~15:30	佐倉道のうち、江戸川駅~京成西船駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 蕨 由美
3	11月11日(火) 9:00~15:00	佐倉道のうち、京成西船駅~習志野駅(新京成線)までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 菅野 貞男
4	11月18日(火) 9:00~15:30	佐倉道のうち、習志野駅(新京成線)~志津駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 牧野 光男
5	11月25日(火) 9:30~14:00	佐倉道のうち、京成臼井駅~佐倉城大手門跡までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 畠山 隆

⑤ 講座を終えて

この講座は、佐倉・城下町400年記念事業の一環として、平成22年度から開設している。佐倉道の史跡散策を学習の柱として実施した。

初回は、「佐倉道のあらし」として佐倉道の全体像等の講義を行い、午後は、志津公民館から京成臼井駅までのコースを史跡散策した。残りの4回は、現地集合、現地解散の形をとり、史跡散策などを実施した。散策をし受講生同士が学びや意見交換を啓発することを意図した。散策中は、周囲に注意し事故などにも配慮し効率的に学習をすすめることができた。しかし、1回に約10kmと長い距離を歩きながら、史跡を巡るため、時間の制約上、見学を省略してしまう箇所もあった。1回の歩行距離や、タイムスケジュールなど、講師と見直しをしながら、実施していきたい。

アンケートでは、「この講座をきっかけに、佐倉周辺を自分で歩いて学習したい。」、「親しい友人ができて良かった。」、など、地域貢献につながる礎が出来、学習意欲の向上を図ることができた。今後は、郷土佐倉への愛着や誇りを持ちながら、地域づくりへの一層の強化につなげたい。

佐倉学入門講座 「地産地消 佐倉コミュニティカフェを学ぼう」

- ① 開設趣旨 高齢者の孤食等の食生活の悪化や子育て中のコミュニティ不足など、地域住民の交流の減少といった地域課題に対する解決策として、地域の住民が気楽に語り合える場としての「コミュニティカフェ」を学ぶ。また、佐倉の志津地区の家庭菜園等の野菜の活用し、地域活性化を考える。
なお、講座は講義のほか、グループワーク(話し合い)や調理実習を実施し、受講者自らが考え、体験することにより、学習効果を高められるように配慮する。
- ② 募集対象・募集人数 成人20人
- ③ 学習目標 1. 地域交流の希薄化といった地域課題の認識を深め、食材は、地域で収穫し、地域で活用して運営する「コミュニティカフェ」を学ぶ。
2. これからの地域コミュニティについて学習する機会を提供し、コミュニティカフェのあり方について考える。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	会場	講師
1	2月2日(火) 10:00~12:00	地域コミュニティとコミュニティカフェ	住民の課題とコミュニティカフェの関係	志津公民館 201会議室	加藤富美子 (公認フードコーディネーター)
2	2月9日(火) 10:00~12:00	こんなコミュニティカフェがあったらいいな	千葉県・近隣都県のコミュニティカフェの紹介とそれぞれのカフェの目的について	志津公民館 201会議室	加藤富美子 (公認フードコーディネーター)
3	2月16日(火) 10:00~13:30	佐倉市内のコミュニティカフェを知ろう!	佐倉市のコミュニティカフェマップ作りを学ぶ	志津公民館 201会議室 調理室	加藤富美子 (公認フードコーディネーター)

⑤ 講座を終えて

講座の中で、1回目、2回目は、グループワークを実施し、交流しながら学習を深めた。テーマは、自分の住んでいる地域の中のコミュニティについての課題を話し合った。将来、独居老人になると、全て一人でやらなければならない、食事等の栄養バランス、健康、買い物、病気、お金の管理等の不安をあげ、福祉課題が多くあげられた。地域の中で、交流の希薄化や高齢者の抱える孤食の問題など地域課題を主に学習した。そして、その問題解決策のひとつとして、近隣のコミュニティカフェの事例について学び、情報交流の場としての必要性を話し合った。3回目には、班になって、市内のコミュニティカフェを志津地区の地図に入れ込む作業をしてから、調理室で調理実習をした。

参加者のアンケートでは、「コミカフェのことが良く分からなかったが参加して良かった。色々な人たちと友達になりました。」等講座をきっかけとして、地域の輪が広がりました。また、佐倉の食材については、「地元の食材を使って地域を盛り上げるのは良いと思うが、価格の面ではどうかと思う。」と課題をあげています。新しい情報として、「自分の事(高齢者)ばかりを考えていましたが、父子家庭等の話を聞いてまず子供たちの改善が必要と感じた。」「カフェの運営に係れたらいいと思います。」「自分の近くにコミカフェがあったら良いと思います。今まで無関心でした。このグループでカフェをやってみたい。」「一人暮らしをしているので何かお手伝い出来る事があればしたい。」等、意欲的な意見が多く、情報発信をテーマに学習の継続を希望する人が多くいた。

今後、地域コミュニティについて学習し、コミュニティカフェについて学習するサークルで平成25年度末結成された「長いすの会」に入会する人と、継続して志津地区のコミュニティカフェマップ作りをしたいという人15人が「コミカフェを学ぶ会」の自主サークルが結成され、学習を継続していく一歩を踏み出した。

佐倉学入門講座として、地域の居場所である「コミュニティカフェ」を新しくできた志津市民プラザの志津公民館で学びました。喫茶店のように飲食ができ、そこを拠点に立場も世代も超えた人が交わり、ふれあい、交流の場として、地域コミュニティが生まれることを期待する。

4. コミュニティ事業

さくら学び塾（学びあい講座）

「公民館活動に参加して生きがいを見つけよう」

- ① 開設趣旨 さくら学び塾（学びあい講座）は、優れた技術、知識、能力を持った市民講師と受講生が学び、考え、お互いが成長していくための市民講座です。「コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。

現役を引退して、さて「これから何をしよう」と試行錯誤し、自分探しが始まる。このような時、公民館活動は、人との新しい出会いの場を提供してくれる。公民館で新しい友人を見つけ、助け合い、支え合い、お互いに刺激し合い、結びつきがうまれる。やがて、これらが地域づくりを形成していく。この過程の中で、自分の再発見と生きがいに辿りつく。

公民館の講座に参加することで地域に密着し、学習することで生きがいを見つけ、地域づくりをめざす。本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。

- ② 募集対象・募集人数 成人20人
- ③ 学習目標 公民館の講座を体験することで、出会い、新しい友人を見つけ、交流を深め、お互いに刺激し合い、助け合い、支え合い、ここに強いコミュニケーションが生まれる。この過程の中で自分の再発見と生きがいを見つけ、公民館の活動を通して、地域に密着した課題を発見し地域づくりへ活かす学びを継続し、生涯学習社会を形成することを目的とする。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	12月8日(火) 10:00~11:50	公民館活動を始めよう	○新しい友人の出会いと結びつきが地域づくりになる。 ○他己紹介 ○「祝婚歌」群読	佐藤 光雄
2	12月15日(火) 10:00~11:50	公民館活動の継続	○公民館活動の実践事例(しづ市民大学の3年間) ○「先人の知恵」(群読) ○自主サークルの立ち上げ ○質疑応答	佐藤 光雄
3	12月22日(火) 10:00~11:50	生きがいを見つけよう	○アンケートの集計結果から生きがいについて考え、学ぶ。 ○事例紹介(3名発表) ○質疑応答 ○まとめ	佐藤 光雄

⑤ 講座を終えて

市民講師の佐藤光雄氏の公民館活動の経験から生涯学習を推進する講座となった。公民館の主催事業に参加し、公民館活動を継続し、生きがいづくりにつなげるというテーマは、講座を終えてから、サークル活動を実施する中で得る事が大きく、また課題でもある。

講座終了後のアンケートの意見では、「真面目な佐藤光雄先生、一生懸命お話下さってありがとうございました。自分自身の中に新しい風を吹き入れるかなと思い、参加をさせていただきます。」「佐藤先生の好奇心旺盛なところや人様に喜んでいただく事が生きがいだというお話を伺い、前向きに生きることが健康で元気でいられることと実感致しました。ありがとうございました。」と好評だった。アンケート結果から、講師の話し方について、わかりやすい、ちょうど良い説明だったという意見が大半だった。講座内容については、理解や関心が高まり、今後の生き方に役立つ人が多かった。

講師のボランティア心と公民館活動の重要性や生きがいづくりについて、受講生がそれぞれ、学んだ。講座の2回目に親睦会を実施し、親睦が深まり、講座終了後、サークルを結成しようという意見がまとまった。公民館の講座を体験し、地域で出会い、お互いに刺激し合い、公民館の活動を通して、

生涯学習社会を形成することを期待する。

5.開館記念事業

志津市民プラザ開館記念事業

- ① 開設趣旨 子どもから高齢者まで世代間交流を促進する施設、誰もが気軽に立ち寄れる施設が平成27年11月27日志津市民プラザにオープンしました。
志津市民プラザが、地域住民から愛され、地域の核となる施設をめざし、開館を記念し、利用者の相互交流および地域住民の学習活動の啓発をはかるため、子どもワクワク体験コーナー及び内覧会等を実施しました。
- ② 募集対象 市民・幼児～小学生
- ③ 会場 志津市民プラザ
- ④ 事業一覧
 1. オープン記念事業
平成27年11月27日(金)
 - ・テープカット 午前10時～ 会場：1階ロビー 123人(来賓・一般市民)
 - ・記念式典 午前10時30分～ 会場：4階大会議室
内容：愛称優秀賞表彰式、上志津小合唱など
295人(来賓・愛称優秀賞受賞者・志津小学校児童等)
 2. 佐倉市脳卒中中市民公開講座 250人(一般市民)
平成27年11月28日(土) 午後2時30分から4時まで 会場：4階大会議室
「脳卒中にならないために～高血圧、糖尿病、心房細胞などの管理が大切～」
講師 山口武典氏
(国立循環器病センター名誉総長・公益社団法人日本脳卒中協会理事長)
座長 小林士郎氏(日本医科大学千葉北総病院 副院長)
主催 公益社団法人日本脳卒中協会千葉県支部 共催 佐倉市・佐倉市教育委員会
 3. 佐倉・城下町400年記念事業 第4回リレー講座 194人(一般市民)
平成27年11月29日(日) 午前10時から正午まで 会場：4階大会議室
題目 『古今佐倉真佐子』への誘い ～『古今佐倉真佐子』にみる佐倉城～
講師 外山信司氏 (元佐倉市史編さん委員)
 4. おはなしキャラバン
内容 人形劇：ももたろう 大型パネル：ごちゃまぜカメレオン
平成27年11月29日(日) 午前10時30分から午前11時30分まで
会場：3階310会議室 150人(幼児～小学生と保護者)
 5. 子どもワクワク体験コーナー 128人(幼児～小学生と保護者)
平成27年11月29日(日) 午後1時30分から午後4時まで
会場：4階大会議室 アトリエ *実行委員のご協力により実施
内容・芸術的なコラージュを作ってみよう
 - ・井野の辻切りを作ってみよう
 - ・ストロートンボで遊ぼう*飛ばしっこ大会で優秀者に賞状を授与
 - ・紙ヒコーキを飛ばして遊ぼう *飛ばしっこ大会で優秀者に賞状を授与
 - ・昔の遊びを体験しようよ(お手玉・あやとり・けん玉・こま回し)

6. 施設内覧会・志津公民館 2 月分抽選会 (201 会議室) 参加者人数 : 311 人

日 程	11/27 PM	11/28 AM	11/29 AM	11/30 AM	11/30 PM	計
施設内覧会	59	53	28		30	170
抽選会				141		141
計	59	53	28	141	30	311

7. オランダストリートオルガン演奏

平成 27 年 11 月 27 日 (金) ~ 29 日 (日) 親子連れ等多数来館 会場 : 1 階ロビー

① 午前 10 時 ~ ② 午後 1 時 ~ ③ 午後 2 時 30 分 ~

* 参加者総数 : 1,451 人

6. 団体育成事業

第 4 2 回 志津公民館祭

① 開設趣旨 志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日頃の学習活動の成果を発表し、団体及び地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発を図る。

② 募集対象・募集人数 公民館利用サークル約 120 団体

③ 学習目標 開設趣旨と同じ

④ プログラム

開催日時 平成 27 年 10 月 16 日 (金) ~ 18 日 (日) 10 時 ~ 16 時 (最終日は 10 時 ~ 15 時)

会 場 (第 1 会場) 志津公民館・(第 2 会場) 西志津ふれあいセンター

⑤ 公民館祭を終えて

志津公民館祭は、志津公民館で活動するサークルや団体が一堂に会し、作品展示・公演・作品販売など、日頃の学習成果を発表することと、団体間の交流、地域との交流を図ることを目的として開催した。運営は参加団体の代表者で構成された実行委員会を組織して、手作りで運営している。

開館翌年の昭和 49 年から毎年欠かさず開催され、今年度で 42 回を迎える伝統ある行事であるが、平成 27 年 12 月に志津市民プラザが開館するため、現公民館では最後の開催となった。

本年度も参加団体の拡大に向けて積極的に参加を呼びかけ、過去最高の 122 団体の参加で行われた。役員及び実行委員、参加団体の皆様が協力し合い、子ども体験コーナーについては、志津地区の小学校に PR チラシを配布するなど熱心に準備を進め、最終日には約 1,000 人が来場するなど祭り期間中は 2,608 人の来場者が訪れ賑わいを見せたが、初日、2 日目と天候に恵まれなかったのが残念だった。

志津公民館祭の開催趣旨である志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかれたものとする。

来年は、新たな会場である志津市民プラザでの開催になるが、「志津公民館祭」の開催趣旨に基づき、生涯学習を推進する中で、祭典の歴史を踏まえ歴史を重ねながら展開し、志津公民館と活動団体の協働により地域社会の活性化を目指し、継続的に実施されることを願う。

定期利用サークル運営研修会

① 開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。

② 募集対象・募集人数 志津公民館利用グループ・団体の代表者

③ 学習目標 開設趣旨と同じ

④ 学習内容

- ・ 公民館でのサークル活動とは
- ・ 公民館の予約・使用について
- ・ 参加者による意見交換
- ・ 第 42 回志津公民館祭について
- ・ 火災を想定した避難訓練

⑤ 今後に向けて

各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し実施した。

公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに即した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

調理室利用サークル懇談会

- ① 開設趣旨 調理室を定期利用している「グループ」・「サークル」を対象に、サークル団体の交流・共通理解を求め、調理室の効率的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を図る。
- ② 募集対象・募集人数 定期利用している料理サークル
- ③ 学習目標 開設趣旨と同じ
- ④ プログラム ・調理室の利用説明と要望・意見交換
・調理室の清掃（調理器具の点検）
- ⑤ 今後に向けて

調理室の特性として衛生管理が最も重要であり、利用者相互の理解と協力により適切な施設運営が可能となることから、利用グループとの連絡調整を迅速かつ継続的に行うとともに、調理実習等としてグループ活動の場を共有する上での意識の向上を図ることが大切と考える。

*調理備品・器具の点検 *グループ備品の整理整頓 *生ゴミ・廃油等の処理の徹底

志津地区の子ども会育成活動

- 概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- 加入団体 単位子ども会 12 団体
- 活動内容 ・千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介（3月）
・千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付
・活動支援相談・連絡調整

志津ジュニア・リーダーズ・クラブ（志津JLC）

- 概要 志津ジュニアリーダーズクラブは、主にジュニアリーダーの育成を目的として、志津地区を中心に活動している。志津地区子ども会連絡協議会や単位子ども会の活動における主要な協力団体であり、志津公民館ではその活動を支援している。
- 主な活動 ・単位子ども会への協力・行事支援
・志津公民館祭参加(10月)
・ジュニアリーダー初級認定講習会（主催 佐倉市教育委員会）への指導・運営協力(7月)
・佐倉市子連主催「子ども会中央交流フェスティバル」への運営協力(10月)
・志津JLCクリスマス会（志津公民館共催）企画・運営（12月）

7. 広報・展示事業

志津公民館だより

- ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- 発行回数 年4回（5月・10月・11月・1月）
- 発行部数 毎号 25,000部
- 配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架

○内 容

第232号 (平成27年5月1日)	第233号 (平成27年10月1日)	第234号(開館臨時号) (平成27年11月15日)	第235号 (平成28年1月15日)
<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内 (主催事業) お母さんと遊ぼう しづ市民大学 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然観察 子ども理科実験教室 ●募集案内 中高ちょこボラ ●募集案内 (共催事業) 文学講座 	<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内 (主催事業) 佐倉学講座 「佐倉道を歩く」 しづ市民大学公開講座 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然観察 子ども理科実験教室 ●募集案内 中高ちょこボラ ●募集案内 (共催事業) 志津JLCクリスマス会 文章講座 ●行事案内 第42回志津公民館祭 	<ul style="list-style-type: none"> ●「志津市民プラザ」 開館館各施設の案内 ●「志津公民館」館内のご案内 ●開館記念事業の案内 	<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内 (主催事業) 佐倉学入門講座「地産地消佐倉コミュニティカフェを学ぼう」 「井野長割遺跡」を学ぶ ●募集案内 活動サークル紹介 ●利用申込みの手続き ●志津公民館利用案内 ●募集案内 笑顔で子育て応援講座

○今後に向けて

今年度は、例年どおり3回(5、10、1月)「公民館だより」を発行した。紙面に限りがあるため、毎年主催事業の募集記事やイベントの様子を紹介等が主な内容になっている。また、「志津市民プラザ」の開館に伴い11月に開館臨時号を発行し入館各施設、開館記念事業の案内を行った。

また、「公民館だより」の配布先についても前年同様、志津地区での新聞折込みや市内の各公民館、志津地区の公共施設へ配架のほか、志津地区の子ども会へ送付し、より多くの方に見ていただけるように配慮した。

今後は、さらに紙面等を工夫して公民館の活動を地域住民へ発信し、地域の多くの人々が「公民館だより」をきっかけにして志津公民館をより良く利用できるよう、努力していきたい。

8. 図書事業

図書等の貸し出し

○内 容	図書資料やビデオなどの貸出事業を行う。
○蔵 書 数	300 冊
○実施期間	通年(公民館開館時間)
○貸出方法	1 人 5 冊
○貸出期間	2 週間
○年間貸出数	一般 20 点 児童 0 点 DVD 4 点 計 24 点

臼井公民館

臼井・千代田地区の概要

○臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を河川に囲まれている。

地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和53年には土地区画整理地の中に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集まった地区が形成され、臼井地区の新しい核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、臼井ふるさとにぎわい祭や佐倉チューリップまつりなどのイベントが開かれる他、計画的なまちづくりが進んでいる。

○千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市（当時四街道町）から編入した5地区から成っている。

大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発（染井野）に伴い、公園が整備され小中学校が相次いで開校するなど、公共施設も充実してきた。21世紀初頭には、人口約1万人の新しいまちが完成する計画がゆるやかに進行している。

地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティー活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

臼井・千代田地区のデータ

【平成28年3月末現在】

○臼井・千代田地区	面積	約18.5km ²	（佐倉市	面積	103.69km ² ）
○	住基人口	41,950人	（	住基人口	176,976人）
○	人口密度	2,260人/km ²	（	人口密度	1,707人/km ² ）

1. 公民館運営計画

運営方針

白井公民館は、常に地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざした事業を進める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設としての役割を果たす。

努力目標

- より多くの市民に親しまれ、活用される公民館として、その学習環境づくりに努める。
- 市民の自主的な学習活動を援助するために、各種情報・資料の整理・提供に努める。
- 学級・講座の精選と学習内容の充実に努める。
- 複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮するための研修、調査を進める。

事業内容

1. 学級・講座の開設

地域の特性を考慮しながら市民生活に身近な課題をとりあげて、継続的・体系的に学習していく。また、与えるだけの学習ではなく参加者が自らつくり出す学習をめざし、内容を充実させていく。

2. 団体育成事業

各種の団体が自主的・継続的に充実した活動が進められるように、情報資料の提供や適切な助言、各機関との連絡調整を行う。

3. 広報・展示事業

- 学級・講座のお知らせや、グループ活動の紹介、その他さまざまな情報を提供し、公民館への認識と理解を深める。
- 市民の学習活動の発表展示の場として、広く市民に展示室を提供する。また、郷土の自然・生活・文化・芸術その他市民生活に関することなど幅広い分野からテーマを設定して展示会を催す。

4. 図書事業

- 市立図書館の分館的機能を持ちながら、複合館としての特殊性と地域性を考慮しつつ運営していく。
- 音楽関係図書の充実と一般図書・児童図書の蔵書数の増加をめざし、利用増大をはかる。

5. 施設・設備提供事業

- 開館日・貸出時間 第1・3・5月・火・木・日曜日及び祝日 9:00～17:00
水・金・土曜日 9:00～21:00（夜間の利用のない場合は17:00まで）
（ただし、図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9:00～17:00に業務を行う）

※使用の受付は原則として、2カ月前の月初に設定した利用抽選日から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の使用は使用日の前々月末日から受け付ける。

- 休館日 第2・4月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）、施設保守点検日
- その他 ・使用料については市民音楽ホールを有料で使用する団体には有料で、減免又は無料で使用する場合には無料で提供する。
・利用抽選会は2ヶ月前の月初に実施し、予約を入れていく。
これは各団体が一堂に集まる機会でもあるので、団体交流と公民館活動への認識を深める場としても有効に利用する。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
利用件数 (件)	2,569	3,012	2,629	2,636	2,713
利用人数 (人)	43,939	50,503	45,924	47,069	49,440
開館日数 (日)	333	333	333	333	335

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	おはなし会	5歳～成人 30人	4/11：30人 5/9：30人 6/14：32人 7/12：23人 8/26：32人 9/12：15人 10/3：9人 11/14：20人 12/12：52人 1/9：30人 2/13：9人 3/12：10人	白井公民館図書室の読書活動推進事業。子どもたち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせによるおはなし会で本の世界に親しむとともに、テーブル人形劇を組み合わせた立体構成のおはなし会を行う。
	0歳半～3歳児親子あそび	0歳半～3歳児と保護者 10組20人	6/19：子供6人 大人6人 6/26：子供6人 大人6人	絵本の読み聞かせや手遊びで、温もりある親子関係を育む。
青少年教育	佐倉っ子塾共通講座 「皆既月食と春の星空」	小学校 4年生～6年生 20人	4/4 小学生17人 保護者3人	理科教育の興味関心を引き立てることを目的として、珍しい天体現象である皆既月食についてやさしく解説し、星空の世界に親しむ。
	佐倉っ子塾共通講座 「自然講座」	小学校 4年生～6年生 20人	7/27：19人	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なものとして捉える目を養う講座（環境政策課共同事業）。
	佐倉っ子塾共通講座 「三角ヘリコプター」	小学生 15人	8/6：26人	割りばしや紙といった身近なものを使って様々な工夫をしながら紙の飛行機を作る。
	バック・ステージ・ツアー	小学生 と保護者 30人	8/5 小学生24人 保護者10人	音楽ホールの普段見ることのできない裏廻り（バックステージ）の見学と、演奏会を支えている音響、照明などを体験し、舞台芸術の仕事への理解を深める。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	佐倉学入門講座 「臼井における 雷電為右衛門の伝説」	成人 30 人	11/19 : 27 人	当地の歴史を語る際に欠かせない「臼井城」を主テーマに実施する。午前の講義と午後の歴史散歩を組み合わせ、現地を巡ることで理解と関心を深める。
	佐倉学体験講座 「ちょっといいところ 見て歩き」 ー徳川光圀が歩いた道ー	成人 20 人	12/ 4 : 29 人 12/18 : 20 人	佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び理解を深める。
コミュニティ事業	佐倉学び塾 「誤解の多い 健康管理法・ その考え方」	成人 30 人	11/29:44 人 12/20:47 人 1/17:43 人 3/20:31 人	自分自身の健康管理は何よりも大切であるが、健康管理のあり方、考え方には誤解の多いことも事実であり、より正しい知識を身につけてもらう。
団体育成等	臼井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 9 団体	年間随時	単位子ども会の円滑な運営をはかるための相談・研修・情報交換や地区子連主催事業を行う。
広報・展示活動	臼井公民館だより発行	主に臼井・ 千代田地区	年 2 回 9 月、3 月 600 部発行	公民館の事業紹介や募集、地域の情報などを提供する。
	まちづくり資料室展示	小学生～成人	通年	臼井地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行う。
	サークル展示活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を 1 週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に貢献していく。
図書事業	図書の貸出等	幼児～成人	通年	図書の貸出/返却受付/相談などを行い、市民の学習活動促進を図る。

1. 家庭教育事業

おはなし会

- ① 開設趣旨 子どもにおはなしをすることで、物語（ストーリー）に親しませ、子どもと本をむすびつける。すばなしの他に絵本の読み聞かせやテーブル人形劇などを組み合わせ、年齢の低い子どもたちにも「物語の世界」を楽しめるように実施する。
- ② 募集対象、募集人員 5歳～成人、30人
- ③ 学習目標 1. 子どもにおはなしの楽しさを伝える。
2. おはなしを通して、子どもの本への興味を持たせる。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	4月11日(土) 14:00～14:30	「いぬとにわとり」「たんぽぽ」「ひつじのおやこ」「ついでにペロリ」	佐倉おはなしの会
2	5月9日(土) 14:00～14:30	「世界で一番きれいな声」「いろいろなうさぎ」「かめのえんそく」「金のがちょう」	佐倉おはなしの会
3	6月14日(日) 14:00～14:30	「かえるぼたもち」「ちいさなねこ」「三年峠」「ねずみのすもう」	佐倉おはなしの会
4	7月12日(日) 14:00～14:30	「どうながダック」「セニョール・コヨーテと犬」「くわずにようぼう」「によるによるたこさん」	佐倉おはなしの会
5	8月27日(木) 14:00～14:30	「子育てゆうれい」「ガチャガチャゆうれい」「とろかし草」「あずきとぎのおぼけ」「黄色いリボン」	佐倉おはなしの会
6	9月13日(日) 14:00～14:30	「チョウスケとおつきさま」「なきくらべ」「おにばば」「ふくろにいったれたおとこのこ」「わすれもの」	佐倉おはなしの会
7	10月3日(土) 14:00～14:30	「だんまり」「がちょうおくさんのおふろ」「ふしぎなかめ」「わらしべちょうじゃ」	佐倉おはなしの会
8	11月14日(土) 14:00～14:30	「おれはねこだぜ」「くら～い、くら～い」「びんぼうとこびと」「馬かたやまんば」	佐倉おはなしの会
9	12月12日(土) 14:00～14:30	「うさぎのゆうびんやさん」「聖なる夜」「あのね、サンタの国ではね」「てぶくろ」	佐倉おはなしの会
10	1月9日(土) 14:00～14:30	「おいしいおかゆ」「てんぷくちふく」「おこだでませんように」「カンピーさんのふなあそび」	佐倉おはなしの会
11	2月13日(土) 14:00～14:30	「くまがしっぽをなくしたはなし」「ピョントコシヨ」「スヌークさん一家」「ねずみのよめいり」	佐倉おはなしの会
12	3月12日(土) 14:00～14:30	「しましま」「かにのしょうばい」「ゼラルダと人喰い鬼」	佐倉おはなしの会

⑤講座を終えて

毎月1回、第2土曜日を基本に開催しています。8月については「こわーいおはなし会」と題し、普段のおはなし会とは違う雰囲気で開催いたしました。

幼児や小学校低学年の子どもの参加が多いためか、テーブル人形、指人形などを使ったおはなしは特に反応が良かったようです。毎回、おはなしの元となる絵本や、関連する本を紹介しています。

0歳半～3歳児親子遊び 「絵本のおはなし会 ちびちびクラブ」

- ① 開設趣旨 乳幼児を持つ親子（保護者も含む）に絵本の読み聞かせとわらべうたを通して、乳幼児からの絵本の楽しみ方と親子のふれ合い方を伝える。（佐倉図書館との共催事業）
- ② 募集対象、募集人員 0歳半～3歳児と保護者、10組
- ③ 学習目標 1. 子どもに絵本の楽しさを伝える。
2. わらべうたを通して体を動かし、親子のスキンシップを図る。
3. 保護者に乳幼児に適した絵本を紹介する。
- ④ プログラム（全2回）

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	6月19日（金） 10:00～11:00	「いないないばあ」「おうまさんして」 「わらべうた」「はらぺこあおむし」 「かささしてあげるね」	佐倉図書館・臼井公民館 職員、ちびちびクラブス タッフ
2	6月26日（金） 10:00～11:00	「わらべうた」「いないないばあ」 「ぶーぶーぶー」「ととけっこうよがあけた」 「もこもこもこ」	佐倉図書館・臼井公民館 職員、ちびちびクラブス タッフ

⑤ 講座を終えて

幼稚園に入園前の、保護者以外と触れ合う機会の少ない子どもたちのため、初回はぎこちなさがあります。しかし、回を重ねて保護者とともに絵本とわらべうたを楽しんでいます。子どもたちのコンディションを考慮すると、今回のように暑さと寒さをなるべく避けた時期が、実施時期としては良いと思われました。

低年齢の子どもたちですが、毎回1時間という時間を集中して聞いています。絵本の中での経験が日々の生活体験を豊かにしていきます。

19日は1～3歳児、26日は0～1歳児を対象に実施し、どちらの日程も1歳児の参加が多いようでした。

2. 青少年教育事業

「皆既月食と春の星空」

- ① 開設趣旨 子どもの「理科離れ」が叫ばれるなか、皆既月食という珍しい天文現象や星空の世界についてやさしく解説し、星空の世界に親しんでもらうことによって、理科教育の興味関心を引き立てることを目的とする。
- ② 募集対象、募集人員 小学4年生～6年生 20人
- ③ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	4月4日(土) 18:00～19:30	皆既月食や春の星空についての解説・観測	臼井公民館職員

- ④ 講座を終えて
皆既月食というなかなか見られない天文現象を扱い、皆既月食が、なぜ、どのように起きる現象であるかを資料やDVDを使って紹介しました。当日はあいにくの天気のため実際に観測することができず残念でした。

佐倉っ子塾共通講座「自然講座」(夏休み こども水辺探検ツアー)

- ① 開設趣旨 市内の水辺環境について、講義や野外観察を実施することで、子どもたちが自然に親しみ自然を大切にする心を養うとともに、自然環境の重要性を認識してもらう。
(環境政策課との共同事業)
- ② 募集対象、募集人員 小学4年生～6年生、20人
- ③ 学習目標 自然に親しみ、自然を大切にする心を養うとともに自然環境の重要性を認識すること。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	7月27日(月) 9:30～16:00	・ペットボトルで透視度計をつくってみよう ・印旛沼船上観察(屋形船) ・印旛沼、手繰川の水質測定 (透視度計、パックテスト等) ・畔田沢の水質検査、魚取り観察	(財) 千葉県環境財団

- ⑤ 講座を終えて
水質のパックテストや透視度測定によって自ら測定することにより、水質や自然環境等を考えるきっかけとなったものと思われます。また、屋形船に乗り水上から眺めることで印旛沼を身近に感じ、沼岸のヒメガマの観察など自然と触れ合う貴重な体験ができたように見受けられます。
畔田沢でドジョウやエビなどをたくさん捕ったことや、つかまえようとして魚が逃げてしまったなど、野外観察が参加児童の記憶に強く残り、自然を大切にする心を養うことにつながる感受性を育む効果もあったと思われます。

佐倉っ子塾共通講座（三角ヘリコプターをとばそう）

- ① 開設趣旨 物づくりを通して、自らの手で工夫しながら作りだす喜びを味わうことにより、個性や創造性を培う。
- ② 募集対象、募集人員 小学1年生～6年生 20人
- ③ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月6日(木) 10:00～ 12:00	プロペラのついた簡単な手作りヘリコプターを作って遊ぶ。	とばそう会 (公民館利用団体)

④ 講座を終えて

参加者を4つのグループに分け、それぞれのグループに指導者がついて作り方を指導した。小学校低学年の児童にとっては少し難しい内容であったが、自分の作った紙のヘリコプターが思った以上に高く飛んだことで子どもたちは喜びを感じ達成感を味わったようでした。

バック・ステージ・ツアー

- ① 開設趣旨 複合施設である市民音楽ホールで、普段見ることのできない「舞台裏」を見学し事業がどういった仕事の積み重ねで完成されるのかを体験しながら学ぶ。
- ② 募集対象、募集人員 小学1年生～6年生、30人
- ③ 学習目標 文化事業の普段見ることのできない「舞台裏」を見学することで、実際の仕事の積み重ねによって完成されることについて学ぶこと。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月5日(水) 10:00～12:00	前半は、音楽ホールの施設を見学し、後半は、実際のホール・スタッフの仕事(コンサート開始の流れ)を体験してもらう。	市民音楽ホール職員

⑤ 講座を終えて

この講座は、舞台芸術を鑑賞するときに、その下準備にはどういったものがあり、どのような苦労があるのかを実際に体感し、文化事業の良き理解者となって欲しいと考えた事業です。市民音楽ホールでの裏方の実際の仕事を知り、文化活動に関心を持つ人達が育って欲しいと考えています。

3. 成人教育事業

佐倉学入門講座「雷電為右衛門～その伝説と錦絵～」

- ① 開設趣旨 佐倉学の一環として、佐倉と縁の深い力士雷電為右衛門について学び、臼井への理解と関心を深める。
- ② 募集対象、募集人員 成人、30人
- ③ 学習目標 錦絵に描かれた雷電の姿を通し、地元にお墓がある雷電の偉業を違った方向から眺めてみる。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月19日(木) 14:00～16:00	「雷電為右衛門～その伝説と錦絵～」	元公立中学校校長 村上 勲

- ⑤ 講座を終えて
講師の集めた錦絵を実際に投影し、その講義を聴くなかで改めて雷電と佐倉のつながりを確認できたようでした。

佐倉学体験講座「ちょっといいところ見て歩き」(徳川光圀が歩いた道)

- ① 開設趣旨 佐倉市とその近隣地域の歴史・自然環境について、講師の説明を聞きながら、実際に自分で歩いて見て回り直に触れることで地域への理解と関心を深め、地域の再発見と愛着を深める。
- ② 募集対象、募集人員 成人 20人
- ③ 学習目標 佐倉市及び近隣地域の中で、徳川光圀が歩いたとされる道をたどり、歴史や文化を学ぶ。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	12月4日(金) 10:00～12:00	講義 徳川光圀が歩いた道について解説 (『甲寅紀行』『房総郷土研究』等より)	高橋 健一
2	12月18日(金) 9:00～13:00	史跡散策 宗吾参道、酒々井、大佐倉方面	高橋 健一

- ⑤ 講座を終えて
徳川光圀が歩いた道について、講義と散策と2回にわたり学習しました。講義では歩いた経路の史跡についてや当時の社会の風習、文化についての解説がありました。講義をふまえ実際に歩いた経路を散策するなかで、今まで何気なく通りすぎていた場所が感慨深いものになったり、佐倉市内でも知らない場所がまだまだあって新鮮な感じであった、など改めて様々な発見ができたようです。

4. コミュニティ事業

佐倉学び塾（誤解の多い健康管理法・その考え方）

- ① 開設趣旨 本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。

自分自身の健康管理は何よりも大切であるが、健康管理のあり方、考え方には誤解の多いことも事実であり、より正しい知識を身につけてもらう。

- ② 募集対象、募集人員 成人、30人
③ 学習目標 検査値や薬や健康食品に対する正しい知識を持ち、健康管理に役立てる。
④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月29日(日) 10:00~12:00	誤解の多い検査値の読み方・考え方	薬剤師 畑 義治
2	12月20日(日) 10:00~12:00	誤解の多い薬の使い方・考え方	
3	1月17日(日) 10:00~12:00	誤解の多い健康食品の使い方・考え方	
4	3月20日(日) 10:00~12:00	より良く生きるためのより良い健康管理法	

- ⑤ 講座を終えて

「健康」は日頃から関心のあるテーマであり、関心が高いがために色々な情報が氾濫し誤解が生じてしまうことも多いです。

世間ではあまり知られていない、医療の現場に従事している立場ならではの情報を紹介し、日常生活習慣の見直しや健康増進への取組みについて学習しました。

5. 団体育成事業

臼井地区子ども会育成会連絡協議会（臼井地区子連）

- ① 開設趣旨 臼井地区の単位子ども会の発展を願い、関係機関団体との連携を図りながら、各育成会
同士の情報交換や育成者の研修を行う。
- ② 募集対象、募集人員 9団体
- ③ 学習目標 臼井地区の単位子ども会の発展に資すること。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	参加者
1	4月14日(火) 10:00～11:30	臼井地区子ども会育成会連絡協議会総会 安全会説明会	各単位子ども会役員 児童青少年課 地区子連事務局
2	8月22日(土) 13:00～20:00	「臼井ふるさとにぎわい祭」に参加 (模擬店出店・チャリティ寄付)	各単位子ども会役員 地区子連事務局
3	11月22日(日) 9:00～15:00	佐倉市中央交流フェスティバル 「サンタのおもちゃ工場」	地区子連役員 地区子連事務局
4	3月25日(金) 8:15～16:45	臼井地区子連子ども会員(小学6年生) 卒業バスハイキング	地区子連役員 地区子連事務局

かたりべの会

- ① 開設趣旨 昭和60年度の講座「民話を語る会」の受講生を中心に、昭和61年2月に発足。
子どもにお話しを語ることを目的に、毎月1回お話の練習として定例会を行っている。
- ② 会員 25人
- ③ 学習目標 各人が覚えてきたお話を語り、感想を述べ合うことでおはなしの技術の向上を図る。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1～ 11回	毎月1回 第2水曜日 4月8日, 5月13日, 6月10日, 7月8日, 9月9日, 11月11日, 12月9日, 1月13日, 2月10日, 3月9日 10:00～12:00	定例会を開催し、各人が覚えてきたお話を 語り、感想を述べ合うことでおはなしの技 術の向上を図る。	かたりべの会

6. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館事業などへの理解を深め積極的な参加を図るために情報提供します。
- 発行回数 2回発行（9月・3月）
- 発行部数 600部
- 配布方法 抽選会場及び各公民館等に配置

まちづくり資料室の展示

- ねらい 臼井地区に関する歴史や遺跡等について理解と関心を深めるため、資料展示を行います。
- 展示期間 通年
- 展示パネル 「臼井に伝わる話」と題し、小学生から大人までを対象に臼井・千代田地区に伝わる昔話や伝説（『たんたん山』など）についてパネルによる展示資料で紹介し、地域に関心を寄せてもらおう機会とした。

展示室の貸出し

- 市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供しています。グループの発表に使いやすい施設との評判をいただき、25前後の年間利用団体があります。
- 開室日・開室時間 月（第1・3・5）・火・木・日曜日 9：00～17：00
水・金・土曜日 9：00～21：00
- 休 室 日 第2・4月曜日、年末年始等
- 使用について 予約受け付けは6ヶ月前から
貸出期間は1団体、火曜日から日曜日までの6日間を基本とする。
- 利用団体数 27団体
- 観覧者数 9,975人
- 使用料について 原則として無料。但し、個展・〇〇先生展・〇〇教室展示会等営利や売名行為的内容のあるものや、市外の方の使用については有料とする。
使用料 午前960円、午後1,280円、夜間1,260円

・27 年度開催展示会一覧

※入場者数は主催者届出による

番号	行 事	主催者(ジャンル)	期 日	入場者数
1	水彩展	あすなる画会	4/1 ~ 4/4	310
2	刻字展	佐倉刻字会	4/14 ~ 4/19	421
3	第22回ふれあい作品展	臼井ルネサンス会	4/28 ~ 5/3	1,361
4	翔展	翔	5/12 ~ 5/17	348
5	四季スケッチ画会	彩ゆう会	6/9 ~ 6/13	505
6	第5回水彩仲間18展	水彩仲間18	6/23 ~ 6/28	443
7	杉の子展	杉の子	6/30 ~ 7/5	407
8	写真展(佐倉写真連盟)	文化課	7/8 ~ 7/12	409
9	アビロン	水彩画グループ AVIRON	7/12 ~ 7/22	578
10	第15回ヴァルール展	ヴァルール	7/28 ~ 8/1	384
11	チューリップフェスタ図画	公園緑地課	8/11 ~ 8/15	65
12	春秋展	春秋会	9/1 ~ 9/6	565
13	市高連作品展	高齢者福祉課	9/9 ~ 9/11	252
14	福田千登勢作品展	福田千登勢展	9/22 ~ 9/23	77
15	サークルk水彩画展	サークルk	9/29 ~ 10/4	390
16	市文化祭手工芸展	文化課	10/7 ~ 10/11	339
17	第5回四酔会絵画展	四酔会	10/14 ~ 10/18	234
18	市文化祭阜月展	文化課	10/29 ~ 11/1	288
19	しづ美術サークル作品展	しづ美術サークル	11/10 ~ 11/15	513
20	第22回作品発表会	佐倉 SC 写真同好会	11/17 ~ 11/21	320
21	吐夢展	吐夢の会	11/21 ~ 11/29	419
22	和田ふるさと館展示	社会教育課	11/30 ~ 12/7	149
23	子どもいけばな	伝統文化いけばなサークルひまわり	1/30 ~ 1/31	95
24	白蝶会絵画展	白蝶会	2/23 ~ 2/28	448
25	佐倉子どもステーション	NPO佐倉子どもステーション	3/15 ~ 3/20	183
26	ワールサークル絵画展	ワールサークル	3/22 ~ 3/27	307
27	あすなる画会	あすなる画会	3/29 ~ 3/31	165
計		27 団体		9,975

7. 図 書 事 業

○開室日・開室時間 火（第1火曜日を除く）～日曜日 9:00～17:00

○休 室 日 月曜日・第1火曜日・年末年始・特別整理期間
（月曜・第1火曜日が祝日の場合は次の平日）

○貸 出 方 法 登録制で貸出券による。
1回につき1人10冊まで15日間貸出します。

○蔵 書 数

- ・一般図書 27,946冊
- ・郷土資料 1,904冊
- （音楽関係図書を含む）
- ・その他 20冊
- ・児童図書 11,396冊
- ・楽 譜 4,132冊
- ・参考図書 639冊
- ・蔵書冊数 46,073冊（平成28年3月末現在）
- ・雑 誌 25誌
- ・新 聞（朝刊） 8紙

○月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数 (人)	4,203	4,247	4,028	4,337	4,320	4,163	3,932	4,227	3,949	3,993	4,197	4,447	50,042
貸出冊数 (冊)	11,788	12,185	11,417	12,505	12,554	11,991	11,321	12,143	11,668	11,467	12,108	12,601	143,748
開館日数 (日)	25	26	24	26	25	25	22	24	23	23	23	26	292

※臼井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書その他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営を目指します。

平成 27 年度 佐倉市立公民館のまとめ

発行 佐倉市立公民館